
令和5年度事業報告書

社会福祉
法人 柏市社会福祉協議会

目次

I 総括・重点事業報告

1	総括			1頁
2	重点的な取り組み			1頁

II 法人運営・計画・団体事務局等

1	役員会議等	自主	総務課	4頁
2	第4期柏市地域健康福祉活動計画	自主	総務課	5頁
3	柏市住民福祉大会	自主	総務課	6頁
4	啓発活動	自主	総務課	6頁
5	災害対策	自主	各課	8頁
6	社会福祉関係行事の後援等	自主	総務課	10頁
7	柏市民生委員児童委員協議会事務局	事務協力	総務課	11頁
8	他機関との連携・支援	自主	各課	12頁

III 会費・寄附・共同募金等

1	会員会費	自主	総務課	16頁
2	寄附	自主	総務課	16頁
3	共同募金 [千葉県共同募金会柏市支会]	事務協力	総務課	18頁
4	共同募金・歳末たすけあい配分事業	自主	総務課	19頁
5	自動販売機設置経営事業	自主	総務課	20頁

IV 地域支援・ボランティア

1	地域活動拠点事業	自主・市補助	地域福祉課	21頁
2	エリアごとの支援体制整備事業	市委託	地域福祉課	28頁
3	地区社会福祉協議会の支援	自主・市補助	地域福祉課	31頁
4	生活支援体制整備事業	市委託・市補助	地域福祉課	32頁
5	ボランティア活動 [ボランティアセンター]	自主・市補助	地域福祉課	38頁
6	ふれあい型給食サービス	自主	地域福祉課	40頁
7	柏市総合福祉センター関係事業	市委託	地域福祉課	40頁
8	地域活動館の運営	自主	総務課	42頁
9	地域子育て支援拠点事業 (はぐはぐ広場沼南)	市委託	相談支援課	42頁
10	利用者支援事業	市委託	相談支援課	44頁

11	こどもの居場所活動団体の支援	自主	地域福祉課	44頁
12	こどもの居場所活動等支援事業	受託	地域福祉課	45頁
13	障害者地域交流推進事業	自主	地域福祉課	46頁

V 福祉教育

1	福祉教育パッケージ指定地域の支援	県社協助成	地域福祉課	47頁
2	体験学習支援	自主	地域福祉課	47頁
3	「福祉の心」作品展	自主	地域福祉課	49頁
4	実習生の受入	自主	総務課	49頁

VI 在宅福祉サービス

1	さわやかサービス	自主・市補助	総務課	50頁
2	移動サービス	自主・市補助	総務課	51頁
3	かしわファミリー・サポート・センター事業	市委託	相談支援課	52頁
4	車いすの貸出	自主	相談支援課	53頁

VII 相談支援・貸付・援護金

1	福祉相談事業	自主	相談支援課	54頁
2	福祉資金貸付事業	自主	相談支援課	56頁
3	生活福祉資金貸付事業	県社協委託	相談支援課	56頁
4	交通遺児援護金等支給	自主・事務協力	相談支援課	58頁
5	緊急援護事業	自主	総務課・相談支援課	59頁
6	若者自立支援活動団体の支援	自主	相談支援課	60頁
7	自殺予防対策事業 [かしわお元気コール事業]	自主・市補助	地域福祉課	61頁
8	障害者の就労支援	自主	総務課	63頁
9	ウクライナからの避難者支援事業	受託	相談支援課	63頁

Ⅷ 権利擁護・地域包括支援センター

1	成年後見利用促進（中核機関）事業	市委託	相談支援課	64頁
2	成年後見事業	自主・市補助	相談支援課	68頁
3	柏市市民後見人推進事業	市委託	相談支援課	71頁
4	福祉サービス利用援助事業	県社協委託・市補助	相談支援課	72頁
5	沼南地域包括支援センター	市委託	相談支援課	74頁

Ⅸ 施設管理

1	沼南社会福祉センター設置経営事業	自主・市補助	総務課	79頁
2	介護予防センターいきいきプラザ管理運営事業	市委託	総務課	79頁
3	老人福祉センター管理経営事業	指定管理	総務課	80頁

[参考] 役員（理事・監事）・評議員・組織図

1	役員（理事・監事）名簿	82頁
2	評議員名簿	83頁
3	組織図	84頁

第4期 柏市地域健康福祉活動計画
社協アクションプラン・発展強化計画進捗状況

I 社協アクションプラン

1	地域・団体支援、ネットワークづくり	86頁
2	新たなしくみや活動づくり	92頁
3	人材の育成や活用、支援	98頁
4	生活課題解決への取り組み	104頁
5	情報発信・普及啓発	109頁

II 社協発展・強化計画

1	拠点戦略	112頁
2	人事戦略	115頁
3	運営戦略	117頁
4	財政戦略	120頁

I 総括・重点事業報告

1 総括

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5月に感染法上の第5類に移行し、地域における支えあい活動や各種の集い・サロンなどの福祉活動が制限なく、概ねコロナ前と同様に実施できるようになりました。

しかし、4年にわたるコロナ禍のダメージとして、「住民の繋がり希薄化」や「高齢者の心身機能の虚弱化」が進み、地域福祉活動の担い手の確保が懸念されています。

また、経済社会活動の回復の一方で、生活福祉資金のコロナ特例貸付が終了するとともに、円安等を背景とした物価上昇により生計の圧迫、暮らしの不安定化を増幅しています。

こうした中で、地域福祉の増進と安定した地域生活を支援することを使命とする社会福祉協議会には、これまで以上の極め細かな施策対応が求められています。

柏市では、令和4年度から本会もその一翼を担う重層的支援体制整備事業を開始し、分野を問わない福祉相談を本会本部と「地域いきいきセンター」の各コミュニティにおいて個別課題に応じた支援を行なうとともに、同センターにおける「支えあいの仕組み」＝地域づくりを進めることとしています。

柏市独自の施策である「地域いきいきセンター」のコミュニティワーク機能と本会が有する福祉の総合力を有機的に連携して、市民の個別課題や地域課題の解決を目指して取り組んでまいります。

令和5年度は、市内10か所目となる「新田原地域いきいきセンター」を開設するとともに、こどもの貧困対策の一環として、こども食堂支援のための食材保管庫の運営と体操服等の学用品給付等の事業を新たに実施しました。

令和6年度においては、地域共生社会の増進と安心して暮らせる地域社会の構築のため、新たな地域健康福祉像を見据えた計画を策定し、地域福祉の向上に努めてまいります。

2 重点的な取り組み

(1) 新たな取り組み

① こどもの居場所に係る新たな活動支援の実施

こどもの居場所活動等支援事業を柏市から新規に受託し、食材の寄付受付・保管、団体間の需給調整及びこどもの居場所活動支援に係る情報発信を行いました。

[45頁／こどもの居場所活動等支援事業]

② 障害児の遊び・運動の場づくり

柏ふるさと公園内でインクルーシブ遊具が設置された「みんなの広場」において、市内放課後等デイサービスの協力を得て、障害のある子もいない子も一緒に遊び・交流する「インクルーシブDAY」（全5回）を開催しました。

[46 頁／障害者地域交流推進事業]

③ 社会福祉法人地域公益活動の推進

社会福祉法人等ネットワークの設立に向けて検討を重ね、市内21法人が参画の意思を表明頂き、3月18日に設立総会を開催し、次年度に向けてのスタートを切ることができました。

[15 頁／他機関との連携・支援]

(2) 充実・強化

① 生活困窮者の生活再建に向けたフォローアップ支援

コロナ特例貸付利用者のうち、償還猶予者に対して、最低2か月に1回電話または来所での生活や就労状況等を聞き取り、福祉サービス等の情報提供やつなぎ、償還猶予の延長や免除への支援等のフォローアップ支援を行いました。

[58 頁／生活福祉資金貸付事業]

② 子どもの貧困対策の拡充

スクールソーシャルワーカー、あいネット等の子どもを支援する機関を通じ、経済的課題のある世帯の児童・生徒に対して、体操服、文房具などの学用品を配付しました。また市内小中学校に、体操服を配付することで、学校や先生からの支援を行うなど、多方面からの支援を行いました。

[59 頁／緊急援護事業]

③ 地域いきいきセンターの増設

新田原近隣センター内に、市内10か所目となる新田原地域いきいきセンターを開設し、相談支援体制や地域づくり等の取り組みを拡充するとともに、11か所目の整備に向けて、市担当課や地域との調整を進めました。

[27 頁／地域活動拠点事業]

④ 一時預かり事業（ぞうさんルーム）の更なる拡充

利用者のニーズに応え、10月から開設日を増やし、毎週火曜日と金曜日の実施となりました。回数の増加により、新規の方の予約がさらにとりやすくなり、利用者の幅が広がりました。また、協力会員の活動の機会も増えました。今後も市担当課とともに、ぞうさんルームの実施日の増設に向けて取り組みます。

[52 頁／かしわファミリー・サポート・センター事業]

⑤ 社協認知度の向上と会員制度の理解促進

会費パンフレットを改訂・発行（1500部）し、各担当事業の講座・研修等で配付しました。

[16頁／会員会費]

(3) 調査・研究

① “食”をきっかけとした支援の仕組みについての検討

市から受託した食材保管庫管理事業での取り組み以外に、生活に困窮する世帯での支援や社会福祉法人の連携による食に関する新たな支援の可能性について、協議、研究を行いました。

② 地域活動者等の人材育成・確保の研究

地域活動者の発掘と本会事業の協力員等の確保を図るため、一体的に活動を案内できる「地域活動ガイドブック」を発行し、市民への周知を行いました。

③ 今後の事業展開を踏まえた組織編制と拠点のあり方等の検討

本会の事業規模の拡大に伴い、令和6年度の組織改編の検討を行いました。

④ ICTを活用した事務・事業の改善

スピード感のある意思決定や組織運営を行うため、講座やイベント募集等にkintoneを導入しました。また、人事管理システムや顧客管理システム導入にあたっての検証を行いました。

Ⅱ 法人運営・計画・団体事務局等

1 役員会議等

自 主

総務課

(1) 正副会長会議の開催状況

期 日	主な内容
R5. 5. 18	[第1回] 令和4年度事業報告・計算書類等の承認、評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会委員の招集、定時評議員会の招集等、役員候補者の推薦
R6. 3. 5	[第2回] 諸規程の制定及び一部改正、令和6年度事業計画・予算、500万円以上の物品購入契約の締結、役員等賠償責任保険契約の締結、不納欠損処分、役員候補者の推薦、第2回評議員会の招集等

(2) 理事会の開催状況

期 日	主な内容
R5. 6. 1	[第1回] 令和4年度事業報告・計算書類等の承認、評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会委員の招集、定時評議員会の招集等、役員候補者の推薦
6. 22	[第2回] 会長、副会長及び常務理事の選定、評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正、評議員選任・解任委員会委員の選任
11. 30	[第3回] 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告、こどもの居場所活動等事業に係る倉庫の運営に係る報告、社会福祉法人地域公益活動の推進について報告
R6. 3. 14	[第4回] 諸規程の制定及び一部改正、令和6年度事業計画・予算、500万円以上の物品購入契約の締結、役員等賠償責任保険契約の締結、不納欠損処分、役員候補者の推薦、第2回評議員会の招集等

(3) 評議員会の開催状況

期 日	主な内容
R5. 6. 22	[定 時] 令和4年度事業報告・計算書類等の承認、理事の選任、監事の選任
10. 13	[懇談会] 災害時における社会福祉協議会の役割について
R6. 3. 22	[第2回] 規程の一部改正、令和6年度事業計画・予算等

(4) 監査の実施状況

期 日	主な内容
R5. 5. 10	[顧問会計士監査] 令和4年度下半期会計監査（～R5. 5. 12）
5. 23	[監 事 監 査] 令和4年度事業報告・決算報告
7. 25	[補 助 金 監 査] 令和3年度さわやかサービス事業補助金監査
11. 9	[法人指導監査] 柏市指導監査課による法人指導監査
11. 15	[顧問会計士監査] 令和5年度上半期会計監査（～R5. 11. 17）
R6. 1. 23	[補 助 金 監 査] 令和4年度法人管理運営事業補助金監査

(5) 評議員選任・解任委員会の開催状況

期 日	主な内容
R5. 6. 7	[残任期間] 評議員3名の解任及び選任

(6) 福祉サービス調整委員会議

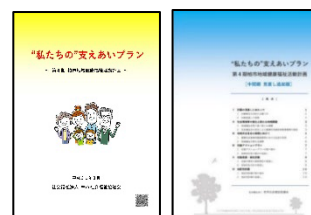
期 日	主な内容
R6. 3. 8	苦情等の報告、その他

2 第4期柏市地域健康福祉活動計画

自 主 総 務 課

(1) 計画全体・地区別計画

前年度までの成果や課題を踏まえ、令和5年度の実施計画を策定するとともに、柏市地域支えあい推進協議会を開催して計画の進捗管理や推進方策の検討を行いました。



期 日	柏市地域支えあい推進協議会のテーマ
[第1回] R5. 9. 29	<ul style="list-style-type: none"> 第4期活動計画の進捗及び第5期活動計画策定に向けて 生活支援体制整備事業進捗報告について 第4期活動計画の推進について たすけあいサービスの推進について
[第2回] R6. 2. 16	<ul style="list-style-type: none"> たすけあいサービスの今後の推進のあり方について 第5期活動計画の策定に向けて 令和6年度生活支援体制整備事業の進め方について

(2) 社協アクションプラン・発展強化計画

プラン・計画の目標達成に向けて、各レベルの会議において進捗管理と課題解決に努めました。

会議名	期 日	主な内容
主管者会議	毎月第2火曜日	重要案件等の協議、組織方針の意思決定
局長課長会議	毎月第1火曜日	事業の進捗確認、課題等の調整、協議
課内会議等	各課・担当毎	主管者会議、局長課長会議の伝達、業務進捗管理や調整

事業調整会議	毎月開催	地域健康福祉活動計画の進捗管理、事業展開の方針や組織全体の方向性の共有・調整の場
職員意見交換	R6. 2. 7	入職3～7年の職員による計画に関する意見交換

3	柏市住民福祉大会	自主	総務課
----------	-----------------	----	-----

期 日	主な内容
R5. 10. 26	表彰者選考会議
12. 9	<p>第50回柏市住民福祉大会 [アミュゼ柏クリスタルホール] 参加者 211名</p> <p>[第一部] 社会福祉功労者の顕彰 (個人・団体) 柏社協会長表彰状 170名・25団体 柏社協会長感謝状 0名・8団体 福祉の心作品展入賞者 5名</p> <p>[第二部] 講演&演奏会「息子と母で歩んだ『希望への道』」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>福祉の心作品展表彰</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>第二部 (演奏会の一場面)</p> </div> </div>

4	啓発活動	自主	総務課
----------	-------------	----	-----

(1) 地域福祉の情報紙「紙ひこうき」

町会・自治会での回覧や会員向けに配布するとともに、公共施設に配架するなど、地域福祉の情報提供及び広報活動に努めました。

[8ページ構成、発行部数 約 21,500部/回]



令和6年1月発行号

期 日	主な内容 (特集)
R5. 5. 1	[184号] 柏社協の相談事業
9. 1	[185号] 柏市内おすすめスポット
R6. 1. 15	[186号] 第50回柏市住民福祉大会

(2) 社協ガイド



組織・事業の理解を広めるため、令和5年度版社協ガイドを発行しました。

(3) ホームページ

事業の対外的な発信や伝達、利便性の向上を目的に最新情報の公開に努めました。

(4) 地域福祉啓発カレンダー及びポスター

事業への理解促進及び地域福祉の推進を目的に、柏市社会福祉協議会カレンダー及びポスターを特別会員及び町会・自治会・区等、関係団体に配付しました。



(5) 地域活動スタートアップブック

これから「何か活動に参加したい!」と考えている市民に対して、地域に係る様々な活動の情報を提供し、活動の第一歩をサポートするツールとして地域活動スタートアップブックを発行し、市民への周知を行いました。

期 日	会場	内 容	参加者人数
R5.7.4	柏地域医療連携センター	社会福祉協議会が提案する「地域活動のススメ」	会場 33名 オンライン 7名
R6.3	シルバー人材センター	シルバー人材センター会員に配付	2,000部



大規模災害時に備えて災害ボランティアセンターを始めとした支援の仕組みづくりを準備するとともに、本会の機能が継続できるよう以下の取り組みを行いました。

(1) 災害対策本部機能訓練の実施

災害対策本部の機能の確認、修正のため、災害対策本部機能訓練を実施しました。

期 日	項 目	主な内容
R5. 10 月	マニュアル更新	災害時対応マニュアルの更新
R6. 1 月	確認	長時間の通信・ネットワーク停止時の業務マニュアル・バックアップ整備
1. 26	機能訓練	災害ボラセン立ち上げ時における人員必要数及び、本部判断等の図上訓練
2. 9	機能訓練	災害対策クラウドシステム図上シミュレーション



災害ボラセン立ち上げ時
図上訓練



サイボウズクラウドシステム
図上シミュレーション

(2) 柏市および他団体との協力体制の確立

災害時における協力体制の確立のため、柏市及び関係団体と協議等を行いました。

期 日	項 目	主な内容
R5. 9. 30	訓練参加	柏市総合防災訓練への参加（災害VCブース設置）
11. 18	協議	柏青年会議所との災害時における協議
R6. 1. 17	意見交換	災害時の三者連携に関する意見交換会 主催：柏市市民活動支援課、災害支援ネットワーク千葉（CVOAD） 参加者：柏市防災安全課、市民活動サポートコーナー、柏市社会福祉協議会
1. 25	協議	第1回 災害に関する柏市と柏市社会福祉協議会の協議の場

(3) 災害ボランティアセンター

① 災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害ボランティアセンター運営に市民の参画を得るため、コーディネーター養成講座（訓練含む）を開催しました。（現在登録者 110 名）

項目	R3	R4	R5
養成人数	7 名	6 名	8 名

② 災害ボランティアコーディネーターフォローアップ講座

養成講座修了者のフォローアップとして開催しました。

期日	主な内容	参加者
R5. 10. 7	令和元年 災害ボランティアセンター運営について学ぶ 講師：南房総市社会福祉協議会 平井 良治氏	24 名

③ 職員研修・訓練

万一の体制整備の一環として、研修及び訓練を実施しました。

期日	項目	主な内容
毎月 1 回	初期行動訓練	LINWORKS による送受信訓練
R5. 11. 9	職員研修	マニュアル確認と訓練説明他
11. 18	災害ボラ訓練	災害ボランティアセンター設置・運営訓練 コーディネーター参加者数 21 名 職員参加者数 46 名 参加団体 16 名 [参加団体] 公益社団法人柏青年会議所、SL 災害支援ネットワーク千葉、千葉レスキューサポートバイク、柏市赤十字奉仕団、千葉県社会福祉協議会、柏市福祉政策課、柏市防災安全課



災害ボランティアセンター設置・運営訓練

▶ 当年度申請受理分〔後援 30 件〕

	後援等申請団体	内 容
1	NPO 法人フリーマーケット推進ネットワーク	柏の葉公園リサイクルフリーマーケット
2	エコロジーネットワークラズベリー	かしわ油田 柏の葉フリーマーケット
3	柏・麦わらぼうしの会	この子たちを忘れない 2022-1945 ヒロシマ・ナガサキ原爆の記憶-
4	NPO 法人地域活性リサイクル活動 ミルクの会	柏の葉公園 ミルクの会フリーマーケット
5	特定非営利活動法人 権利擁護あさひ	「共生社会・ピアと共に歩む・労働を考える」
6	福祉ネットワーク水の輪	水の輪♡夢コンサート&作品展
7	NPO 法人東葛市民後見人の会	市民後見人養成講座
8	DEI 実行委員会	詩劇「しあわせの森の物語」～森を舞台に繰り広げられるファンタジーパフォーマンス～
9	こうしねっと	家族で取り組む介護予防フェスタ in 柏 2023
10	福祉ネットワーク水の輪	こんさーと水の輪
11	社会福祉法人 よつば	市民向け啓発講演会「斎藤環先生を迎えての講演会」
12	国際文化交流研究所	ハートフルコンサート
13	ヨガと手作りパンサークル	脱マスク！たるみ改善 顔ヨガ
14	NPO 法人東葛市民後見人の会	講習会「老後の安心講座」
15	柏マジッククラブ	柏マジッククラブ発表会 2023
16	大津ヶ丘ふるさとまつり実行委員会	大津ヶ丘ふるさとまつり
17	光ヶ丘地域ふるさと協議会 光ヶ丘地区社協部	第 14 回光ヶ丘地域ふれあいまつり
18	柏市立柏高等学校	第 41 回チャリティーコンサート
19	柏子どもの文化連絡会	第 28 回柏市おはなし会 S, わくわく人形劇まつり
20	はぐはぐフォーラム実行委員会	はぐはぐフォーラム 2024
21	特定非営利活動法人 老いじたくあんしんねっと	老いじたく公開セミナー「認知症 家族で考えよう 安心入門講座」

22	社会福祉法人 よつば	親亡き後の生活と成年後見制度について
23	柏ユネスコ協会	第 49 回市民かるた大会
24	NPO 法人東葛市民後見人の会	市民後見人養成講座（基礎編）
25	社会福祉法人 青葉会	ふれあいフェスタ 2024
26	全国大陶器市振興組合	チャリティー全国大陶器市
27	エコロジーネットワーク・ラズベリー	かしわ油田 柏の葉公園フリーマーケット
28	柏市茶の湯協会	チャリティー納涼茶会
29	特定非営利活動法人 老いじたくあんしんねっと	令和 6 年度 柏市民セミナー「遺言書作成と生前贈与」
30	非営利活動法人 フリーマーケット推進ネットワーク	令和 6 年度 「柏の葉公園フリーマーケット」

7	柏市民生委員児童委員協議会事務局	事務協力	総務課
----------	-------------------------	------	-----

地域福祉を推進するため、柏市民生委員児童委員協議会事務局を担当しました。

項 目	内 容 (回数、人数等)
単位民生委員児童委員協議会	22 地区
定 数	584 名 [R4. 12. 1～R7. 11. 30]
訪 問 回 数	116, 597 回／年 [累計]
活 動 日 数	82, 656 日／年 [累計]
主 な 会 議 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三役会（第 3 火曜） ・ 単位民児協会会長会議（第 4 火曜） ・ 高齢者福祉部会 ・ 生活福祉部会 ・ 女性児童福祉部会 ・ 主任児童委員連絡会 ・ 新任研修会 ・ 単位民児協会会長研修

市及び関係機関との連携・支援として、役職員による会議の委員等協力、講師派遣を行いました。また、各種表彰及び民間助成応募に係る推薦も行いました。

(1) 他機関設置会議の委員等協力

① 理事・評議員（設置主体の名称は、令和5年度のもの）

会議名	設置主体
柏市健康福祉審議会 障害者健康福祉専門分科会 地域健康福祉専門分科会 児童健康福祉専門分科会	柏市福祉政策課
柏市民生委員推薦会	柏市福祉政策課
柏市廃棄物処理清掃審議会	柏市廃棄物政策課
柏市要保護児童対策地域協議会 代表者会議	柏市こども支援室
千葉県社会福祉協議会評議員会	千葉県社会福祉協議会
柏市在宅医療・介護多職種連携会議	柏市地域医療推進課
千葉県市町村社会福祉協議会会長会議	千葉県社会福祉協議会
社会を明るくする運動柏市推薦委員会	柏市福祉政策課
柏市交通政策審議会	柏市交通政策課
柏市空き家等対策協議会	柏市住宅政策課
柏市介護保険施設等事業者選定委員会	柏市高齢者支援課
千葉県共同募金会理事会	千葉県共同募金会
東葛飾地区社会福祉協議会連絡会	船橋市社会福祉協議会

② 管理職（設置主体の名称は、令和5年度のもの）

会議名	設置主体
柏市健康福祉審議会 高齢者健康福祉専門分科会 地域健康福祉専門分科会	柏市福祉政策課
柏市自殺予防対策連絡会議委員	柏市福祉政策課
柏市フレイル予防プロジェクト 2025 推進委員会	柏市健康政策課
千葉県共同募金会配分委員会	千葉県共同募金会
千葉県共同募金会支会・分会事務局長会議	千葉県共同募金会
千葉県内市町村社会福祉協議会局長会議	千葉県社会福祉協議会
柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 構築推進会議（代表者会議）	柏市保健予防課
千葉県福祉人材確保・定着東葛飾地域推進協議会	千葉県健康福祉指導課
千葉県社会福祉協議会政策調整委員会	千葉県社会福祉協議会
千葉県地域ぐるみ福祉振興基金助成事業運営委員会	千葉県社会福祉協議会
柏市災害医療検討会	柏市防災安全課
振り込め詐欺等対策会議	柏市防災安全課

地域福祉推進委員会	全国社会福祉協議会
基本要項検討委員会	全国社会福祉協議会
千葉県地域福祉支援計画策定・推進協議会	千葉県
柏市障がい者スポーツ推進連絡会	柏市スポーツ課
柏市社会教育委員会議	柏市生涯学習課
柏市公民館運営審議会	柏市中央公民館
柏市立図書館協議会	柏市図書館
柏市権利擁護ネットワーク会議全体会	柏市地域包括支援課
柏市権利擁護ネットワーク会議（高齢者に関する専門部会）	柏市地域包括支援課
柏市権利擁護ネットワーク会議（成年後見制度に関する専門部会）	柏市地域包括支援課
柏市権利擁護ネットワーク会議（障害者に関する専門部会）	柏市障害福祉課
柏市地域生活支援センター支援調整会議	柏市地域生活支援センターあいネット
認知症にやさしいまちづくり会議	柏市地域包括支援課
柏市障害者差別解消支援地域協議会	柏市障害福祉課
柏市要保護児童対策地域協議会 実務担当者会議	柏市こども支援室
柏市在宅医療・介護多職種連携協議会 啓発・広報部会	柏市地域医療推進課
柏市生涯現役促進協議会	柏市健康政策課
柏市地域包括支援センター 運営協議会 センター長会議	柏市地域包括支援課
柏市高齢者権利擁護ネットワーク運営委員会	柏市地域包括支援課
市営住宅あり方協議会	柏市住宅政策課
あ・えーるテラスネットワーク会議	あ・えーるテラス

③ 職員（設置主体の名称は、令和5年度のもの）

会 議 名	設置主体
おいじたくあんしんネット報告会	柏市高齢者支援課
千葉県助け合い協議会	千葉県社会福祉協議会
柏市非営利団体連絡会	タイムストック柏の会
柏市乳幼児保健懇話会	柏市教育研究所
郡市民児協事務局担当者会議	千葉県民生委員児童委員協議会
千葉県共同募金会支会・分会担当者会議	千葉県共同募金会
千葉社協職員連絡協議会 代議員	千葉県社会福祉協議会

柏市地域包括支援センター 社会福祉士連絡会 主任ケアマネ連携会議 医療職連携会議 認知症地域支援推進員会議 主任介護支援専門員連絡会	柏市地域包括支援課
柏市介護支援専門員協議会総会	柏市介護支援専門員協議会
南部みんなの広場運営委員会	柏市子育て支援課
松戸地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	ハローワーク松戸
地域包括ケアワーキンググループ	柏市・東大 IOG
柏市消費者行政推進協議会	消費者生活センター
柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 構築推進会議（実務者会議）	柏市保健所保健予防課
看取り体制の構築に向けた市内連絡会	柏市地域医療推進課

(2) 他市視察受入

	期 日	依頼者	主な内容
1	R5. 6. 16	銚子市民生委員児童委員協議会	ラコルタ柏視察・多世代交流事業説明

(3) 職員の講師派遣

地域の教育機関や各団体等へ地域福祉等の講師として職員の派遣を行いました。

	期 日	依頼者	主な内容
1	R5. 6. 24	南部地域ふるさと協議会 「健康講座」	ファミサポ周知 基礎研修会案内
2	7. 10	風早北部地域健康づくり 推進員	出張講座 「親子で遊べる手作りおもちゃ・ふれあい遊び」
3	7. 10	柏市民健康づくり推進員 子育て部会	母と子のつどいで活用できる手遊び、ひろばで感じる最近の子育てについて
4	7. 14	田中地区健康づくり推進員「定例会」	ファミサポ周知 基礎研修会案内
5	8. 8	田中地区社協子育て支援部「定例会議」	ファミサポ周知 基礎研修会案内
6	11. 7	全国社会福祉協議会	社協活動全国会議シンポジスト
7	R6. 2. 2	医療創生大学	地域を学ぶ講演
8	2. 2	千葉県社会福祉協議会	市町村社協地域福祉・ボランティア担当者研修会 基本要項検討報告
9	2. 24	はぐはぐ子育て応援フォーラム実行委員	家族で楽しむふれあい遊び

※「わたしの望みノート」や中核機関（かしわ福祉権利擁護センター）、沼南地域包括支援センターからの講師派遣は、各々のページに実施状況を掲載

(4) 分野を超えた社会福祉法人のネットワークづくり

「情報発信」「人材育成・交流」「地域公益活動」の三本柱に基づいた部会を編成した「柏市社会福祉法人等ネットワーク」を設立し、市内21法人が参画しました。

期 日	会議の内容
R5. 5. 29	市内法人への参画への呼びかけ方法について
7. 24	情報共有ツールの活用について、団体の名称について
9. 29	参画への呼びかけに向けた調整について
11. 27	参画法人の確認と説明会、設立の総会の準備について
R6. 1. 29	参画法人への説明会
2. 26	窓口担当職員への説明、所属部会の決定
3. 18	第一部 設立総会 第二部 基調講演 「法人連携の必要性と地域公益活動への期待」 講師：東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 教授 加山 弾 氏



Ⅲ 会費・寄附・共同募金等

1	会員会費	自 主	総 務 課
----------	-------------	-----	-------

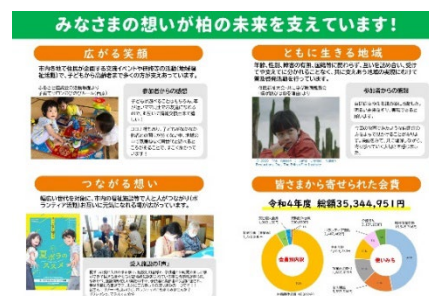
町会・自治会・区・管理組合の住民団体、企業、福祉団体、個人から、重要な財源である社協会費の協力を得ました。

(1) 会費内訳

種 類	R3	R4	R5
住民団体会員	[265 町会等] 31,468,700 円	[277 町会等] 32,312,801 円	[276 町会等] 32,550,622 円
特別会員	[168 法人等] 1,700,000 円	[170 法人等] 1,730,000 円	[152 法人等] 1,550,000 円
賛助会員 (団 体)	[45 団体] 320,000 円	[41 団体] 290,000 円	[39 団体] 270,000 円
賛助会員 (個 人)	[699 名] 1,157,500 円	[619 名] 1,012,150 円	[631 名] 983,100 円
計	34,646,200 円	35,344,951 円	35,353,722 円

(2) 会費パンフレットの改訂・配付

会費パンフレットを改訂・発行（1500部）し、各担当事業の講座・研修等で配付しました。



2	寄 附	自 主	総 務 課
----------	------------	-----	-------

善意の寄附金等が多く寄せられました。寄附金は、生活困窮者や子ども食堂への助成等に活用しました。また、物品預託は、福祉施設等へ寄贈しました。

(1) 寄附金

種 類	R3	R4	R5
一 般 寄 附	[111 件] 2,686,390 円	[99 件] 2,453,762 円	[100 件] 2,605,883 円

災害対策基金	[0 件] 0 円	[0 件] 0 円	[2 件] 32,284 円
セーフティーネット基金	[13 件] 85,000 円	[11 件] 60,000 円	[12 件] 60,000 円
柏子ども未来基金	[25 件] 743,745 円	[34 件] 1,007,529 円	[55 件] 649,661 円
支えあい推進基金	[0 件] 0 円	[3 件] 25,850 円	[1 件] 3,000 円
計	3,515,135 円	3,547,141 円	3,350,828 円

(2) 物品預託

種 類	R3	R4	R5
衣 料 品 [新品洋服等、寝具類等]	2 件	5 件	1 件
家 庭 用 品 [タオル、マスク、生理用品等日用品]	9 件	11 件	6 件
介 護 用 品 [車いす、紙オムツ、ポータブルトイレ等]	16 件	13 件	16 件
ベビー用品 [ベビーカー、チャイルドシート、玩具等]	1 件	7 件	11 件
食 料 品 [米、果物、レトルト食品、菓子等]	13 件	10 件	10 件
学 用 品 [文房具、体操服、給食袋、上履入れ等]	5 件	2 件	2 件
そ の 他 [観戦チケット、切手、金券、車両タイヤ等]	4 件	5 件	5 件
計	50 件	53 件	51 件

(3) 寄付チラシの改訂

柏市社会福祉協議会の寄付の使い道や納入方法を記載した普及啓発用チラシを、柏市のDSS（デザインサポートステーション）を活用し、改訂すると共に社協窓口にて配架しました。



(4) 遺贈による寄附受け入れの仕組みづくり

相続人がいない高齢者の増加や慣れ親しんだ「地域」への想いを受け止める仕組みづくりとして、(公財)成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部に協力をいただきながら作成した遺贈寄附のパンフレットを柏社協窓口及び市内関係機関（市役所関係、司法書士事務所、葬儀屋等82か所）へ配架しました。



(5) 寄附型自動販売機の設置

施設2か所（いきいきプラザ、柏寿荘）に、飲料の売上の一部が本会に寄附される自動販売機を設置。寄附金が地域福



社の財源に活用されることを伝えるようラッピングデザインしました。紙ひこうきで設置者を募集しました。

[いきいきプラザ、柏寿荘ほか 計 45,251 円]

3	共同募金 [千葉県共同募金会柏市支会]	事務協力	総務課
----------	----------------------------	------	-----

(1) 募金方法別の募金額

▶ 赤い羽根募金

赤い羽根募金	R3	R4	R5
戸別	17,604,068 円	17,363,122 円	16,561,249 円
法人	422,500 円	482,800 円	367,500 円
学校	981,690 円	803,927 円	733,727 円
職域	151,889 円	139,743 円	105,088 円
その他	440,226 円	630,133 円	655,022 円
計	19,600,373 円	19,419,725 円	18,422,586 円

▶ 歳末たすけあい募金

歳末募金	R3	R4	R5
戸別	9,399,718 円	9,652,655 円	9,207,514 円
法人	312,500 円	347,500 円	277,500 円
その他	2,000 円	2,000 円	173,513 円
計	9,714,218 円	10,002,155 円	9,658,527 円

(2) 募金協力依頼

住民団体をはじめ、幅広い市民の協力のもと募金活動を実施しました。

また、店舗等に募金箱、しおりの設置及びポスターの掲示、デジタルサイネージ(電子看板)による広報を行いました。

区分	町会・自治会等	法人	学校	募金箱・ポスターの設置
依頼数	295 件	194 件	87 件	公共施設 31 か所 店舗等 45 か所 (しおり) 7 か所



一人一人のあたたかい支援を大切に



柏レイソル選手の協力による
ポスター&ピンバッジ

(3) 主な募金・啓発活動

街頭募金活動	10月1日柏駅周辺において、わせがく高等学校の生徒、柏ボーイスカウト、ボランティア団体、当事者団体(総138名)の協力で実施しました。
募金啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新規店舗へ募金活動等の協力依頼(5店舗) ▶ 市内の店舗、大学等へ募金箱・ポスターを設置し、来街者からの寄附を募りました。 ▶ 柏レイソル選手が語りかける啓発動画を制作し、店舗・公共施設で放映しました。

4 共同募金・歳末たすけあい配分事業

自 主

総 務 課

(1) 配分委員会の開催

期 日	主な内容
R5. 7. 21	[第1回] 緊急援護金及び学用品等支援経過見直し及び令和5年度からの取り組み状況報告、地域課題解決活動助成の令和6年度活動テーマについて見直し検討等
11. 10	[第2回] 経済的な課題を抱える世帯への支援経過報告(緊急援護金支援、ランドセル支援、学用品支援)、福祉活動団体助成金交付要件等検討(地域課題解決活動助成の活動テーマ、スケジュールの確認)等
R6. 2. 1	[第3回] 令和6年度福祉活動団体等助成金(ボランティア団体、当事者福祉団体の金額決定の合意)、地域課題解決活動助成金のプレゼンテーション審査等
2. 29	[第4回] 地域課題解決活動助成団体の最終選考および決定等

(2) 共同募金の配分

① 配分金額

	R3	R4	R5
一般募金配分金	14,028,000円	13,720,000円	13,594,000円
歳末たすけあい配分金	9,923,660円	9,705,894円	9,144,449円
計	23,951,660円	23,425,894円	22,738,449円

② 事業配分

活動区分	主な事業	配分金額
高齢者福祉	地域活動館運営、わたしの望みノート等	3,131,617円
障害者福祉	インクルーシブDAY、当事者団体支援等	1,213,426円
児童・青少年福祉	こども・若者支援、「福祉の心」作品展等	1,260,868円

母子父子福祉	はぐはぐひろば沼南の充実、子育て支援等	733,990 円
ボランティア	ボランティア団体支援、ボランティアセンター活性化等	3,058,233 円
福祉育成・援助	相談支援事業、地区社協支援、災害備蓄等	4,195,866 円

③ 団体助成配分

助成種類	助成数	内 訳
当事者・福祉団体	13 団体	スタートアップ助成 0 団体 地域貢献活動助成 13 団体 ステップアップ助成 2 団体 ※複数区分での交付団体があるため、内訳の合計と助成数は異なる。
ボランティア団体	63 団体	スタートアップ助成 3 団体 地域貢献活動助成 63 団体 ステップアップ助成 6 団体 ※複数区分での交付団体があるため、内訳の合計と助成数は異なる。
地域課題解決活動	3 団体	[かしわトータルヘルスケア協議会] ▶コロナ禍による生活様式変更から生じた不活動に対する支援 [虹色未来大学] ▶高齢者インターネット利活用推進と志縁型コミュニティの確立 [NPO 法人 te-tte Toneriko] ▶0 歳児の子育て世代から育む障がい理解と地域連携
柏市民生委員児童委員協議会	1 団体	地区民児協運営費の一部
地区社会福祉協議会	22 団体	基本事業費の一部

5 自動販売機設置経営事業

自 主

総 務 課

自主財源確保のため、柏市及び関係機関の協力により、自動販売機設置経営事業を実施しました。

設置場所	R3	R4	R5
沼南社会福祉センター	3 台	3 台	3 台
老人福祉センター柏寿荘	1 台	1 台	—
南部老人福祉センター	2 台	2 台	2 台
沼南老人福祉センター	1 台	1 台	1 台
関 係 機 関	—	1 台	—
計	7 台	8 台	6 台
手数料収入合計	249,083 円	246,451 円	264,325 円

IV 地域支援・ボランティア

1	地域活動拠点事業	自主・市補助	地域福祉課
----------	-----------------	--------	-------

身近な場での相談及び地域活動支援を目的として、令和5年5月に新田原地域いきいきセンターを新規開設し、10のコミュニティエリア（風早南部、松葉町、光ヶ丘、豊四季台、富勢、田中、南部、新富、増尾、新田原）に拠点が広がりました。各地域いきいきセンターでは窓口運営を中心に、福祉相談、ボランティア育成、地域づくり等を実施しました。

(1) 風早南部地域いきいきセンター [H21. 4. 1 開設]

項 目	R3	R4	R5
開 設 日 数	142 日	144 日	145 日
利 用 件 数	906 件	743 件	801 件
[手段] 電 話	401 件	286 件	312 件
来 所	344 件	339 件	376 件
訪 問	125 件	115 件	101 件
メ ー ル	36 件	3 件	12 件
[目的] 相 談	177 件	156 件	239 件
地域関係	487 件	465 件	428 件
事業関係	182 件	89 件	113 件
そ の 他	60 件	33 件	21 件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協との連携（定例役員会、ふるさとフェア等のふる協主催イベントの支援）、地区社協との連携（定例役員会・見守り活動会議や地区懇談会等の行事支援、サロン訪問、福祉教育パッケージ関連）、多世代交流型コミュニティ実行委員会との連携（定例会出席・イベント支援）、民児協との連携、地域支えあい推進員との連携（支えあい会議・藤のなごみ納涼祭支援・子育てママ応援イベント企画・支えあい分科会）、たすけあい活動団体との連携（定例会出席）
ボランティア育成等講座	「子どもうたで遊びましょう！」講座実施（多世代交流型コミュニティ実行員会共催企画）
その他（広報等）	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施 [別記 61 頁]、沼南地域包括支援センターとの連携（スタッフ会議出席、個別ケース対応協力、お元気コール利用者の情報共有）、市民活動支援課・中央公民館との連携（風早南部かるた会議出

	席)、児童センター・柏市健康づくり推進員との連携(子育て関連機関会議開催)
--	---------------------------------------

(2) 松葉町地域いきいきセンター [H22. 11. 1 開設]

項目	R3	R4	R5
開設日数	144日	144日	141日
利用件数	1,349件	1,572件	1,746件
[手段] 電話	460件	531件	405件
来所	625件	791件	808件
訪問	188件	203件	414件
メール	76件	47件	119件
[目的] 相談	158件	325件	465件
地域関係	762件	860件	1,086件
事業関係	330件	339件	151件
その他	99件	48件	44件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協(地区社協)・民児協・地域活動団体との連携(サロン、定例会議、行事開催支援等)、ふる協(地区社協)・民児協・包括等の連携による支えあいの推進(支えあい会議の開催、たすけあい団体交流会の開催等)、町会単位の支えあい活動と居場所の立ち上げ支援、ふる協・民児協共催の未就学児親子対象イベントや小学生対象講座の企画・運営支援、ふる協・民児協・地域活動団体・包括と連携した多世代の居場所立ち上げ・運営支援。
ボランティア育成等講座	「家でも出来る!椅子ヨガで心身のリラックス」講座実施
その他(広報等)	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施 [別記 61 頁] 北柏第2地域包括支援センターとの連携(個別ケース支援及び地域の居場所づくりに向けた連携等)、スクールソーシャルワーカー・学校・市関係機関・地域活動団体との連携(個別ケース対応)。

(3) 光ヶ丘地域いきいきセンター [H25. 5. 11 開設]

項目	R3	R4	R5
開設日数	149日	146日	148日
利用件数	1,126件	1,147件	1,276件
[手段] 電話	361件	295件	338件
来所	623件	710件	765件
訪問	119件	129件	156件
メール	23件	13件	17件
[目的] 相談	291件	411件	403件

地域関係	337 件	370 件	318 件
事業関係	276 件	254 件	444 件
その他	222 件	112 件	111 件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協（執行部会、総会、理事会出席、近隣センター祭り参加）との連携、地区社協（全体会、役員会、サロン代表者会議、講座、イベント、両地区社協合同地区懇談会への出席、サロンの講師および取材訪問、視察研修同行）との連携、民児協との連携（三地区合同研修会に出席）、支えあい推進活動（支えあい意見交換会、支えあい会議、子ども食堂を知る交流会、支えあいコア会議、地域の活動グループ支援、たすけあい団体懇談会開催、たすけあい団体の総会・ボランティアミーティングへの出席、新町会長へのヒアリングとたすけあい活動の説明、シニアクラブでのたすけあい活動の説明）
ボランティア育成等講座	実施なし
その他（広報等）	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施 [別記 61 頁] お元気コールボランティア交流会実施、光ヶ丘地域包括支援センターとの連携（定例会議への出席、地域ケア会議、地域ケア圏域会議への出席、個別ケース対応協力）、安心システム推進会議出席、地域密着型デイサービス運営推進会議出席

(4) 豊四季台地域いきいきセンター [H27. 6. 2 開設]

項 目	R3	R4	R5
開 設 日 数	146 日	149 日	147 日
利 用 件 数	1,216 件	1,490 件	1,128 件
[手段] 電 話	552 件	614 件	368 件
来 所	367 件	520 件	472 件
訪 問	226 件	290 件	227 件
メ ー ル	71 件	66 件	61 件
[目的] 相 談	96 件	277 件	294 件
地域関係	799 件	928 件	491 件
事業関係	193 件	201 件	284 件
その他	128 件	84 件	59 件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協、地区社協との連携（役員会出席、地区社協行事開催支援）、ボランティア団体の支援、サロン及び地域活動館登録団体サークル及び事業所等への訪問、ささえ愛実行委員会および支えあい会議開催、さんあいネットワーク相談受付、多世代交流の居場所運営継続支援等、(株)御用聞きと
--------	---

	の連携（豊四季台団地支えあい活動の推進及び自治会行事運営支援）、新町会長・自治会長へのヒアリングおよびたすけあい活動の説明
ボランティア育成等講座	「つたわるってうれしい！はじめての手話 広がる世界」講座開催
その他（広報等）	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施 [別記 61 頁]、柏市・UR 等関係機関との連携、柏西口地域包括支援センターとの連携(地域ケア会議・地域推進圏域会議への出席等)、教育支援センター豊四季台訪問、生涯現役促進協議会訪問、柏中央保育園訪問

(5) 富勢地域いきいきセンター [H29. 5. 28 開設]

項目	R3	R4	R5
開設日数	147 日	149 日	147 日
利用件数	1,524 件	1,548 件	1,437 件
[手段] 電話	362 件	353 件	430 件
来所	925 件	879 件	837 件
訪問	176 件	278 件	145 件
メール	61 件	38 件	25 件
[目的] 相談	198 件	424 件	179 件
地域関係	704 件	920 件	1,121 件
事業関係	144 件	170 件	64 件
その他	478 件	34 件	73 件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協（地区社協）との連携（イベント開催支援、福祉事業部定例会出席、地区懇談会等の活動支援）・民児協との連携（定例会出席等）、サロン・通いの場の訪問とボランティア団体紹介等支援、世代間交流活動支援として小学校訪問、地域支えあい推進員との連携（支えあい会議、コア会議、たすけあい団体立ち上げおよび活動支援）、布施新町みらいプロジェクトの活動支援、こども食堂活動および運営支援、町会イベント参加支援
ボランティア育成等講座	実施なし
その他（広報等）	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施 [別記 61 頁] 北柏地域包括支援センターとの連携(お元気コール利用者の情報共有、個別ケース対応共有及び連携支援、地域ケア会議、地域ケア圏域会議への出席、包括主催の町会講座連携支援)、布施遊戯室との連携(個別ケース対応)、柏市役所子育て支援課との連携、スクールソーシャルワーカーとの連携(個別ケースの対応)

(6) 田中地域いきいきセンター [R1. 8.19 開設]

項 目	R3	R4	R5
開 設 日 数	143 日	79 日	145 日
利 用 件 数	1,064 件	930 件	1,448 件
[手段] 電 話	370 件	303 件	263 件
来 所	451 件	391 件	794 件
訪 問	124 件	138 件	179 件
メ ー ル	119 件	98 件	212 件
[目的] 相 談	191 件	198 件	287 件
地域関係	716 件	664 件	861 件
事業関係	134 件	62 件	283 件
そ の 他	23 件	6 件	17 件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協（地区社協）と地域活動者の連携（子どもイベントの実施を機に地区社協担い手メンバー2人増となる。）支えあい活動推進（支えあい会議開催、地域元気情報の情報収集、学校と協力関係を構築）シニアクラブ新樹会と高齢者サロンのお繋ぎ（ボッチャ大会や地域のイベントに参加し多世代交流支援ができるきっかけづくり）主任児童委員と連携（地域活動講座「しめ縄講師を増やす講座」を支援）
ボランティア育成等講座	「田中地域・子どもフェス講座」開催。 10/14 田中小・11/19 田中北・12/16 花野井小 3回実施。
その他（広報等）	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施 [別記 61 頁] 小学校と SSW と連携（個別ケースの対応）、柏北部地域包括支援センターと連携（定例会議への出席、個別ケア会議、地域ケア圏域会議への出席）地域活動者と福祉事業者、学校の連携（多世代交流、参加支援、高齢者の活躍の場づくり）

(7) 南部地域いきいきセンター [R2. 5.11 開設]

項 目	R3	R4	R5
開 設 日 数	135 日	136 日	134 日
利 用 件 数	873 件	1,157 件	1,182 件
[手段] 電 話	399 件	421 件	516 件
来 所	274 件	545 件	475 件
訪 問	189 件	181 件	185 件
メ ー ル	11 件	10 件	6 件
[目的] 相 談	325 件	519 件	589 件
地域関係	315 件	371 件	400 件
事業関係	164 件	234 件	179 件
そ の 他	69 件	33 件	14 件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協・地区社協との連携（定例役員会、健康講座、サロン代表者会議、地区懇談会等）、町会サロンの訪問、地域支えあい推進員との連携（新町会長ヒアリング 3 町会、支えあいコア会議 4 回、支えあい会議 2 回、支えあい活動アンケート報告会 2 回、支えあい活動団体立ち上げ準備 5 回）
ボランティア育成等講座	「お元気コールボランティア養成講座」2 回実施（7 月、9 月）
その他（広報等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施 [別記 61 頁] ・南部地域包括支援センターとの連携（定例会議、個別ケア会議・地域ケア圏域会議、認知症カフェへの参加） ・権利擁護センターとの連携（終活応援ルーム「望」） ・子育て支援担当との連携（南部みずたま相談室） ・住環境再生課との連携（南逆井まちづくりプロジェクトの勉強会、移動スーパー、かまど広場のイベント周知、参加）

(8) 新富地域いきいきセンター [R3. 4. 27 開設]

項 目	R3	R4	R5
開 設 日 数	134 日	147 日	147 日
利 用 件 数	655 件	908 件	1,033 件
[手段] 電 話	150 件	254 件	367 件
来 所	335 件	462 件	478 件
訪 問	169 件	180 件	125 件
メ ー ル	1 件	12 件	63 件
[目的] 相 談	108 件	210 件	314 件
地域関係	352 件	418 件	414 件
事業関係	144 件	230 件	259 件
そ の 他	51 件	50 件	46 件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協・地区社協との連携（役員会出席、行事開催支援等）、民児協との連携、健康づくり推進員と連携、サロン訪問、支えあい活動推進（支えあい会議・コア会議開催、地域元気情報の情報収集、たすけあい団体支援、居場所づくり支援）、こども食堂支援（状況に応じたサポート、寄付のお渡し等）
ボランティア育成等講座	実施なし
その他（広報等）	かしわお元気コール実施 [別記 61 頁] 柏西口第 2 地域包括支援センターとの連携（圏域推進会議出席、ケース共有）

(9) 増尾地域いきいきセンター [R4. 11. 1 開設]

項 目	R3	R4	R5
開 設 日 数	—	79 日	199 日

利 用 件 数	—	172 件	700 件
[手段] 電 話	—	37 件	180 件
来 所	—	106 件	352 件
訪 問	—	28 件	117 件
メ ー ル	—	1 件	51 件
[目的] 相 談	—	30 件	160 件
地域関係	—	39 件	250 件
事業関係	—	56 件	217 件
そ の 他	—	47 件	73 件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協・地区社協との連携(役員会出席、町会等サロン・地域活動訪問及び連携・サロン・通いの場懇談会出席・イベント参加・講師紹介等支援)民児協との連携(定例会必要時参加)地域支えあい推進員との連携(支えあい会議打ち合わせと内容調整・支えあい会議2回)必要時増尾 G5 開催し情報共有・地域元気情報の情報収集
ボランティア育成等講座	「苔テラリウムづくりをしよう～『五感』で楽しく自然とふれあえる体験～」講座開催
その他(広報等)	かしわお元気コール実施 [別記 61 頁] お元気コールボラ交流会の実施。ほのぼのプラザますお社協事業に係る対応等(Cafe ボラミーティングへの参加、2F 講座応募受付対応等)民児協との連携(定期的なお元気コール事業周知、地域担当者と利用者の情報共有)ほのプラ通信記事作成及び発行。 地域包括支援センターとの連携(ほのぼの定例会議開催、個別ケア会議・地域ケア圏域会議への出席・認知症カフェ参加)SSW との連携

(10) 新田原地域いきいきセンター [R5. 5.7 開設]

項 目	R3	R4	R5
開 設 日 数	—	—	129 日
利 用 件 数	—	—	576 件
[手段] 電 話	—	—	153 件
来 所	—	—	345 件
訪 問	—	—	76 件
メ ー ル	—	—	2 件
[目的] 相 談	—	—	164 件
地域関係	—	—	302 件
事業関係	—	—	92 件

その他	—	—	18件
主 な 事 業			
地域活動支援	ふる協（執行部会、総会、理事会出席）との連携、地区社協（全体会、役員会、サロン代表者会議への出席、講座への出席、イベントへの出席、1ヶ月1回の支えあい会議出席及び司会、コミュニティ農園参加）民児協との連携（必要時に定例会出席）。健康づくり推進員との連携		
ボランティア育成等講座	お元気コールボランティア養成講座開催 「みんなで考えよう 私たちのこれからのこと～お葬式、お墓、施設について～」講座開催		
その他（広報等）	ミニコミ誌発行、かしわお元気コール実施 [別記 61 頁] 文化祭用新田原チラシ発行、新田原サロンの紹介チラシ発行。地域包括支援センターとの連携（定例会議出席、ケース共有）		

(11) その他の取り組み

コロナ禍における生活困窮者等に対する生理用品配布の実施窓口として、来所者に対する相談対応等を実施しました。また、昨年に引き続きワクチン接種予約に関して、高齢者等予約システムでの予約が難しい市民に対し、電話及び窓口でのサポート、相談対応を実施しました。

2 エリアごとの支援体制整備事業

市委託

地域福祉課

(1) 事業推進に向けた体制づくり

あいネット・関係課等との定例会議を開催し、事業の体制づくりに取り組みました。

	R3	R4	R5
回数	-	11回	12回
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・かしまる会議の方針、内容検討、実施に向けた調整 ・継続ケースの進捗確認、新規ケースの検討 		

(2) 周知・広報

事業の取り組み周知のため、市関係課・あいネットと連携し、支援関係機関を対象とした広報「かしまる」を発行しました（年4回発行）

(3) 重層的支援会議（小会議）等及び伴走支援の実施

重層的支援体制整備事業における多機関協働事業として、重層的支援会議等の開催を通じた関係機関のコーディネート、伴走支援を実施しました。

① 対応ケース数

	R3	R4	R5
延対応ケース数	-	4件	18件
(内) 小会議 実施ケース数	-	4件	8件

② 小会議実施回数

	R3	R4	R5
新規	-	4件	4件
継続	-	0件	3件
終了	-	0件	4件
合計		4件	11件

主な検討ケース 及び会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両親、子のそれぞれに課題のある7人世帯 ・ 高齢者と障害のある子の世帯 ・ 障害が疑われるひきこもりがちな単身世帯 ・ 精神疾患のある両親、不登校や障害を抱えた子の世帯 ・ 難病の母とヤングケアラーの子二人の世帯 ・ 精神障害を抱える高齢者に対する支援 ・ 発達障害があり、支援拒否がある方の支援 ・ 外国籍で複雑な課題を抱えた世帯 		
-------------------	---	--	--

③ その他ケース会議実施回数

	R3	R4	R5
回数	-	2回	4回

(4) 重層的支援会議（中会議）の実施及び大会議への参加

相談支援関係機関への事業理解の促進、連携強化を目指し、中会議を実施しました。また、多機関協働事業として連動した取り組みとするため、あいネット主催の大会議に参加しました。

① 第1回中会議

令和4年度の取り組みの報告、「支援のために今後つながりたいところ」「柏市にあったらいいと思う支援、資源」について意見交換を実施しました。

期日	実施エリア	参加者人数
R5. 6. 26	中央エリア	20名
R5. 6. 27	東部エリア	20名
R5. 6. 28	南部エリア	16名
R5. 7. 4	北部エリア	20名

② 第2回中会議

今後の事業方針の説明、『『たのしい!』から考えるアプローチ～みんなの興味・関心を生かした参加支援と地域づくり～』をテーマに、事例を用いた意見交換を実施しました。

期日	実施エリア	参加者人数
R6. 1. 22	中央エリア	24名
R6. 1. 25	南部エリア	19名
R6. 1. 29	東部エリア	13名
R6. 1. 30	北部エリア	18名

③ 大会議への参加

期日	主な内容
R5. 10. 6	令和4年度の取り組み報告、地域づくり事業に関する進捗報告、事例に基づくグループワークの実施。

(5) 職員研修

重層的支援体制整備事業における今後の地域づくりに向けて、職員研修を開催いたしました。

期日	主な内容
R5. 6. 15	(株)IRODORIの取り組みについて
R5. 8. 3	宮崎県三股町の取り組みについて
R5. 8. 17	ワガママ会議の体験

(6) ワガママ会議

多様な主体が集い、普段の仕事や生活の中であきらめていることや我慢していること(ワガママ)を出し合い、可視化、解決策から行動までの機運を醸成するための会議を開催しました。

期日	主な内容
R5. 12. 5	第0回ワガママ会議
R6. 1. 16	第1回ワガママ会議
R6. 3. 12	第2回ワガママ会議

(7) 視察研修

重層的支援体制整備事業に関する参加支援・地域づくりの本格稼働に向けて、事業内容の具体化をするため視察研修を行いました。

期日	主な内容
R6. 2. 13～14	コミュニティデザインラボ視察 (宮崎県三股町社会福祉協議会)

(1) 活動支援

市内22の地区社会福祉協議会で、地域の各種支えあい活動を展開しました。また、本会と地区社会福祉協議会が相互に連携が図れるよう、地区担当職員を配置し、福祉団体や行政機関と連携しながら地域福祉の推進に取り組みました。

項目	R3	R4	R5
職員活動回数総数	1,103回	1,170回	1,268回

▶ 主な地区社協活動

区域	地区社協名	主な活動
北部	田中、柏の葉、西原、富勢、松葉、高田・松ヶ崎	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 役員会、運営委員会、部会等の会議 ▶ 地域福祉関係者会議 ▶ ボランティア講座、研修・勉強会
中央	豊四季台、柏中央、新富、旭町、新田原、富里、永楽台	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ふれあいサロン・喫茶、子育てサロン ▶ 見守り、声かけ活動 ▶ 日常生活支援活動
南部	光ヶ丘、土(増尾)、南部、藤心、酒井根	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 世代間交流（ふれあい給食） ▶ 敬老・ふれあい・ひとり暮らしの集い
東部	手賀、風早南部、大津ヶ丘・塚崎、風早北部	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 相談窓口の設置、個別ケース相談 ▶ 地区懇談会 ▶ 支えあい会議 ▶ 地区内の支えあい活動団体支援 ▶ その他

(2) 連絡会等の開催

期日	主な内容	出席者
R5. 5.17 (第1回)	地区担当職員紹介、市社協組織体制及び事業計画、活動助成金及び傷害保険について（ハイブリッド開催）	93名
9.20 (第2回)	生涯現役促進協議会の取り組み、柏市こどもの居場所活動等支援事業に係る倉庫の運営、こどもの居場所活動団体について	52名
12.22 (第3回)	支えあい研修会 [テーマ] 健康まちづくり JAGESデータからみた柏市の特徴を踏まえて 千葉大学予防医学センター 教授 近藤克則氏	108名
R6. 1.17	ふるさと協議会連合会合同 会計担当者研修	32名
2.21 (第4回)	実績報告、活動助成金の手続きの流れ、活動助成金交付要件、活動中の保険、地区社協連絡便部数確認、第5期地域健康福祉活動計画	47名

(3) 活動助成金の交付

継続的な活動展開のため、運営及び活動費等を助成しました。地区別計画推進、支えあい活動、担い手育成、ネットワークづくり等を重点に交付しました。

地区社協助成金	R3	R4	R5
助成金総額	27,650,000円	27,210,000円	28,740,000円

(4) 情報提供

地区社会福祉協議会が発行した広報紙や関係機関の講座・研修等の情報を各地区社会福祉協議会に提供しました。[毎月送付]

(5) 地区社協一般参加者傷害補償保険の加入

活動に参加する高齢者等一般住民のケガ等に対する傷害保険に加入しました。

4 生活支援体制整備事業

市委託・市補助

地域福祉課

(1) 地域支えあい推進協議会

つながりと支えあいのある地域の実現に向け、現状の活動や体制構築が適切に進められているか、進捗状況を報告し、課題解決を中心に議論しました。

期 日	主な内容
[第1回] R5.9.29	令和5年度生活支援体制整備事業の進捗報告について たすけあいサービスの推進について
[第2回] R6.2.16	令和6年度生活支援体制整備事業の進め方について たすけあいサービスの今後の在り方について

(2) 支えあい研修会

健康とくらしの調査（JAGES）の結果から見てきた各地域の特徴や課題等を活動者と共有し、これからの地域福祉活動の方向性について考えを深めました。

期 日	主な内容	出席者
R5.12.22	※地区社協連絡会と同時開催 [テーマ] 健康まちづくり JAGESデータからみた柏市の特徴を踏まえて	108名

(3) 地域協議体（支えあい会議等）

支えあい会議の開催 [全21地域中21地域、44回開催]

地域の課題やニーズを共有し、支えあいの充実を図るために各地域で支えあい会議やイベントが実施されました。

地 域	回数	期 日
田 中	4 回	①7/15 ②10/14 ③11/19 ④12/16
柏 の 葉	3 回	①6/10 ②11/11 ③2/10
西 原	1 回	10/29
富 勢	1 回	8/30
松 葉	1 回	6/24
高田・松ヶ崎	2 回	①6/10 ②2/19
豊四季台	1 回	2/8
柏 中 央	1 回	11/17
新 富	2 回	①9/9 ②2/17
旭 町	1 回	1/20
新 田 原	11 回	毎月 1 回 (1 月を除く)
富 里	1 回	7/8
永 楽 台	1 回	2/15
増 尾	2 回	①7/19 ②3/11
光ヶ丘	2 回	①9/16 ②12/14
南 部	2 回	①8/5 ②9/16
藤 心	1 回	1/16
酒 井 根	1 回	2/17
手 賀	2 回	①12/2 ②1/25
風早南部	2 回	①6/3 ②12/14
風早北部	2 回	①6/22 ②2/22

(4) 生活支援コーディネーター

① 第 1 層コーディネーター

地域支えあい推進協議会の運営、地域支えあい推進員の育成・支援、市域の人材育成、資源開発などを実施しました。

ア 第 2 層コーディネーター（地域支えあい推進員）定例会開催

イ 企業との連携

市内企業と市域たすけあい団体による粗大ごみの搬出・廃棄に関する連携を継続しました。また、生活支援サービスを提供する企業との連携の在り方について検討しました。

ウ 外部研修等

R5. 7. 27	生活支援体制整備事業に係る市町村研修会 (2 名)
8. 1	千葉大学 OPERA 成果報告シンポジウム (1 名)
8. 29	生活支援コーディネーター養成研修会 (1 名)
9. 1	

10. 4	いきがい・助け合いオンラインフェスタ 2023 (1名)
R6. 2. 4	R5 年度佐倉市支え合い講演会「ご近所パワー活用術」(1名)
2. 5	第14回SCカフェ「企業の取り組みを聞いてみよう」(1名)
2. 14	生活支援コーディネーター圏域別情報交換会 (1名)
3. 25	生活支援コーディネーター研究協議会 (1名)

② 第2層コーディネーター（地域支えあい推進員）

ア 委嘱

全21地域中11地域 [西原、富勢、高田・松ヶ崎、富里、新田原、増尾、南部、藤心、手賀、風早南部、風早北部]

イ 研修・定例会

外部研修	[R5. 10. 4] いきがい・助け合いオンラインフェスタ 2023 (2名) [R6. 2. 28] 第14回SCカフェ (1名) [3. 28] 第15回SCカフェ (1名)
視察訪問	[R5. 12. 14] 52間の縁側（有限会社オールフォアワン） NEIGHBOR FOOD PLACE (NPO 法人わか) (9名)
定例会	全8回開催 ・市内外の先進事例や活動の共有 ・意見交換 等

ウ 活動 [延874回]

	支えあい会議・準備会の運営	関係者のネットワーク	普及啓発	活動準備 立ち上げ支援	定例会 研修等参加	資料の 準備・作成	合計
田 中	—	—	—	—	—	—	—
柏 の 葉	—	—	—	—	—	—	—
西 原	1	37	5	3	9	2	57
富 勢	11	34	8	4	5	10	72
松 葉 町	—	—	—	—	—	—	—
高田・松ヶ崎	16	30	0	9	43	4	102
豊四季台	—	—	—	—	—	—	—
柏 中 央	—	—	—	—	—	—	—
新 富	—	—	—	—	—	—	—
旭 町	—	—	—	—	—	—	—
新 田 原	23	18	1	0	12	2	56
富 里	4	32	2	1	6	2	47
永 楽 台	—	—	—	—	—	—	—
増 尾	15	34	3	11	8	6	77
光 ヶ 丘	—	—	—	—	—	—	—
南 部	6	66	0	0	8	6	86

藤 心	5	46	0	0	11	8	70
酒井根	—	—	—	—	—	—	—
手 賀	10	145	4	1	10	6	176
風早南部	9	35	0	0	3	17	64
風早北部	6	45	0	0	8	8	67
合 計	106	522	23	29	123	71	874

(5) 生活支援の担い手の養成やサービスの開発

① 柏市訪問型生活支援サポーター（かじサポ）

担い手の養成に向けて、来年度の方向性を協議しました。

② 生活支援人材無料職業紹介所

求職者	求人事業所	採用決定
0名	1事業所	0名

③ たすけあい活動団体研修会（同じ内容で2日間開催）

期 日	主な内容	参加者
R5. 11. 7	講座「相手に寄り添う話の聴き方」	32名
11. 16	講師：上坂 春江 氏（シニア産業カウンセラー）	20名

④ 通いの場交流会

期 日	主な内容	参加者
R5. 7. 21	情報交換、意見交換	18名

(6) たすけあいサービス及び通いの場事業費補助金交付

① 補助金の交付審査

主な内容	
書類審査及び ヒアリング	たすけあいサービス 55件 通いの場サービス 19件
現地調査	通いの場サービス 0件
交付審査会	▶ 常設型通いの場事業費補助金「運営費補助・家賃補助」 交付審査会 0件

② 補助金交付団体

▶ たすけあいサービス事業費補助金交付団体

	R3	R4	R5
交付団体	59団体	59団体	55団体
（内訳）町会	32団体	33団体	30団体
コミュニティ	18団体	17団体	17団体
複数コミュニティ	9団体	9団体	8団体
活動登録者数	1,623名	1,621名	1,553名
（内訳）町会	785名	859名	801名
コミュニティ	688名	609名	617名
複数コミュニティ	150名	153名	135名
利用者数（登録又は実人数）	2,730名	2,809名	2,753名

(内訳) 町会	986名	1,132名	1,134名
コミュニティ	664名	692名	775名
複数コミュニティ	1,080名	985名	844名
内ゴミ出し利用者実人数	392名	476名	480名
(内訳) 町会	121名	194名	179名
コミュニティ	156名	172名	147名
複数コミュニティ	115名	110名	154名
年間延べ活動者数	17,043名	18,851名	18,501名
(内訳) 町会	4,251名	5,745名	4,842名
コミュニティ	7,850名	7,241名	7,912名
複数コミュニティ	4,942名	5,865名	5,747名
金 額	4,350,000円	4,424,000円	4,176,000円

▶ 通いの場事業費補助金交付団体

	R3	R4	R5
交付団体数	21団体	21団体	19団体
(内訳) 週一型	13団体	13団体	11団体
常設型	8団体	8団体	8団体
年間延べ開設回数	1,607回	2,225回	2,211回
(内訳) 週一型	446回	585回	498回
常設型	1,161回	1,640回	1,713回
年間延べ利用者数	23,662名	34,845名	38,013名
(内訳) 週一型	5,202名	8,767名	8,871名
常設型	18,460名	26,078名	29,142名
一日あたり利用者数	339名	323名	285名
(内訳) 週一型	220名	211名	161名
常設型	119名	112名	124名
金 額	6,082,000円	5,818,000円	5,560,000円

③ 補助事業の広報・周知

次年度の補助事業について、広報かしわ（地域包括支援課協力）、本会ホームページへ掲載、窓口での配布をしました。また、補助制度の説明会を開催しました。

(7) たすけあいサービス実施団体向けの活動保険加入受付

① 活動補償事業の広報・周知

地区社会福祉協議会、非営利団体連絡会等、たすけあいサービスを実施する団体への通知を行いました。

② 保険加入等の状況

	町会エリア	コミュニティエリア
申請受付団体数	32団体	14団体
申請事務（延べ活動従事者数）	11,576名	
事故対応数	1件	
賠償対応数	0件	

(8) 支えあい推進活動支援金交付

たすけあいサービス及び通いの場事業新規立ち上げ団体を対象に、立ち上げ支援金を交付しました。

▶ たすけあいサービス立ち上げ支援金

交付団体数	交 付 額
2 団体	100,000 円

▶ たすけあいサービス運営支援金

交 付 団 体 数	1 団体
交 付 額	25,320 円
活 動 登 録 者 数	5 名
利用者数（登録又は実人数）	4 名
内ゴミ出し利用者実人数	0 名
年 間 延 べ 活 動 者 数	260 名

(9) ほのぼのプラザますおでの通いの場事業の運営

地域活動団体との連携・協働による常設型(週4日)の通いの場を運営しました。1階は地域の方々が集うコミュニティカフェの運営、2階は市民提案型のイベント事業を実施しました。

▶ 多目的ひろば1

開設回数	199 回
利用者	2,485 名
延べボランティア活動者	444 名

▶ 多目的ひろば2

イベント開催	138 回
参加者	1,168 名
活動者（企画・運営）	403 名



カフェボランティア体験会の様子



通いの場のイベントの様子

(10) 居場所づくりお助けグッズ

地域のサロン活動などの居場所づくりを応援する為のグッズの貸出しを行いました。

貸出件数	389 件
貸出品目数	646 品



(11) 地域元気情報の発行

地域住民の活躍の場をお知らせし、参加を推進するために、様々な地域活動等をまとめた地域元気情報を発行しました。



① 柏市域版（8,000部発行）

スマホやパソコンから見る事ができる情報サイトをまとめ、はたらく、習う・学ぶ等のカテゴリ別のホームページを紹介しました。

② 地域版（200部×21地域発行）

地域毎に、たすけあい・通いの場・サロン、身近なサークル情報等を計1,304団体紹介しました。

地域元気情報

5 ボランティア活動 [ボランティアセンター] 自主・市補助 地域福祉課

(1) 啓発活動

ボランティアセンターパンフレット、登録ボランティア団体一覧、通年ボラ冊子（ボラ∞）などの発行、メール配信サービスを利用したボランティア情報のお知らせメールの配信等を行いました。

(2) ボランティアの育成講座

項目	R3	R4	R5
講座数	7講座 15回	7講座 16回	6講座 14回
延参加数	246名	285名	241名

▶ 実施講座一覧

講座名称	回数	延人数
ボランティア入門講座	4回	72名
精神保健ボランティア養成講座（全4回） ※3回目は体験として10/24～11/18の間で実施	4回	66名
災害ボランティアコーディネーター養成講座	3回	48名
災害ボランティアコーディネーターフォローアップ講座	1回	24名
車椅子点検ボランティア交流会	1回	9名
保育ボランティア養成講座	1回	22名



ボランティア入門講座
(もどかしさ体験)



車椅子点検ボランティア交流会

(3) ボランティアの登録・支援

活動の促進を図るため、グループへの助成金交付、活動上の連絡調整や課題等の相談支援を行いました。

① 社協登録

登録種別	R3	R4	R5
グループ	131グループ 2,375名	128グループ 2,344名	134グループ 2,235名
個人	880名	941名	830名
計	3,255名	3,285名	3,065名

② 登録NPO法人

登録種別	R3	R4	R5
NPO法人	29団体	29団体	28団体

(4) ボランティア相談及び紹介事業

ボランティア活動に関するさまざまな相談に対応するため、ボランティアコーディネーターによるボランティア相談を実施しました。

① 各種相談 [ボランティア相談等]

相談区分		R3	R4	R5
ボランティア活動に関する相談	活動依頼	211件	298件	296件
	活動希望	354件	319件	191件
	活動関係	1,860件	1,306件	1,625件
	備品関係	84件	87件	128件
その他の相談・問合せ	福祉相談等	481件	129件	160件
計		2,990件	2,139件	2,400件

② ボランティアコーディネート

内容区分	R3	R4	R5
活動情報等希望	0件	0件	0件
障害者関係	9件	11件	11件
高齢者関係	10件	38件	63件
児童関係	64件	75件	87件
レクリエーション	12件	44件	123件
イベント関係	12件	20件	27件
傾聴関係	1件	0件	5件
収集ボランティア関係	0件	0件	0件
環境関係	0件	0件	0件
その他	0件	5件	7件
計	108件	193件	323件

(5) ボランティア活動保険・行事用保険

ボランティア活動者の保険（登録外ボランティア、災害支援ボランティア等）及びボランティア行事用保険の契約手続を行いました。

保険種別	R3	R4	R5
活動保険	114 件 [1, 010 名]	100 件 [1, 202 名]	122 件 [1, 413 名]
行事保険	49 件 [3, 265 名]	92 件 [6, 340 名]	109 件 [8, 325 名]
計	163 件 [4, 275 名]	192 件 [7, 542 名]	231 件 [9, 738 名]

6 ふれあい型給食サービス

自

主

地域福祉課

ひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティアが中心となって手作り弁当の配食（会食）を実施している団体に助成を行いました。

団体名	R3	R4	R5
富里地区社協とみさと会 [富里地区]	85 名	194 名	418 名
計	85 名	194 名	418 名

※表中の利用者数は、助成対象事業の利用者数（1食あたり200円を助成）

7 柏市総合福祉センター関係事業

市委託

地域福祉課

(1) イベント開催事業

ラコルタ柏2階多世代交流スペース等において、個人・団体から99の企画・提案があり、連携事業を展開しました。対象別のイベントをはじめ、多種多様な方々の交流につながる新たな企画や学生提案を伴走支援することで、社会参画・参加が促進されました。

① イベント開催

イベント項目	R3	R4	R5
多世代交流	12回 1,485名	37回 2,511名	71回 3,698名
子育て向け	37回 517名	78回 2,383名	96回 4,027名
児童健全育成	23回 474名	14回 498名	24回 628名
障がい理解・支援	14回 218名	16回 671名	5回 198名
シニア向け	20回 143名	19回 498名	29回 444名
相談支援	82回 696名	96回 1,095名	123回 1,869名
人材育成	3回 50名	6回 87名	9回 176名
展示	4回 —	5回 —	6回 —
計	195回 3,583名	271回 7,743名	363回 11,040名



メンズメイク講座



自分でつくるサンドウィッチ



学生講師による建築模型講座

② 広報・周知

イベント開催の告知は、紙媒体だけでなく、HP や SNS を活用し、様々な世代の方が気軽にイベントに参加できるよう広報を行いました。

③ 親子スペース

乳幼児の遊び場として多くの親子が利用しています。また、サポートボランティアを配置し、スペースの環境整備やイベントサポートの他、利用者の育児不安の傾聴、親子同士の交流を促進しています。



親子スペース



サポートボランティアによる飾りつけ

(2) 総合福祉センター施設管理等事業

利用状況

項目		R3		R4		R5	
多目的 研修室 1・2	昼	—		449 件	11,625 名	412 件	10,869 名
	夜	—		41 件	800 名	40 件	924 名
多目的 研修室 1	昼	37 件	338 名	19 件	194 名	24 件	254 名
	夜	2 件	12 名	1 件	7 名	1 件	14 名
多目的 研修室 2	昼	34 件	293 名	3 件	36 名	11 件	244 名
	夜	1 件	7 名	0 件	0 名	1 件	12 名
講座室	昼	35 件	322 名	384 件	4,541 名	342 件	4,161 名
	夜	0 件	0 名	17 件	120 名	16 件	108 名
活動室	昼	17 件	104 名	274 件	2,075 名	261 件	2,023 名
	夜	0 件	0 名	22 件	173 名	14 件	106 名
計		1,510 件	12,960 名	1,210 件	19,571 名	1,122 件	18,715 名

(3) コミュニケーション支援事業

視覚障害者等が情報を得やすい環境をつくるためのボランティア人材を養成しました。

種類	R3	R4	R5
	延受講者数／修了者数／団体入会数		
点訳奉仕員養成講座 全10回	133名/13名/9名	38名/4名/4名	185名/18名/9名
音訳ボランティア養成講座 全20回	417名/21名/21名	—	—
計	550名/34名/30名	38名/4名/4名	185名/18名/9名

8 地域活動館の運営

自主 総務課

住民が自由に集まることのできる地域交流スペースとして、住民団体に会場をご利用いただき、様々なイベントを企画・運営しました。

また、障害理解や就労支援等を目的とした製品販売の場「かしわモノづくりマルシェ」が毎月第3火曜日に開催されています。



項目	R3	R4	R5
延べ利用団体数	256 団体	333 団体	375 団体
延べ活動者数	1,091 名	1,201 名	1,325 名
延べ参加者数	2,636 名	3,595 名	3,520 名
情報交換会	155 団体 165 名	172 団体 199 名	168 団体 192 名

9 地域子育て支援拠点事業（はぐはぐひろば沼南）

市委託

相談支援課

子育て親子、プレパパママの交流の場の提供と促進を目的として、未就学児の親子とプレパパママを対象に、楽しく安全に遊べる場所として運営しています。

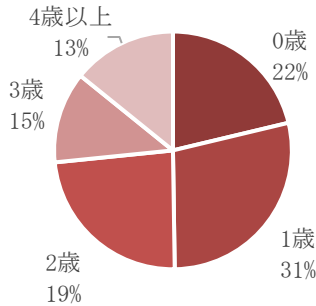


子育て関連の情報の充実及び拡充に努めたほか、週1回、0歳と1歳の親子の時間や年10回パパママタイムと称してパパの育児支援にも力を入れました。また、出張ひろば、育児講座、その他のイベントも予約制で行いました。

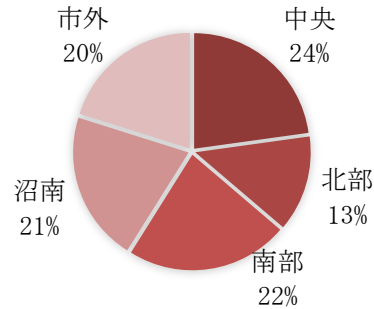
(1) 利用者数

項目	R3	R4	R5
相談件数	222件	304件	511件
新規利用登録世帯数 [累計数]	473世帯 [5,775世帯]	477世帯 [6,252世帯]	687世帯 [6,939世帯]
年間利用者数 [世帯数]	14,442名 [5,953世帯]	13,955名 [5,710世帯]	18,449名 [7,599世帯]

こどもの年齢別割合



利用世帯別エリア



(2) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

項目	R3	R4	R5
育児講座 (毎月1回以上)	14回	17回	13回
	326名 [194組]	400名 [165組]	325名 [170組]
0歳あつまれ！ すくすくタイム (毎週1回)	49回	47回	49回
	569名 [257組]	644名 [286組]	734名 [326組]
1歳あつまれ のびのびタイム	第1・3週1回 22回	第1~4週1回 44回	第1~4週1回 45回
	254名 [124組]	540名 [259組]	613名 [287組]
その他イベント	・季節のおたのしみ（こどもの日／七夕／まつり／クリスマス／節分／おひなまつり） ・リユース会 ・り楽つくすタイム ・誕生会		

(3) ニコニコデイズの実施

音楽や遊びを通じて、ボランティアと子育て親子がふれあうイベントを実施しました。

項目	R3	R4	R5
実施回数	4回	4回	4回
延参加者数	91名	103名	226名
延ボランティア数	20名	14名	12名

[主な内容] コンサート／打楽器演奏／バルーンアート／手遊び・南京玉すだれ

(4) はぐりんぐの取り組み

重層的支援体制整備が進められる中で、はぐはぐひろば沼南でもその強みを活かし、利用者の協力と、相談支援機関との連携によるリユース品を活用した取り組み（生活困窮世帯等への子供服、ベビーベット、紙おむつ等の配付）を行った。

はぐはぐひろば沼南にて、子育て支援アドバイザーによる、育児に悩む保護者の個別相談、各種支援サービスの情報提供や調整等の支援を行いました。出張相談は、光ヶ丘地域いきいきセンター、南部地域いきいきセンター、ラコルタ柏「多世代交流スペース」で実施しました。

(1) 相談実績

項目	R3	R4	R5
相談件数	1,202 件	949 件	832 件
[手段] 来所	1,056 件	811 件	699 件
電話	68 件	59 件	66 件
出張	69 件	69 件	65 件
その他 (※)	9 件	10 件	2 件
[新規]	331 件	357 件	325 件
[継続]	871 件	592 件	507 件
他機関へ繋ぐ	17 件	8 件	6 件

※ [その他] 他機関からの問い合わせ (職員から見た気になる利用者)

(2) 主な相談内容

項目	R3	R4	R5
基本的生活 [睡眠・授乳・離乳食等]	177 件	126 件	117 件
育児方法 [健康・教育・しつけ等]	315 件	224 件	195 件
発育発達 [言葉・性格・社会性等]	328 件	251 件	244 件
医療関係 [病気・事故・予防接種等]	30 件	33 件	28 件
生活環境 [家庭・近隣・人的関係]	273 件	261 件	252 件
園生活 [入園・在園等]	157 件	117 件	118 件
母親自身の悩み	112 件	132 件	74 件
その他	116 件	54 件	29 件

※1 件で複数の相談項目が重複することがあるため(1)相談実績の件数と一致しない

11 こどもの居場所活動団体の支援

こども食堂、学習支援のこどもの居場所団体の継続的な活動を支援するため、新規活動の支援及び助成金の交付をしました。

また、企業との連携を図り、食材等寄付のネットワーク構築を図りました。

(1) こどもの居場所活動団体

把握している活動団体	R3	R4	R5
食堂 (フードパントリー、学習支援を兼ねている団体含む)	23 団体	34 団体	40 団体
学習支援	2 団体	2 団体	2 団体

(2) こどもの居場所活動助成金

項目	R3	R4	R5
助成金総額	700,000 円	950,000 円	1,350,000 円
団体数	11 団体	16 団体	22 団体

(3) 企業とのネットワーク構築

① 道の駅しょうなん

寄付内容：野菜

② セブン-イレブン・ジャパン

寄付内容：食品及び日用雑貨

※千葉県社会福祉協議会を通じ改装等店舗からの寄付受け入れ

12 こどもの居場所活動等支援事業

受託

地域福祉課

こども食堂、学習支援のこどもの居場所団体の継続的な活動を支援するため、柏市から食材保管庫の管理運営を受託し食材等の受け入れ及び配付並びに食材の在庫状況をお知らせする専用ホームページを開設しました。また、関係団体が交付する助成金等の情報配信を行いました。

その他、柏市及び日本KFCホールディングス並びにフランチャイズ店との4者協定を締結し、冷凍チキンの寄付受け入れに係る調理実習を開催しました。

(1) 寄付食材等受付量

項目	R3	R4	R5
受付量	—	—	4231.9 kg

※R5.11～

※寄付受付は柏市であり、主な寄付者は企業（製麺業者、ハム加工品業者、菓子業者、佃煮業者、フィットネスクラブ等）及び関係機関、個人

(2) 食材保管庫

場 所：柏市風早1-2-2 沼南社会福祉センター隣

倉庫開放日：毎週水曜日 午後1時から3時

項目	R3	R4	R5
日数	—	—	21 日
延べ利用団体数	—	—	91 団体

※R5.11～

(3) 食材在庫状況専用ホームページ

項目	R3	R4	R5
更新回数	—	—	21 回

※R5.11～



(4) 情報配信及び需給調整等

項目	R3	R4	R5
配信数	—	—	39回

(5) 会議・実習等

項目	期日	内容	参加者
こどもの居場所活動団体等連絡会	R5. 10. 1	倉庫の利用について	23名
調理実習	R6. 3. 12	KFC 利用に関する調理実習	29名

13

障害者地域交流推進事業

自主

地域福祉課

柏ふるさと公園に設置されたインクルーシブ公園「みんなの広場」で、放課後デイサービス利用者を対象に、障害のある子もいない子と一緒に遊ぶ「インクルーシブDAY」を実施しました。また、令和6年3月にはインクルーシブDAYを拡大し「スプリング・フェスティバル」を開催しました。

(1) インクルーシブDAY

実施回数 5回

参加施設 8施設、児童数 107名

(2) スプリング・フェスティバル

参加者 36名、学生ボランティア 6名



インクルーシブDAY



スプリング・フェスティバル

V 福祉教育

1 福祉教育パッケージ指定地域の支援

県社協助成

地域福祉課

千葉県社会福祉協議会・千葉県教育委員会による福祉教育パッケージの指定を受け、小学校3年生から高校までの福祉単元計画を立て、青少年の時期から切れ目ない福祉へのわが事意識を育てる機会をつくり、その計画の中で地域の方々にも関わり合いを持ちながら福祉教育の推進を図りました。福祉体験や地域で作成したかるた、パラスポーツ（ボッチャ）を通して、学校と地域との交流が生まれました。また、千葉県福祉教育研究大会での実践発表を行いました。（指定期間：令和3年度～5年度）

2 体験学習支援

自 主

地域福祉課

(1) 福祉体験への支援

高齢者疑似・白杖・車いす・手話体験や障害理解の講話等を企画した学校・企業等[延 1,318名]に対し、ボランティア[延 70名]や職員を派遣し、体験学習支援を行いました。また、訪問介護事業所と連携した講座も実施しました。

区 分	R3	R4	R5
小 学 校	7 回	15 回	9 回
中 学 校	1 回	3 回	1 回
高校・大学・専門	1 回	1 回	1 回
地 域	3 回	1 回	1 回
企業・その他	2 回	1 回	1 回
計	14 回	21 回	13 回

(2) 福祉教育フォローアップ講座

視覚障害疑似体験のガイドや福祉備品の使い方の見直しを図るため、視覚障害当事者及び同行援護従事者の方を講師でお招きしフォローアップの講座を開催しました。

(3) 夏季ボランティア体験 [夏ボラのススメ]

青少年（小学生から大学生まで）を対象に、夏休みを利用したボランティア体験学習を実施しました。その周知と募集を図るために、夏季ボランティア体験学習の受入先を紹介する冊子「夏ボラのススメ」を作成しました。

[実施期間：R5.7.1～8.31]

項 目	R3	R4	R5
受入施設	55 施設	65 施設	82 施設
受入団体	34 団体	39 団体	50 団体
体験人数	延 360 名	延 543 名	延 753 名

(4) 福祉教育普及パンフレット「ふくしの種」

児童が福祉に触れる機会の充実を図るため、市内小学生に対し、「おうちの人と考える福祉」をテーマに、普及啓発パンフレットを配布しました。

R5年度テーマ「なんで車いすにのっているの？」

手や足を動かせないことを考えてみてね」



普及啓発パンフレット「ふくしの種」

(5) 福祉体験教室

順天堂大学の協力を得て、小・中・高校生を対象に、障害当事者と一緒に参加できるパラスポーツ体験会を中央体育館で実施しました。

項目	R3	R4	R5
開催日数	7日	4日	1日
内容	①介護未来案内人 ②点字体験 ③手話ソング体験 ④障がいのある子どもいない子と一緒に楽しもう！ ⑤認知症って何だろう？ ⑥盲導犬について ⑦車いす体験	①「文字を声で届けよう」音訳体験 ②目の見えない見えにくい方をサポートする盲導犬と白杖 ③パラスポーツ体験！みんなでポッチャ ④車いすでバリアフリー体験	パラスポーツに挑戦！ ①ポッチャ ②シッティングバレー ③ゴールボール
参加人数	129名	60名	47名

(6) 体験機材等の貸出

項目	R3		R4		R5	
車いす	16件	110台	12件	159台	24件	167台
高齢者疑似体験道具	15件	122個	16件	205個	16件	154個
白杖	21件	248個	17件	309個	22件	324個
点字練習器	9件	216個	2件	150個	7件	153個
沐浴・妊婦体験道具	5件	12個	5件	11個	7件	14個

市内小・中学校の児童・生徒を対象として、「ともに生きる」をテーマにポスター作品を募集し、福祉に対する意識の高揚を図りました。入賞作品はイオンモール柏店、モラージュ柏、ラコルタ柏、沼南社会福祉センターで展示しました。



モラージュ柏での作品展示

種 類	R3	R4	R5
ポスター	307 点	635 点	400 点

未来の福祉を担う人材の育成に貢献するため、実習生を積極的に受け入れました。

(1) 社会福祉士実習 ※総務課

項 目	R3	R4	R5
受入数等 [24 日実習]	13 名 日本福祉大、淑徳大、聖徳大、帝京平成大、東洋大、帝京科学大、筑波大、日本福祉教育専門学校 ※内 2 名は 16 日実習	10 名 日本福祉大、日本大、淑徳大、聖徳大、帝京平成大、東洋大、文教大、上智大 ※内 1 名は 16 日実習	11 名 東洋大、武蔵野大、文教大、淑徳大、聖徳大（通信）、聖徳大（昼間）、日本福祉大、帝京平成大、日本福祉教育専門学校、日本社会事業大、江戸川学園おおたかの森専門学校 ※内 1 名は 8 日実習

(2) 公衆衛生看護学実習 ※沼南地域包括支援センター

項 目	R3	R4	R5
受入数等 [4 日実習]	1 名 聖徳大学	3 名 聖徳大学、東京情報大学	3 名 聖徳大学、東京情報大学

(3) 老年看護学実習 ※老人福祉センター 3 館

項 目	R3	R4	R5
受入数等 [1 日実習]	80 名 葵会柏看護専門学校	—	—

(4) 母性看護学実習 ※子育て支援グループ

項 目	R3	R4	R5
受入数等 [1~2 日実習]	45 名 慈恵柏看護専門学校 葵会柏看護専門学校	41 名 慈恵柏看護専門学校 葵会柏看護専門学校	39 名 慈恵柏看護専門学校 国際医療創生大学

VI 在宅福祉サービス

1 さわやかサービス

自主・市補助

総務課

住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市民相互の支えあいを基盤に住民参加型の有償在宅福祉サービス事業を実施しました。

お互いさまの気持ちをもって、日常生活にお困りの高齢者障害者、産前産後の母親などを対象とした、生活援助や介護サービスを提供しました。

協力会員のスキルアップ研修では認知症の講座やコミュニティカフェの見学を兼ねて情報交換を行いました。



会員向け福祉情報誌

(1) 会員登録数

区 分		R3	R4	R5
利用会員	登 録 数	719 名	766 名	843 名
	(上記の内)			
	在宅福祉サービス	264 名	298 名	314 名
	年度中入会数	219 名	232 名	278 名
	年度中退会数	132 名	185 名	201 名
協力会員	登 録 数	168 名	176 名	164 名
	年度中入会数	34 名	36 名	26 名
	年度中退会数	34 名	28 名	38 名

(2) サービス実施状況

① 生活援助サービス・介護サービス

種 類	R3	R4	R5
生活援助サービス	3,371 件 5,225 時間	3,420 件 5,305 時間	3,610 件 5,353 時間
(上記の内)	597 件	764 件	745 件
産前産後支援	1,062 時間	1,352 時間	1343.5 時間
介護サービス	367 件 621 時間	668 件 1,136 時間	625 件 1,099 時間
計	3,738 件 5,846 時間	4,088 件 6,441 時間	4,235 件 6,452 時間

② 相談事業

区 分	R3	R4	R5
会員からの相談	3,628 件	3,735 件	4,548 件
会員外からの相談(ケアマネ等)	547 件	557 件	660 件

(3) 人材育成・交流活動

種 類	主な内容	R3	R4	R5
協 力 会 員 登 録 時 研 修	新規登録の協力会員を対象とした研修会	5 回 38 名	4 回 32 名	6 回 21 名
〃	地域訪問型の研修会	—	1 回 3 名	1 回 4 名
講 習 ・ ス キ ル ア ッ プ 研 修	(1)産前産後講習会 (2)認知機能チェックと車いす介 助体験 (3)コミュニティカフェで座談会	4 回 32 名	4 回 34 名	3 回 38 名
非 営 利 団 体 連 絡 会	意見交換会、事例検討会他	1 回 2 名	3 回 3 名	2 回 3 名
たすけあい連 絡協議会	情報交換会、受診サポーター のしくみ他	—	2 回 2 名	4 回 4 名

(4) 普及啓発活動

項 目	主な内容
地域福祉の情報紙「紙ひこうき」 「広報かしわ」、協力会員募集チラシ	[随 時] 事業内容周知、協力会員募集
産 前 産 後 支 援 チ ラ シ 会 報 「 さ わ や か だ よ り 」	[随 時] 利用対象者に向け支援内容周知 [年 3 回] 会員・関係機関配布 ※5 月 25 日、9 月 25 日、1 月 25 日発行

2 移動サービス

自主・市補助

総務課

車いすを使用し、公共交通機関を利用することが困難な方について、福祉車両こらくだくん(6台)による移動支援を行いました。車内の感染予防として運転席と後部座席の間をアクリル板で仕切るなどの対策を継続し、運行しました。



(1) 利用件数等

項 目	R3	R4	R5
利用会員	455 名	468 名	529 名
利用件数	5,199 件	4,969 件	5,560 件
(市内・市外)	市内 4,320 件 市外 879 件	市内 4,152 件 市外 817 件	市内 4,600 件 市外 960 件
稼働日数	293 日	293 日	293 日
走行距離	91,480 km	89,402 km	98,093 km
車両1台あたりの 1日平均利用件数	3.0 件	2.9 件	3.2 件

安心して子育てができるよう、育児の援助を行いたい人（協力会員）と、その援助を受けたい人（利用会員）が会員となり、会員同士による育児の援助活動の支援を行いました。新たな試みとして、毎月15日に協力会員・両方会員に「ぞうさんメール」を配信し、研修会の案内や緊急性のある援助依頼等の情報を発信しました。

結果、会員からの反応は良く、研修参加者の増加や迅速に援助のコーディネートができました。また、会員の声を受けて報酬支払いの方法に電子マネーを導入しました。

(1) 会員登録数

区 分		R3	R4	R5
利用会員	登 録 数	2,079名	2,198名	2,279名
	年度中入会数	218名	297名	277名
	年度中退会数	153名	178名	196名
協力会員	登 録 数	333名	329名	351名
	年度中入会数	43名	38名	45名
	年度中退会数	13名	42名	23名
両方会員	登 録 数	122名	139名	147名
	年度中入会数	25名	25名	18名
	年度中退会数	16名	8名	10名

(2) 入会説明会・研修等

種 類	内 容	R3	R4	R5
基礎研修会 [協力会員]	子供の心身発達・応 急処置等	10回	9回	8回
		68名	69名	64名
協力会員フォロー アップ研修会	研修会、幼児安全法 救急講習会	7回 89名	14回 218名	13回 164名
ファミサポ フェスタ	新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止	0回 (中止)	1回 72名	1回 69名
地区別交流会	協力会員の交流	1回	1回	0回
		4名	16名	0名
ヒヤリハット研修	援助活動中に起こりそう な事故等の回避について	1回 13名	1回 14名	1回 23名

(3) 援助活動状況

項 目		R3	R4	R5
事前打ち合わせ件数		188件	264件	286件
援助活動件数		6,914件	7,154件	9,146件
ぞうさんルーム	実施日数	71日	82日	90日

(一時預かり)	延利用者数	140名	208名	240名
	延協力会員数	162名	272名	338名

※ ぞうさんルームは、沼南社会福祉センターで実施しています。

(4) 地区リーダー活動状況

項目	R3	R4	R5
地区リーダー 連絡調整会議	9回 延166名	11回 延180名	6回 延67名
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を13地区に分け、13名のリーダーを配置 ・各地区の活動状況と問題点等について話し合う ・担当地区の活動報告書のとりまとめや事前打ち合わせ票の管理、協力会員募集活動、緊急時の援助活動、全体交流会、地区別交流会の企画準備、連絡調整会議への参加(R5年度より年6回に変更) 		

(5) 普及啓発活動

項目	主な内容
地域福祉の情報紙「紙ひこうき」	[随時] 事業内容周知、会員募集
「広報かしわ」	[随時] 事業内容周知、会員募集
協力会員向けリーフレット作成	[随時] 事業内容周知、会員募集
利用会員向けリーフレット作成	[随時] 事業内容周知、会員募集
ポスターの作成・掲示	市内保育機関、関係施設へ周知と会員募集
会報紙「ぞうさん通信」	[年2回] 会員・関係機関配布

4 車いすの貸出

自主

相談支援課

緊急的かつ一時的に車いすを必要とする方に対し、無料で車いすを貸し出しました。また、車いす使用者は高齢者が多く、主な目的は通院・入退院、日常生活での使用でした。

貸出場所	R3	R4	R5
いきいきプラザ	302件	347件	389件
沼南社会福祉センター	75件	102件	112件
計	377件	449件	501件

VII 相談支援・貸付・援護金

1	福祉相談事業	自 主	相談支援課
----------	---------------	-----	-------

(1) 相談事業

福祉相談窓口として、相談受付や自立支援を実施しました。

相談件数等

項 目	R3	R4	R5
合計相談件数	2,175 件	3,582 件	5,499 件
[手段] 来 所	876 件[40%]	1,312 件[37%]	1,582 件[29%]
電 話	1,228 件[57%]	2,230 件[62%]	3,851 件[70%]
訪 問 等	71 件[3%]	40 件[1%]	66 件[1%]
[状況] 新 規	699 件[32%]	996 件[28%]	1,188 件[22%]
継 続	904 件[42%]	1,121 件[31%]	1,222 件[22%]
再 来	390 件[18%]	764 件[21%]	1,002 件[18%]
調 整 等	182 件[8%]	701 件[20%]	2,087 件[38%]
[内容] 生計問題	1,230 件[57%]	1,942 件[54%]	2,260 件[41%]
(※) 生計以外	945 件[43%]	1,640 件[46%]	3,239 件[59%]

主な相談内容

生計問題	生活費、職業（失業）、教育、住宅、後見等
生計問題以外	家族、障害・高齢者福祉、母子父子・児童福祉・法律等

(2) 心配ごと相談

心配ごと相談員（14名委嘱）を配置し、いきいきプラザは毎週水曜日、沼南社会福祉センターは毎週木曜日に心配ごと相談所を開設しました。またケース会議や研修会を開催し、相談技術の向上に努めました。

① 相談件数（開設日数／相談件数）

実施場所	R3	R4	R5
いきいきプラザ	48 日／50 件	50 日／57 件	49 日／ 66 件
沼南社会福祉センター	49 日／28 件	47 日／29 件	50 日／ 47 件
計	97 日／78 件	97 日／86 件	99 日／113 件

② 相談内容

内 容	R3	R4	R5
1 生 計	6 件	6 件	15 件
2 年 金	0 件	0 件	2 件
3 職 業・生 業	1 件	3 件	2 件

4 住 宅	2 件	4 件	10 件
5 家 族	21 件	23 件	22 件
6 結 婚	0 件	0 件	0 件
7 離 婚	5 件	1 件	0 件
8 健康・保健	3 件	4 件	5 件
9 医 療	8 件	9 件	5 件
10 人権・法律	2 件	2 件	2 件
11 財 産	3 件	3 件	2 件
12 事 故	0 件	0 件	3 件
13 児童・母子保健	0 件	0 件	0 件
14 教育・青少年	0 件	0 件	2 件
15 障 害 福 祉	1 件	0 件	2 件
16 母子・父子福祉	0 件	0 件	0 件
17 高齢者福祉	1 件	4 件	5 件
18 苦 情	5 件	3 件	5 件
19 そ の 他	28 件	32 件	57 件
計	86 件	94 件	139 件
[終了/継続/紹介]	[64 件/ 8 件/14 件]	[59 件/11 件/24 件]	[67 件/24 件/48 件]

※1 件で複数の相談項目が重複することがあるため①相談件数と一致しない

③ ケース会議、研修会等

2 か月に 1 回、対応に苦慮したケースなどについて、相談員同士で意見交換や研修を実施しました。

回数	主な内容	延べ参加者数
6 回 (奇数月)	【事例発表】 ・想像のつかない相談ごとへの対応について ・兄弟関係と親との関わり方について等 【研修】 ・法テラスの業務説明 ・心配ごと相談の事例から老いじたくあんしんねっとでの支援について	71 名

2 福祉資金貸付事業

自 主

相談支援課

低所得世帯で、他の施策による援助が困難な方へ貸付を実施しました。

また、滞納者に対する定期的な督促を実施するとともに、生活再建に係る相談支援を実施しました。

(1) 貸付の状況（決定額）

種 類	R3	R4	R5
一般貸付	669 件 11,104,682 円	805 件 13,751,040 円	837 件 13,664,180 円
特別貸付	5 件 345,000 円	17 件 1,424,450 円	11 件 893,000 円
交通費貸付	15 件 4,800 円	5 件 1,600 円	9 件 2,880 円
計	689 件 11,454,482 円	827 件 15,177,090 円	857 件 14,560,060 円

(2) 債権管理（貸付・据置・償還中件数）

621 件 [内 一般貸付 568 件、特別貸付 23 件、交通費 30 件]

3 生活福祉資金貸付事業

県社協委託

相談支援課

(1) 生活福祉資金及び臨時特例つなぎ資金

種 類	R3	R4	R5
総合支援資金	0 件 0 円	1 件 390,000 円	1 件 600,000 円
福祉資金	0 件 0 円	福祉費 1 件 73,900 円 生業費 1 件 750,000 円 技能習得費 1 件 760,800 円	転宅費 2 件 512,000 円 療養費 1 件 954,900 円 福祉費 1 件 64,700 円
教育支援資金	35 件 43,311,900 円	35 件 47,958,600 円	29 件 35,266,400 円
緊急小口資金（通常）	38 件 3,625,500 円	63 件 6,109,000 円	46 件 3,804,700 円
臨時特例つなぎ資金	0 件 0 円	0 件 0 円	0 件 0 円
計	73 件 46,937,400 円	102 件 56,042,300 円	80 件 41,202,700 円

(2) 不動産担保型生活資金

世帯主及び配偶者が65歳以上の世帯に対して、居住用不動産を担保とする生活資金の貸付を行いました。

項目	R3	R4	R5
事前鑑定	2件	0件	0件
貸付件数	0件	1件	0件
貸付限度額	0円	9,590,000円	0円

※令和4年度貸付1件は、令和3年度に事前鑑定をしています。

(3) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金

世帯主及び配偶者が65歳以上の生活保護を受給する世帯に対して、居住用不動産を担保とする生活資金の貸付を行いました。

項目	R3	R4	R5
事前鑑定	8件	1件	2件
貸付件数	0件	1件	0件
貸付限度額	0円	14,483,000円	0円

(4) 緊急小口資金・総合支援資金（特例貸付）

① 貸付の状況（決定額）

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収入が減少した世帯を対象に、生活資金の貸付を行いました。なお、新規借入の申込受けは、令和4年9月30日で終了しました。

項目	R3	R4	R5
緊急小口資金 (特例)	878件 169,840,000円	87件 16,750,000円	— —
総合支援資金 (特例)	794件 377,360,000円	57件 24,660,000円	— —
総合支援資金 (特例) 延長	233件 119,890,000円	— —	— —
総合支援資金 (特例) 再貸付	1,154件 581,140,000円	— —	— —
計	3,059件 1,248,230,000円	144件 41,410,000円	— —

② 償還免除等の状況

特例貸付利用後も生活に困窮し、償還が困難な世帯を対象に、電話、訪問、来所によるフォローアップ支援を行いました。また、償還の免除及び猶予等の相談、申請を受け付けました。

項目	R3	R4	R5
緊急小口資金 (特例)	—	償還猶予 36 件	償還猶予 23 件
	—	償還免除 803 件	償還免除 180 件
	—	156,120,060 円	30,632,925 円
総合支援資金 (特例)	—	償還猶予 34 件	償還猶予 21 件
	—	償還免除 710 件	償還免除 152 件
	—	366,425,000 円	73,107,370 円
総合支援資金 (特例) 延長	—	—	償還猶予 6 件
	—	—	償還免除 318 件
	—	—	168,675,000 円
総合支援資金 (特例) 再貸付	—	—	償還猶予 0 件
	—	—	償還免除 19 件
	—	—	9,210,000 円
計	—	償還猶予 70 件	償還猶予 50 件
	—	償還免除 1,513 件	償還免除 669 件
	—	522,545,060 円	281,625,295 円

(5) 債権管理（貸付・据置・償還中件数）

6,876 件 [内 福祉資金 19 件、教育支援資金 275 件、生活復興支援資金 1 件、総合支援資金(通常)129 件、離職者支援資金 2 件、緊急小口資金(通常)168 件、不動産担保型生活資金 4 件、要保護世帯向け不動産担保型生活支援資金 13 件、緊急小口資金(特例)2,186 件、総合支援資金(特例)初回 1,748 件、総合支援資金(特例)延長 949 件、総合支援資金(特例)再貸付 1,382 件]

4 交通遺児援護金等支給

自主・事務協力

相談支援課

交通事故により、父または母を失った 18 歳未満の遺児のいる世帯に対し、援護金等を支給しました。

(1) 交通遺児援護金・高等学校入学支度金支給【自主】

種 類	R3	R4	R5
援 護 金 [1 名 40,000 円]	6 世帯 10 名 400,000 円	7 世帯 11 名 440,000 円	7 世帯 9 名 360,000 円
支 度 金 [1 名 50,000 円]	1 世帯 1 名 50,000 円	2 世帯 2 名 100,000 円	1 世帯 1 名 50,000 円
計	7 世帯 11 名 450,000 円	9 世帯 13 名 540,000 円	8 世帯 10 名 410,000 円

(2) 交通遺児援護金勉学奨励金・激励金・見舞金・受験費用助成金【県社協事務協力】

種 類	R3	R4	R5
勉学奨励金 [1名30,000円]	0世帯 0名 0円	3世帯 3名 90,000円	0世帯 0名 0円
激 励 金 [1名60,000円]	6世帯 6名 360,000円	5世帯 5名 300,000円	2世帯 2名 120,000円
見 舞 金 [1名100,000円] 2人目からは50,000円	0世帯 0名 0円	1世帯 1名 100,000円	0世帯 0名 0円
受験費用助成金	1世帯 1名 35,000円	4世帯 4名 146,400円	2世帯 2名 92,200円
計	7世帯 7名 395,000円	13世帯 13名 636,400円	4世帯 4名 212,200円

※受験生1名あたりの助成額上限[高校等受験：50,000円、大学等受験：100,000円]

5 緊急援護事業

自 主

総務課・相談支援課

(1) 援護金・食糧品等の支給

やむを得ない事情により緊急援護的な支援が必要な世帯に対して、援護金、食糧(米、缶詰、レトルトカレー、カップ麺等)、物品を支給しました。

種 類	R3	R4	R5
援護金	3世帯 205,000円	2世帯 25,000円	3世帯 238,000円
食糧	34世帯	30世帯	34世帯
物品	0世帯	2世帯	0世帯
計	37世帯 205,000円	34世帯 25,000円	37世帯 238,000円

(2) ランドセルの配付

小学校入学に伴いランドセル準備が難しい生活困窮世帯へ右記の機関を通じて配付しました。

配 付 先	R3	R4	R5
柏市こども福祉課	10個	7個	8個
柏市生活支援課	13個	7個	7個
民生委員・スクールソーシャルワーカー	—	3個	3個

(3) 学用品（体操服）の配付

スクールソーシャルワーカー（SSW）等の相談支援機関と連携して、経済的課題等の生活課題を抱える世帯の児童・生徒へ体操服を配付しました。

① 支援機関（SSW、市役所等）を通して配付

配付先	配付物	R3	R4	R5
小学生	体操服	-	-	27 着
	ハーフパンツ	-	-	27 着
中学生	体操服	-	-	25 着
	ハーフパンツ	-	-	26 着
計	体操服	-	-	52 着
	ハーフパンツ	-	-	53 着

② 市内小・中学校へ配付（学校での活用や必要な児童・生徒への配付）

配付先	配付物	R3	R4	R5
小学校	体操服	-	-	76 着
	ハーフパンツ	-	-	65 着
中学校	体操服	-	-	20 着
	ハーフパンツ	-	-	20 着
計	体操服	-	-	96 着
	ハーフパンツ	-	-	85 着

※R5年度は、配付を希望する小学校 18 校/中学校 4 校に配付しました

6 若者自立支援活動団体の支援

自

主

相談支援課

若者の自立を支援する団体との連携とその活動の支援を目的として、若者自立支援サポーター連絡会を開催しました。

(1) 若者自立支援サポーター連絡会

期 日	主な内容	出席者
R6. 3. 25	各団体による活動報告やメタバースの活用による若者支援の体験と意見交換	3 団体 7 名

(2) 団体助成金

若者の居場所活動助成金	R3	R4	R5
助 成 金 総 額	166,007 円	100,000 円	0 円
団 体 数	2 団体	1 団体	0 団体

孤立しがちな高齢者等を対象に、電話声かけボランティアによる声かけを実施しました。

(1) 電話声かけボランティア養成講座・ボランティア交流会

項目	R3	R4	R5
養成講座	11回 16名	9回 21名	8回 19名
交流会	6回 65名	7回 75名	12回 102名

※養成講座実施回数：個人及び集団向けの合計。交流会実施回数：各拠点及び全体の合計。

(2) 利用者数

実施場所	R3	R4	R5
風早北部地域	7名	6名	8名
松葉地域	6名	7名	5名
風早南部地域	7名	7名	10名
光ヶ丘地域	10名	10名	9名
豊四季台地域	1名	2名	2名
富勢地域	6名	9名	5名
田中地域	7名	6名	4名
南部地域	15名	22名	19名
新富地域	2名	2名	4名
増尾地域	—	2名	3名
新田原地域	—	—	1名
計	61名	73名	70名

(3) 電話声かけボランティア登録数

実施場所	R3	R4	R5
風早北部地域	10名	8名	8名
松葉地域	11名	9名	9名
風早南部地域	11名	10名	10名
光ヶ丘地域	11名	10名	18名
豊四季台地域	9名	8名	9名
富勢地域	7名	10名	10名
田中地域	9名	8名	8名
南部地域	9名	9名	17名
新富地域	4名	3名	4名
増尾地域	—	8名	9名
新田原地域	—	—	4名
計	81名	83名	106名

※複数拠点で重複して登録している4名を含む [実人数：102名]

(4) 活動日数／延電話件数

実施場所	R3	R4	R5
風早北部地域	49 日／ 337 件	50 日／ 370 件	47 日／ 240 件
松 葉 地 域	49 日／ 245 件	50 日／ 310 件	47 日／ 258 件
風早南部地域	48 日／ 287 件	50 日／ 286 件	49 日／ 380 件
光ヶ丘地域	49 日／ 481 件	48 日／ 457 件	48 日／ 425 件
豊四季台地域	50 日／ 86 件	49 日／ 73 件	51 日／ 97 件
富 勢 地 域	49 日／ 284 件	50 日／ 353 件	47 日／ 303 件
田 中 地 域	48 日／ 295 件	50 日／ 283 件	49 日／ 217 件
南 部 地 域	50 日／ 588 件	49 日／ 854 件	75 日／ 989 件
新 富 地 域	25 日／ 49 件	49 日／ 156 件	48 日／ 136 件
増 尾 地 域	—	19 日／ 32 件	50 日／ 106 件
新田原地域	—	—	21 日／ 21 件
計	417 日／2,652 件	464 日／3,174 件	532 日／3,172 件

(5) 安否確認訪問回数

ボランティアによる電話声かけ時に不通だった場合、職員による安否確認のための訪問を実施しました。また、訪問により、早期の医療受診につなげたり、必要に応じた関係機関との連携・調整などを行いました。

実施場所	R3	R4	R5
風早北部地域	1 回	2 回	7 回
松 葉 地 域	0 回	1 回	0 回
風早南部地域	0 回	0 回	0 回
光ヶ丘地域	8 回	0 回	1 回
豊四季台地域	0 回	0 回	1 回
富 勢 地 域	4 回	1 回	1 回
田 中 地 域	4 回	4 回	6 回
南 部 地 域	4 回	7 回	7 回
新 富 地 域	0 回	0 回	0 回
増 尾 地 域	—	0 回	2 回
新田原地域	—	—	0 回
計	21 回	15 回	25 回

(6) その他の取り組み

ボランティアセンターや地域活動ガイダンス等、他担当との連携を図り、新たなお元気コールボランティア活動者の担い手発掘に取り組みました。また南部地域での利用者増加を受け、従来の週1日から週2日へ実施日の追加対応（いきいきセンター閉所日を活用）を行いました。

8

障害者の就労支援

自主

総務課

障害者の就労支援を推進するため、LITALICO（りたりこ）ワークス柏と連携し、職場体験や実習の受入れを実施しました。

項目	R3	R4	R5
日数	14日	23日	9日
実人数	28名	17名	19名
延人数	65名	42名	43名

職場体験・実習内容

さわやかサービス、ファミリーサポートセンターにおける各種情報誌・通知文等の封入

9

ウクライナからの避難者支援事業

市委託

相談支援課

ウクライナから柏市に避難してきた世帯に対し、生活支援金の支給等の支援を実施しました。

項目	R3	R4	R5
支援世帯数	—	5世帯	0世帯
支援金支給総額	—	1,429,860円	0円

VIII 権利擁護・地域包括支援センター

1 成年後見利用促進（中核機関）事業

市委託

相談支援課

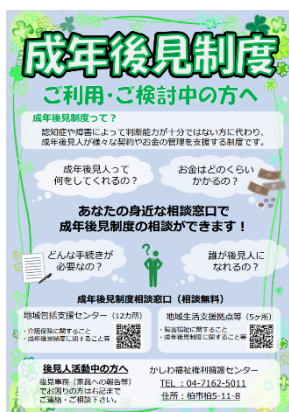
成年後見制度利用促進基本計画に基づき、一次相談機関（地域包括支援センター、地域生活支援拠点）や司法・福祉専門職等と連携して、地域連携ネットワークを構築し、成年後見制度の利用促進を図りました。

(1) 広報・啓発

① チラシ・パンフレット等の配布及び紙・電子媒体による普及啓発

- ・ 柏市社協ホームページに中核機関の情報を掲載。
- ・ 普及啓発チラシがより見やすくなるように紙面を刷新し、下記の機関等に「成年後見制度」（改定後の普及啓発チラシ）を配架。また、第50回住民福祉大会にて配付（290部）。

【配架先】一次相談機関17か所、行政関係・近隣センター等71か所、金融機関36か所、柏市内郵便局32か所、生命保険会社11か所、高齢者・障害者福祉事業所216か所、医師会を通じて医師機関213か所。



旧普及啓発チラシ



新普及啓発チラシ

- ・ モラージュ柏の敬老イベントに参加し、成年後見制度に関する情報の掲示及びチラシの配付。
- ・ 柏市内の生命保険会社に架電し、7店舗を訪問、チラシの配架に併せて生命保険会社での対応状況等の聞き取りを実施。

② 出前講座の実施

一次相談機関等からの依頼により、主に市民を対象とした出前講座を実施しました。

項目	R3	R4	R5
件数等	7件 108名 [内訳] 一次相談機関 7件	27件 686名 [内訳] 一次相談機関 11件 民児協 7件 その他 9件	17件 565名 [内訳] 一次相談機関 7件 その他 10件

③ 各種講座

市民、司法職・福祉職等を対象に、各種講座を実施しました。

【市民向け講座】

期 日	内 容	参加者
R5. 6. 28	成年後見連続講座 (いきいきプラザ 38名 オンライン 38名)	76名
9. 16	成年後見制度基本講座 (モラージュ 柏 午前 33名 午後 30名)	63名
R6. 2. 19	知的障害、精神障害の方のご家族向け成年後見制度講座 (いきいきプラザ 45名)	45名

【専門職向け（福祉職・司法職）講座】

期 日	内 容	参加者
R5. 9. 1	成年後見制度意思決定支援研修 (いきいきプラザ 20名 オンライン 13名)	31名 実習生 2名

※コロナ禍でも参加しやすいよう、会場参集とオンラインのハイブリッドで開催

(2) 相談

① 相談件数

項 目	R3	R4	R5
相談件数	253件 [内訳] 高 齢 172件 知 的 21件 精 神 27件 その他 33件	299件 [内訳] 高 齢 202件 知 的 24件 精 神 45件 その他 28件	325件 [内訳] 高 齢 223件 知 的 21件 精 神 35件 その他 46件

② 相談内訳

内 容	R3	R4	R5
成年後見全般	125件	153件	139件
申 立 て	121件	105件	106件
候 補 者 選 定	11件	16件	9件
そ の 他	54件	67件	104件
合 計	311件	341件	358件

※1人が複数の相談をすることもあり、件数の合計と内訳の合計は一致しません。

③ 成年後見無料相談会

リーガルサポート千葉県支部柏地区との協働により、司法書士による無料相談会を開催しました。

日時／場所	R5. 11. 25／介護予防センターいきいきプラザ
参加者	9組

(3) 利用促進

① 候補者調整会議

候補者の職種選定及びケース検討を行う候補者調整会議を開催しました。

項目	R3	R4	R5
開催数	8回	9回	11回
件数等	職種選定 18件 ケース検討 2件	職種選定 22件 ケース検討 1件	職種選定 36件 ケース検討 0件

② 一次相談機関連携会議

一次相談機関職員の相談対応やアセスメント技術向上を目的に、研修及び意見交換等を行いました。

期 日	内 容	参加者
R5. 5. 19	市長申立ての流れとポイント、相談票の記入について	24名
10. 5	成年後見制度を知ろう（ばあとなあ千葉との意見交換会）	30名
10. 18	相続・遺言・家族信託セミナー	16名
R6. 3. 5	相談票の記入や中核機関への要望等についての意見交換会	20名

③ 地域ケア会議等の出席

一次相談機関等から依頼を受け、地域ケア会議等に参加し成年後見制度に関する助言を行いました。

期 日	主 催
R5. 7. 31	柏北部地域包括支援センター 地域ケア個別会議
9. 19	北柏第2地域包括支援センター 担当国会議
10. 6	認知症初期集中支援チーム チーム員会議
10. 10	地域生活相談センターシャル・北柏第2地域包括支援センター 支援担当国会議
R6. 2. 20	柏西口第2地域包括支援センター 地域ケア個別会議
3. 11	柏北部地域包括支援センター 地域ケア推進圏域会議

④ 東葛地区中核機関意見交換会

中核機関の連携を目的に、東葛地区の中核機関と意見交換会を開催しました。

期 日	内 容	参加者
R6. 2. 2	【参加】 市川市、浦安市、流山市、船橋市、松戸市、柏市 【内容】 前半は「広報啓発」や「利用促進」などのテーマに沿って、後半は自由に意見交換を行いました。	17名

(4) 後見人等支援

① 市内の後見人からの相談対応等

項目	R3	R4	R5
件数等	モニタリング 0件 後見人支援 3件	引き継ぎ会議 3件 後見人支援 3件	引き継ぎ会議 23件 後見人支援 9件 チーム支援 1件

※ 引き継ぎ会議は、市長申立て案件で後見人等が決定した後、市担当課を中心に後見人等への事務や関係者からの支援の引き継ぎを行うための会議。

② 後見人・当事者家族・福祉関係者の意見交換会

期日	内容	参加者
R6. 1. 22	柏市手をつなぐ育成会と後見人の意見交換会	32名

③ チラシによる普及啓発

千葉家庭裁判所松戸支部を通じて居所が柏市の親族による成年後見人、保佐人、補助人と成年被後見人、被保佐人、被補助人に対して、チラシの配付を開始しました。

期日	内容
R6. 2. 1	千葉家庭裁判松戸支部へチラシを 200 部送付
2. 5	千葉家庭裁判松戸支部から審判書を送付する際のチラシの同封、及び窓口へのチラシの設置が開始

(5) 協議会運営

柏市権利擁護ネットワーク会議成年後見制度に関する専門部会を開催しました。

期日	内容
R5. 7. 28	【報告】令和4年度中核機関事業報告について 令和5年度中核機関事業計画について 【議題】金融機関以外の効果的な広報啓発について 一次相談機関の周知と連携について
11. 24	【報告】令和5年度上半期中核機関事業報告について 次期柏市市民後見人養成研修について 【議題】令和6年度中核機関事業内容（案）について 相談事例に関する意見交換について

(6) その他

① 重層的支援会議の出席

期日	日程	内容
R5. 6. 26	・第1回かしまる中会議 (中央地区)	・令和4年度重層的支援体制整備事業取り組み説明、事例紹介、意見交換
7. 4	・第1回かしまる中会議 (北部地区)	・令和4年度重層的支援体制整備事業取り組み説明、事例紹介、意見交換
10. 6	・かしまる大会議	・令和4年度重層的支援体制整備事業取り組み説明、グループワーク
R6. 1. 30	・第2回かしまる中会議 (北部地区)	・大会議、小会議の報告、意見交換

② 地域包括支援課・障害福祉課連絡調整会議の開催

開催回数	内 容
7回	地域包括支援課、障害福祉課、社協の三者で、事業の進捗管理、報告、課題、今後の方向性等について情報共有及び意見交換等を実施

2 成年後見事業

自主・市補助

相談支援課

本会が法人として受任して行う法人後見事務及び高齢者等の意思決定支援の啓発事業を実施しました。

(1) かしわ福祉権利擁護センター運営委員会

期 日	内 容
R5. 7. 26	令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画、組織体制について 市民後見人名簿登録者面談結果について 障害者版わたしの望みノート作成について
11. 1	令和5年度上半期事業報告について 令和6年度事業計画について（案） わたしの望みノートの取り組みについて 令和6年度運営委員会の機能、構成メンバーの見直しについて

(2) 法人後見業務

① 受任調整会議

項 目	R3	R4	R5
開催回数	1回	2回	1回
審査件数	1件	2件	1件

② 後見人受任件数

項 目	R3	R4	R5
受任件数	15件	16件	14件
新規件数	4件	6件	8件
	[内訳]	[内訳]	[内訳]
	高齢者 4件	高齢者 5件	高齢者 7件
	障害者 0件	障害者 1件	障害者 1件
終了件数	3件	5件	10件

※終了件数は、被後見人の死亡又は後見人辞任（市民後見人へ引き継ぎ）によるものです。

(3) 後見支援員に対する取り組み

① 後見支援員活動

後見支援員46名のうち18名が法人後見業務の事務執行者として、延べ168回の被後見人居所訪問や各種手続き等の後見業務を実施しました。また、終活応援ルーム「望」の相談員として27名が延べ70回活動しました。

※終活応援ルーム「望」の取り組みについては、70頁(6)に記載。

② 後見支援員登録者研修

期 日	内 容	参加者
R5. 5. 25	令和 5 年度の職員紹介 交流会 事務連絡（終活応援ルーム望の開所手順、相談事例等）	33 名
R6. 2. 13	わたしの望みノートについて 令和 6 年度の意向確認について 事務連絡（終活応援ルーム「望」のシフト等）	29 名

(4) 後見監督人業務

① 監督件数

項 目	R3	R4	R5
受任件数	5 件	6 件	9 件
新規件数	1 件 [内訳] 法人から 0 件 市長申立 1 件	3 件 [内訳] 法人から 2 件 市長申立 1 件	3 件 [内訳] 法人から 3 件 市長申立 0 件
終了件数	2 件	2 件	0 件

※内訳の「法人から」は、本会が法人後見人を辞任した後に市民後見人へ引き継いだもの

② 定期面接実施回数（市民後見人定期報告）

9 名延 83 回

(5) 意思決定支援事業「わたしの望みノート」

① 「わたしの望みノート」の改訂

「わたしの望みノート」をより活用しやすくするため、自分の思いや希望を記入する記入編と、わたしの望みノートを書く上で必要となる様々な情報を掲載している資料編の 2 冊に改訂しました。普及啓発や本編導入を目的とした体験版を配布しました。



[記入編 2,000 部、資料編 2,000 部 増刷]

② わたしの望みノート普及啓発講座

わたしの望みノートや終活応援ルーム「望」の普及啓発を目的に講座を開催しました。

期 日	内 容	参加者
R5. 6. 8	終活応援ルーム「望」とわたしの望みノートについて 【講師】民生委員（後見支援員）、いきいきセンター職員	8 名
11. 20	わたしの望みノートの普及啓発講座 【講師】後見支援員	11 名

③ 出前講座

ふれあいサロンや一般市民を対象に、「わたしの望みノート」の記入体験を通し、ノート活用のポイントや介護・医療・相続等について考える出前講座を実施しました。

(ア)単独開催

期 日	内 容	参加者
R5. 4. 5	豊四季台地区社会福祉協議会ゆずり葉サロン	6名
5. 19	風早南部地区社会福祉協議会ふれあいサロン	12名
5. 23	一般社団法人実践倫理宏正会(トークサロンアジュール)	30名
7. 12	風早南部地区社会福祉協議会ふれあいサロンしいの木台	22名
10. 14	ライオンズステージ常磐平交流カフェ	23名
10. 19	松葉町地区社会福祉協議会高齢者部会おしゃべりサロン	19名
10. 25	光ヶ丘地域包括支援センター	13名
11. 10	北部地域包括支援センター	24名
11. 24	振り返り(2日目)	
R6. 1. 29	南部地域包括支援センター	18名
3. 14	野沢町会 喫茶サロン	24名

(イ)共同開催

期 日	内 容	参加者
4. 18	コスモス成年後見サポートセンター、柏法務局、柏市社会福祉協議会による合同講座 「終活応援！わたしの望みノートと自筆証書遺言書保管制度について」	20名
8. 24	コスモス成年後見サポートセンター、柏法務局、柏市社会福祉協議会による合同講座 「終活応援！わたしの望みノートと自筆証書遺言書保管制度について」	20名
9. 12	コスモス成年後見サポートセンター、柏法務局、柏市社会福祉協議会による合同講座 「終活応援！わたしの望みノートと自筆証書遺言書保管制度について」	4名
10. 11	コスモス成年後見サポートセンター、柏法務局、柏市社会福祉協議会による合同講座 「終活応援！わたしの望みノートと自筆証書遺言書保管制度について」	2名

(6) 終活応援ルーム「望」の実施

成年後見制度及びわたしの望みノートの普及啓発と利用促進を目的に、終活応援ルーム「望」を南部地域いきいきセンター(毎月第1・第2木曜日)及び豊四季台地域活動館(毎月第3金曜日)で実施しました。

項 目	R3	R4	R5
開催回数	35回	33回 [内訳] 南部 21回 豊四季台 12回	35回 [内訳] 南部 23回 豊四季台 12回
相談件数	13件	30件 [内訳] 南部 8件 豊四季台 22件	25件 [内訳] 南部 6件 豊四季台 19件

(1) 市民後見人養成研修の実施

① 市民後見人養成講座（座学）

親族や専門職後見人の不足が予測される中で、新たな担い手としての市民後見人を養成する講座を全12回にわたり開催しました。

期間/回数	令和5年7月6日～令和6年3月15日 全12回（修了式含む）
内 容	市民後見概要、成年後見概論、対象者の理解、対人援助の基礎、成年後見制度と市町村責任、関係制度・法律、地域福祉・権利擁護の理念、成年後見の実務、後見人活動の実際、専門職の理解、家庭裁判所の役割、地域包括支援センターの役割、民法の基礎、市民後見人の心構え、振り返り
受講者数	11名（うち1名は途中で辞退）

② 現任訓練

市民後見人養成研修受講者（後見支援補助員）が2人1組となり、職員とともに成年被後見人等を担当し、月1回程度の同行訪問や後見事務等を実施しながら市民後見人として必要な実務経験を重ねました。

補助員数	延活動回数	活動内容
10名	57回	本人居所訪問、銀行手続き（預貯金の引出しや利用料支払い）、各種行政手続き（福祉手当等）、事務報告書の作成等（演習）

(2) フォローアップ研修の実施

① 市民後見人候補者名簿登録者フォローアップ研修

市民後見人候補者名簿登録者を対象に、必要な知識等の学習機会及び交流の場の提供を目的に実施しました。

[市民後見人候補者名簿登録者数：45名]

期 日	内 容	参加者
R5. 8. 30	認知症サポーター養成講座 【講師】 柏東口地域包括支援センター	27名
12. 20	成年後見人として知っておくべき死亡時の流れ 【講師】 株式会社 柏斎苑	32名

② 市民後見人交流会の実施

市民後見人活動経験者や活動予定者のスキルアップ及び交流の場の提供を目的に実施しました。[市民後見人単独受任経験者・希望者16名]

期 日	内 容	参加者
R5. 9. 27	成年被後見人等の緊急時・死亡時の対応について 市民後見人の保険について	13名
R6. 1. 25	他の市民後見人への質疑応答	12名

(3) 市民対象の普及啓発研修の開催

一般市民を対象に、成年後見制度や関連制度及び市民後見人活動の普及啓発を目的とする研修会を開催しました。

期 日	内 容	参加者
R5. 10. 12	成年後見人と市民後見人の活動を学ぼう	10名

	【講師】公益社団法人コスモス成年後見サポートセンター 市民後見人	
R6. 3. 6	映画で学ぼう！認知症と市民後見人活動 【映画上映】ぼけますから、よろしくお願ひします。	28名

(4) 市民後見人候補者名簿登録者との面談の実施

市民後見人養成研修やフォローアップ研修の充実と不安なく市民後見人として活動して頂くために、面談を行いました。

日 程	令和5年4月17日～6月16日
対象者	34名
面談者	柏市地域包括支援課、柏市障害福祉課、柏市社会福祉協議会
質問内容	養成研修やフォローアップ研修の内容について 養成研修修了後の主な活動について 市民後見人活動に関する意見（柏市や社協への要望等）
面談結果	受任への責任、死後事務の不安などの意見が聞かれました。 また、面談者のうち12名が受任に積極的でした。

(5) 他市への講師派遣

柏市の市民後見人推進受託事業について他市の機関へ講師の派遣を行いました。

期 日	依頼者	内 容	参加者
R5. 9. 14	市川市社会福祉協議会 市民後見人・法人後見支援員 定期研修会	本会職員による柏市の取り組みと市民後見人による実践報告 市民後見人同行	14名
9. 20	NPO法人 成年後見センターしぐなるあいず 市民後見協力員 意見交換会	本会職員による柏市の取り組み報告	21名

4 福祉サービス利用援助事業

県社協委託・市補助

相談支援課

判断能力が十分でないために適切なサービスの提供を受けられない方に対し、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、財産管理、財産保全サービスを実施しました。

(1) 相談件数

項 目		R3	R4	R5
合計相談件数		151件	144件	121件
相 談 者	本 人 ・ 親 族	15件	13件	17件
	介 護 支 援 専 門 員	35件	32件	22件
	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	34件	46件	26件
	福 祉 事 務 所	30件	30件	23件
	そ の 他	37件	23件	33件

対 象 者	高 齢 者	106 件	102 件	67 件
	知 的 障 害 者	3 件	8 件	3 件
	精 神 障 害 者	22 件	21 件	20 件
	そ の 他	20 件	13 件	31 件

※相談者のその他は、上記以外の機関（医療・民生委員等）または相談者不明等を含む

※エリア別件数 [北部:32 件 中央:36 件 南部:33 件 東部:6 件 その他:14 件]

(2) 訪問調査件数

件数等	R3	R4	R5
実 件 数	156 件	158 件	172 件
延 訪 問 調 査 回 数	265 回	236 回	260 回

(3) 契約件数

件数	R3	R4	R5
新 規 契 約 件 数	36 件	19 件	17 件
解 約 件 数	28 件	29 件	20 件
年 度 末 契 約 件 数	118 件	108 件	105 件

※解約理由 [後見人等就任：6 件 自己管理：5 件 転居・転院：6 件 死亡：2 件
家族管理：1 件]

(4) 支援回数

回数	R3	R4	R5
支 援 回 数	1,597 回	1,506 回	1,443 回
内 専 門 員 支 援	884 回	879 回	815 回
内 生 活 支 援 員 支 援	713 回	627 回	628 回

(5) 生活支援員

① 登録者および現任者数

項目	R3	R4	R5
登録者数（全体者）	38 名	36 名	41 名
現任者数（活動者）	25 名	24 名	26 名

② 研修

生活支援員の資質向上を目的に開催しました。

期 日	内 容	参加者
R5.7.7	内容：生活支援員交流会「精神障害者の支援について」 講師：精神障害者を担当中の生活支援員（3名） 対象：全生活支援員	19 名
11.22	内容：生活支援拠点たんぼぼセンター施設紹介及び当事者との交流 講師：たんぼぼセンター職員および当事者（2名） 対象：全生活支援員	19 名
R6.1.24	内容：生活保護制度について 講師：柏市福祉部生活支援課	14 名

	対象：登録から3年程度の生活支援員 登録のみのかた（現時点で活動のない生活支援員） 今年度現任復帰した生活支援員	
2.26	内容：精神障害を抱える方とのコミュニケーション 講師：ボランティア団体 ハートシップ 対象：全生活支援員	19名

(6) 千葉県運営適正化委員会による福祉サービス利用援助事業現地調査

社会福祉法第84条及び千葉県運営適正化委員会が定める「福祉サービス利用援助事業に関する運営監視事業実施要綱」に基づき、令和5年10月16日に現地調査を実施。調査結果は、概ね適正であるとの評価を受けました。

5	沼南地域包括支援センター	市委託	相談支援課
----------	---------------------	-----	-------

沼南圏域を担当し、高齢者の総合相談・権利擁護、介護予防プラン作成、地域の介護予防活動支援、介護支援専門員の支援を実施しました。また、認知症の方や介護者への支援として認知症カフェの開催や家族会への支援、地域包括ケアシステムの構築に向けたネットワークづくり等を行いました。

(1) 普及啓発

センターの周知や相談対応時の連携、権利擁護業務の理解を得るため、地区社協や民生児童委員等の集まりへの参加や前年度に訪問した郵便局や銀行、商店等に再訪を行いました。

(2) 総合相談

① 沼南地域包括支援センター（沼南社会福祉センター内）

項目	R3	R4	R5
介護予防等の相談支援、一般介護予防事業、フレイル予防など	5件	14件	13件
介護予防ケアマネジメント、総合事業	129件	104件	154件
権利擁護[虐待・成年後見等]	71件	61件	84件
包括的・継続的ケアマネジメント	98件	89件	169件
認知症に関する相談	80件	130件	151件
介護保険、福祉制度・サービス	561件	648件	741件
在宅医療・介護連携推進	12件	13件	22件

生活体制整備	5件	7件	16件
その他	140件	179件	160件
介護者の離職防止に関する相談	1件	0件	0件
計	1,102件	1,245件	1,510件

② 高柳相談窓口（ヤオコー柏高柳駅前店3階）

項目	R3	R4	R5
介護予防等の相談支援、一般介護予防事業、フレイル予防など	8件	1件	5件
介護予防ケアマネジメント、総合事業	46件	41件	59件
権利擁護[虐待・成年後見等]	25件	20件	26件
包括的・継続的ケアマネジメント	11件	15件	21件
認知症に関する相談	44件	71件	86件
介護保険、福祉制度・サービス	292件	333件	384件
在宅医療・介護連携推進	7件	8件	12件
生活体制整備	8件	6件	15件
その他	85件	101件	94件
介護者の離職防止に関する相談	0件	0件	0件
計	526件	596件	702件

(3) 権利擁護業務

成年後見制度、消費者被害及び高齢者虐待に関する相談へ対応しました。また、権利擁護の普及啓発のため、中核機関と連携した成年後見制度の講座開催、高齢者虐待について地域住民や商店等へ説明を行いました。

項目	R3	R4	R5
高齢者虐待への対応	8件	2件	3件
措置による老人福祉施設入所調整	1件	0件	0件
成年後見制度市長申立相談支援	1件	3件	1件
計	10件	5件	4件

(4) 地域ケア会議

沼南圏域の関係機関を招集し、地域包括ケアシステム構築に向け、個別ケースについてテーマを絞って生活課題の解決、地域の現状把握等を検討しました。

項目	R3	R4	R5
開催数	3回	3回	3回
主な内容			
R5. 11. 9	[テーマ] 前頭側頭型認知症の高齢知的障害者の支援について		
11. 9	[テーマ] 精神疾患の娘が要介護の両親を支える支援について		
12. 20	[テーマ] 生活困窮している軽度認知症高齢者の支援について		

(5) 沼南地域ケア推進会議

沼南圏域の関係機関を招集し、地域ケア会議を通して見えてきた地域課題を報告し、地域課題の解決のために関係機関が包括と連携してできること、施策として提案すべきことを検討しました。

項目	R3	R4	R5
開催数	1回	1回	1回
主な内容			
R6. 3. 1	[テーマ] 複合的課題における総合的な相談支援体制の構築		

(6) 包括ケア地区別研修

介護支援専門員に向け、支援方法や社会資源に関する学習・研修を実施しました。

項目	R3	R4	R5
開催数	2回	2回	2回
主な内容			
R5. 11. 30	[テーマ] BCP とケアマネジメント ①		
12. 22	[テーマ] BCP とケアマネジメント ②		

(7) 事例検討会

介護支援専門員の個別事例に対して、地域の主任介護支援専門員や理学療法士、管理栄養士からの助言による、実践力の強化を行いました。

項目	R3	R4	R5
開催数	1回	5回	5回
延参加者数	20名	43名	43名
主な内容			
R5. 6. 12	[テーマ] 必要な介護サービスが介護者の金銭的価値観の相違から導入できず状況が悪化する世帯への介入方法について		
8. 21	[テーマ] 常に介護者が同席しているため、本人の「意思」が確認できない利用者に対する支援方法について		
10. 16	[テーマ] 日中独居になる本人の安否確認方法と栄養管理の支援方法について		

12. 11	[テーマ] 精神的疾病を抱え、配偶者に急逝され独居となった高齢者への支援について
R6. 2. 13	[テーマ] 褥瘡悪化の予防や転倒予防し、住み慣れた自宅で夫婦二人が生活を続けていくための支援について

(8) 介護予防普及啓発事業

介護予防の必要性について理解が得られるよう講座等を実施しました。

項目	R3	R4	R5
開催数	9回	11回	11回
延参加者数	148名	142名	191名

主な内容

フレイルチェック講座、運動講座、「フレイルについて知ろう」キャンペーン

(9) 介護予防等における地域活動組織への支援、出前講座

サロン等の地域活動組織に訪問してフレイル予防の出前講座等を行い、介護予防への取り組みを支援しました。

項目	R3	R4	R5
実施回数	27回	54回	46回
延参加者数	549名	1,177名	778名

主な内容

フレイル予防、権利擁護（消費者被害等）、包括業務紹介等

(10) 認知症に関する相談

認知症相談会の開催と「認知症家族の会～沼南ひまわりの会」の相談支援を行いました。感染症対策の下実施し、認知症カフェと一部同時開催で行いました。

項目	R3	R4	R5
実施回数	9回	11回	13回
参加人数	60名	73名	109名

(11) 認知症カフェ

認知症カフェは、認知症の人とその家族が気軽に立ち寄り、地域の人たちとのつながりを作るきっかけができる場所として開催しています。今年度、住民より要望のあった「クルトコ」「茶論」でも新たに実施しました。

項目	R3	R4	R5
実施回数	9回	11回	17回
参加人数	60名	73名	112名

(12) オレンジフレンズ交流会

オレンジフレンズ（認知症サポーター講座を受講後、協力者として登録してくれた方）に向け、活動の主旨の理解と活動へとつながるよう情報提供を行いました。

項 目	R3	R4	R5
実施回数	1 回	2 回	1 回
参加人数	26 名	51 名	26 名

(13) 認知症サポーター養成講座

認知症の正しい理解のための普及啓発活動を行いました。

項 目	R3	R4	R5
実施回数	29 回	28 回	24 回
延参加者数	751 名	694 名	687 名

※アリオ柏、沼南高柳高校、沼南高校、高柳小、高柳西小学校、高柳中、いこい荘、社会福祉士実習生、手賀民生福祉部会、柏市社協等で実施

(14) 徘徊模擬訓練

市民、関係者に対して認知症の理解を深め、認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう実施しました。

項 目	R3	R4	R5
実施回数	1 回	—	—
延参加者数	16 名	—	—

※令和3年度は大津ヶ丘3—1町内会で実施。令和4年度より仕様書対象外のため計画なし。

(15) 指定介護予防支援事業

要支援1・2、事業対象者のケアプラン作成を行いました。

件 数	R3	R4	R5
要支援ケアプラン作成請求件数	1,640 件	1,927 件	2,111 件
要支援ケアプラン作成委託件数	2,590 件	2,520 件	2,373 件

※ 介護予防ケアマネジメントを含む

(16) 「お元気応援マップ」の改訂

既存のマップの配布・配架に加え、令和6年度発行予定のマップの大幅改訂作業を行いました。改訂後のマップは、地図を刷新し、写真を多く盛り込むなど、サロン情報をよりわかりやすく掲載しています。また、新たに、住み慣れた地域で暮らし続ける際のお役立ち情報掲載に向けて、幅広く情報を収集し、集約しました。

(17) 「サロン交流会」の開催

コロナ感染症が落ち着きサロンが再開されたことを機に、認知症について地域で見守っていく体制を再確認するために、沼南圏域の全サロン35団体を対象に交流会を実施し、31団体37名が参加しました。

IX 施設管理

1 沼南社会福祉センター設置経営事業

自主・市補助

総務課

こどもから高齢者、ボランティア等が利用する沼南社会福祉センターの管理運営を行いました。また、施設利用者の利便性を向上するためのフリーWi-Fi の設置や敷地内の環境美化促進のため花壇の整備を障害者就労支援施設に委託しました。

(1) 利用状況

レクリエーション室・調理実習室・会議室等の貸出（有料）を行いました。

項目	R3	R4	R5
レクリエーション室	107 件 909 名	200 件 2,404 名	188 件 2,549 名
調理実習室	14 件 140 名	28 件 296 名	42 件 439 名
ボランティア活動室	273 件 1,819 名	299 件 2,073 名	318 件 2,243 名
会議室	224 件 3,030 名	311 件 4,678 名	367 件 5,181 名
録音室（視聴覚室）	72 件 126 名	89 件 229 名	72 件 184 名
計	690 件 6,024 名	927 件 9,680 名	987 件 10,596 名

2 介護予防センターいきいきプラザ管理運営事業

市委託

総務課

介護予防センターいきいきプラザの管理運営を行いました。

項目	R3	R4	R5
研修室	3,182 名	3,258 名	4,648 名
会議室	919 名	375 名	403 名
デイサービス室	409 名	860 名	793 名
計	4,510 名	4,493 名	5,844 名

3施設の管理・経営を受託。経営方針として、健康づくりと介護予防の支援、いきがいと仲間づくりの支援、高齢者の主体的な活動の支援を掲げ、事業を展開しました。

(1) 指定管理期間

項目	期間
柏 寿 荘	R 5. 4. 1 ~ R 8. 3. 31
南部老人福祉センター	R 3. 4. 1 ~ R 8. 3. 31
沼南老人福祉センター	R 3. 4. 1 ~ R 8. 3. 31

(2) 利用状況

項目	R3	R4	R5
柏 寿 荘	14,078名	16,650名	17,314名
南部老人福祉センター	29,327名	39,725名	42,652名
沼南老人福祉センター	24,570名	27,667名	29,356名
計	67,975名	84,042名	89,322名

(3) 介護予防・世代間交流事業

項目	R3	R4	R5
柏 寿 荘	19事業 2,767名	17事業 3,868名	22事業 4,322名
南部老人福祉センター	15事業 4,206名	16事業 7,073名	19事業 8,276名
沼南老人福祉センター	15事業 5,503名	18事業 5,495名	18事業 5,628名
計	49事業 12,476名	51事業 16,436名	59事業 18,226名

主な講座・事業内容

[柏 寿 荘] フレイルチェック講座、歌謡曲体操、理学療法士健康講座、インナーマッスル講座、スマイル講座（体操）、ラジオ体操、発行食品と健康講座、認知症サポーター養成講座、きれいになってフレイル予防、ICT推進講座、避難所開設訓練、防災訓練、防災救急訓練、交通安全教室、陶芸入門講座、親子陶芸教室、夏休みボランティア体験、認知症を考える講座、健康相談、栄養相談、毎日体操、柏寿荘まつり、（包括）総合相談

[南 部] フレイルチェック講座、歌謡曲体操、理学療法士健康講座、ボッチャ健康講座、ロコモ体操講座、ICT推進講座、楽しい折り紙

講座、源氏物語講座、電話で詐欺防止講座、避難所開設訓練、防災訓練、陶芸入門講座、陶芸体験講座、子ども陶芸講座、災害時食品保存講座、かたくりの里まつり、健康相談、栄養相談、毎日体操

[沼 南] フレイルチェック講座、歌謡曲体操、理学療法士健康講座、ラジオ体操、シニアリトミック、やさしいヨガ教室、認知症サポーター養成講座、避難所開設訓練、防災訓練、ICT推進講座、交通安全教室、はがき絵教室、七宝焼き教室、いこい荘まつり、健康相談、栄養相談、毎日体操

(4) 相談事業

高齢者の健康増進のため、健康相談を月2回、栄養相談を月1回実施しました。

施設	健康相談			栄養相談		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5
柏 寿 荘	214 名	251 名	229 名	82 名	89 名	102 名
南部老人福祉センター	240 名	242 名	361 名	145 名	210 名	205 名
沼南老人福祉センター	289 名	236 名	386 名	169 名	184 名	208 名
計	743 名	729 名	976 名	396 名	483 名	515 名

[参考] 役員（理事・監事）・評議員・組織図

1 役員（理事・監事）名簿

R6. 3. 31 現在

役 職	氏 名	選 出 区 分	現 職 等
会 長	中 川 博	社会福祉事業経営又は学識経験者	社会福祉法人柏市社会福祉協議会 会長
副会長	吉 野 一 實	社会福祉法人又は施設を経営する者	柏市老人福祉施設連絡協議会 会長
	鈴 木 徹 生	社会福祉法人又は施設を経営する者	柏市私立認可保育園協議会 おお田保育園 園長
理 事	山 名 恵 子	柏市民生委員児童委員協議会の代表	柏市民生委員児童委員協議会 会長
	外 山 義 哉	社会福祉法人又は施設を経営する者	柏市障害者施設連絡協議会 会長
	阿 部 孝	地域住民組織の代表	柏市ふるさと協議会連合会 会長
	松 倉 聡	地域組織及び地域の経済団体の代表	一般社団法人柏市医師会 会長
	中 嶋 篤	地域組織及び地域の経済団体の代表	公益社団法人柏青年会議所 専務理事
	谷 口 恵 子	行政及び教育関係機関	柏市福祉部 部長
	石 井 剛 範	行政及び教育関係機関	柏市教育委員会学校教育部児童生徒課 課長
	林 真 理	福祉活動団体又は当事者団体の代表	かしわ地域若者サポートステーション センター長
	大 野 正 英	社会福祉事業経営又は学識経験者	麗澤大学 経済学部 教授
	秋 谷 正	社会福祉事業経営又は学識経験者	社会福祉法人柏市社会福祉協議会 常務理事
監 事	渡 部 昭	財務諸表等を監査し得る者	社会福祉法人 千葉県厚生事業団 理事長
	長谷川 秀 夫	社会福祉事業に学識経験を有する者	司法書士

任期：令和5年6月22日から令和7年定時評議員会終結時まで

※役職は選任当時の名称

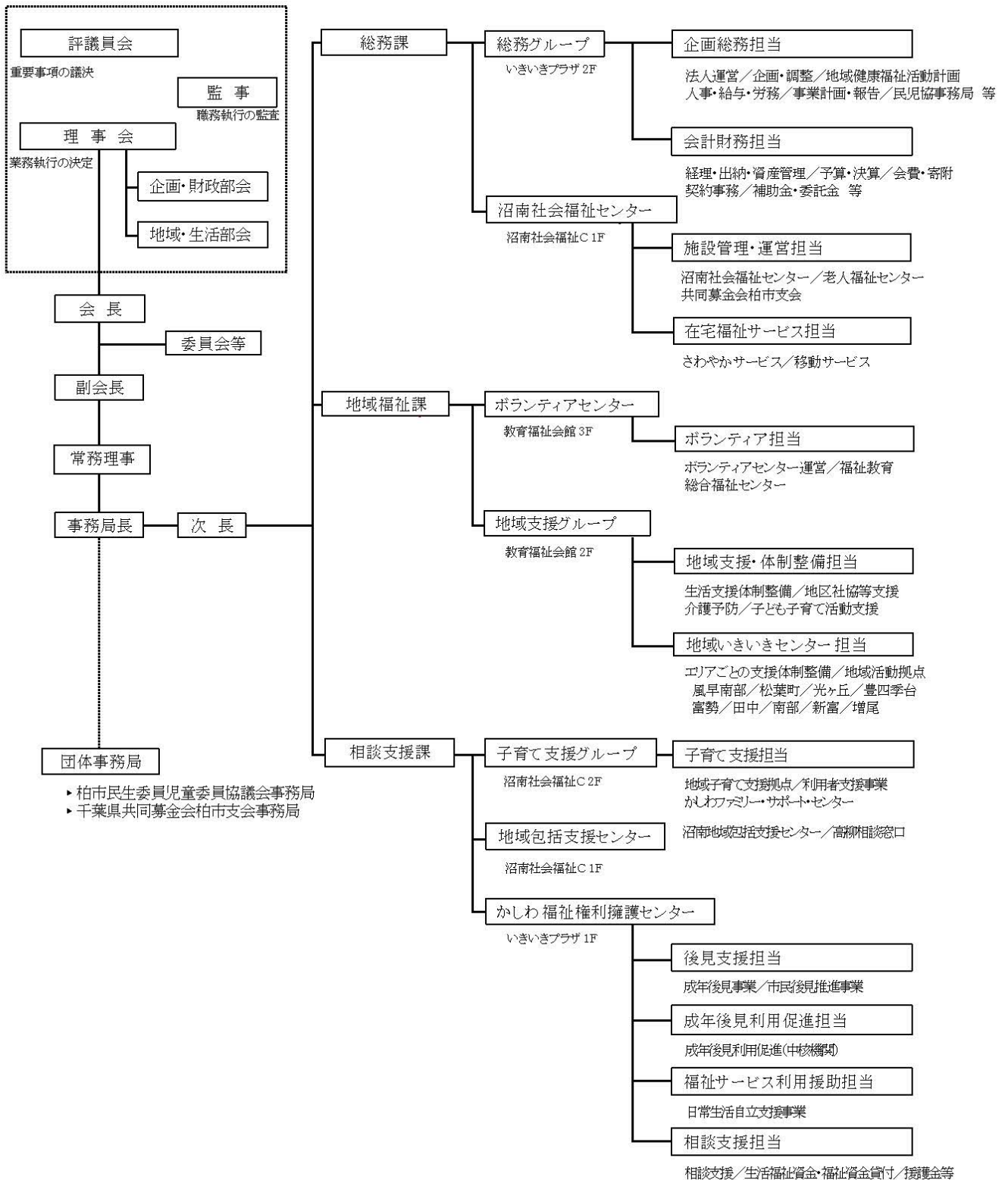
[会長・副会長・常務理事]

役 職	氏 名	当該役職の在任期間
会長	中 川 博	R 1. 6. 24～
副会長	鈴 木 徹 生	R 5. 6. 22～
副会長	吉 野 一 實	R 1. 6. 24～
常務理事	秋 谷 正	R 3. 6. 24～

氏 名	選出区分	役 職 等	
平 野 準 子	柏市民健康づくり推進員連絡協議会	柏市民健康づくり推進員連絡協議会 会長	
山 田 俊 治	福祉活動団体又は当事者団体	柏市シニアクラブ連合会 会長	
中 野 し の ぶ		柏市手をつなぐ育成会 会長	
横 尾 好 永	社会福祉法人又は施設を経営する団体	柏市介護サービス事業者協議会 会長	
金 本 元 章	地域住民組織	柏市柏の葉地域ふるさと協議会 副会長	
森 貴 弘		柏市永楽台地域ふるさと協議会 副会長	
高 橋 朝 彦		大津ヶ丘・塚崎地区社会福祉協議会 会長	
笠 原 輝 幸	地域組織及び地域の経済団体	柏市商店会連合会 会長	
望 田 八重子		柏市ひとり親(母子、父子、寡婦)福祉会 会長	
佐 藤 健 一 郎		柏商工会議所 事務局長	
板 津 守		柏ロータリークラブ 幹事	
石 原 洋 司		柏さくらライオンズクラブ 事務局長	
高 野 裕 子		一般社団法人柏歯科医師会 理事	
島 田 幸 男		一般社団法人柏市薬剤師会 理事	
赤 地 浩		柏市消防団 副団長	
金 森 靖 宏		柏市PTA連絡協議会 副会長	
籠 希世子		行政及び教育関係機関	柏市教育委員会教育総務部教育総務課 課長
吉 田 敬			柏市地域づくり推進部市民活動支援課 課長
眞 塩 さやか	柏市こども部こども政策課 課長		
竹 内 宏 明	社会福祉事業経営又は学識経験者	(公社)成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部 幹事(予定)	
大久保 貴 将		I T S株式会社 取締役社長	

※評議員任期：令和3年6月24日から令和7年度定時評議員会終了時まで

令和5年度
社会福祉法人柏市社会福祉協議会 組織体系図



第4期 柏市地域健康福祉活動計画
社協アクションプラン・発展強化計画進捗状況

I 社協アクションプラン

[年度別評価] 「◎」大幅に達成／「○」概ね達成／「△」取り組んだが達成に至らず／「×」未実施

1 地域・団体支援、ネットワークづくり

社協アクションプラン

(1) 地域いきいきセンターを拠点とした身近な相談支援や地域づくりの推進

地域いきいきセンターでは、地域福祉の支援拠点として、市民の身近な場所での相談支援や複合的な生活課題のコーディネート、支えあいの地域づくりの推進に取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	地域いきいきセンターにおける包括的な相談支援体制について、関係機関と共に検討を進め、年度内に具体的な方針を固める					◎
2年目	市内相談関係機関の顔合わせ及び継続したあいネットとの調整会議を実施し、ケース対応の連携強化を行うとともに、包括的な相談支援体制におけるいきいきセンターの役割の具体化を進める					○
3年目	あいネット及び関係各課との連携会議や相談支援機関と連携したケース対応を積み重ね、身近な地域での相談支援機能を強化する					○
4年目	相談支援関係機関と連携した伴走支援を実施し、センターの相談支援機能強化に取り組む 重層的支援体制整備事業にかかわる中で、センターの機能をどう活かし、どのような役割を担うべきなのか検討を進める					○
5年目	いきいきセンターとしてのケース支援や多機関協働事業における支援の積み上げを実施し、更なる相談支援機能強化を図る 重層的支援体制整備事業の地域づくりの取組に着手し、地域づくりの新たなノウハウを積み上げていく					○
最終年度						

① 風早南部地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,350件			1,425件		1,475件
実績値①	1,383件	906件	906件	743件	801件	
実績値②	218件	163件	177件	156件	239件	
実績値③	821件	540件	487件	465件	428件	

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

② 松葉町地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,150件			1,225件		1,275件
実績値①	972件	984件	1,349件	1,572件	1,746件	
実績値②	102件	151件	158件	325件	465件	
実績値③	557件	436件	762件	860件	1,086件	

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

③ 光ヶ丘地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,200件			1,275件		1,325件
実績値①	1,307件	820件	1,126件	1,147件	1,276件	
実績値②	153件	152件	291件	411件	403件	
実績値③	696件	349件	337件	370件	318件	

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

④ 豊四季台地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,400件			1,475件		1,525件
実績値①	1,300件	1,061件	1,216件	1,490件	1,128件	
実績値②	141件	150件	96件	277件	294件	
実績値③	861件	605件	799件	928件	491件	

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑤ 富勢地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	950件			1,025件		1,075件
実績値①	970件	816件	1,524件	1,548件	1,437件	
実績値②	92件	91件	198件	424件	179件	
実績値③	642件	495件	704件	920件	1,121件	

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑥ 田中地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	—			1,150件		1,200件
実績値①	657件	1,192件	1,064件	930件	1,448件	
実績値②	35件	83件	191件	198件	287件	
実績値③	561件	936件	716件	664件	861件	

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑦ 南部地域いきいきセンター (2020.5開設)

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	—			610件		660件
実績値①	—	569件	873件	1,157件	1,182件	
実績値②	—	107件	325件	519件	589件	
実績値③	—	272件	315件	371件	400件	

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑧ 新富地域いきいきセンター (2021.4開設)

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	—	—		575件		625件
実績値①	—	—	655件	908件	1,033件	
実績値②	—	—	108件	210件	314件	
実績値③	—	—	352件	418件	414件	

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑨ 増尾地域いきいきセンター（2022.11 開設）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	—	—	—	—	—	—
実績値①	—	—	—	172件	700件	—
実績値②	—	—	—	29件	160件	—
実績値③	—	—	—	39件	250件	—

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑩ 新田原地域いきいきセンター（2023.5 開設）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	—	—	—	—	—	—
実績値①	—	—	—	—	576件	—
実績値②	—	—	—	—	164件	—
実績値③	—	—	—	—	302件	—

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

(2) コミュニティソーシャルワーカーとしての地域支援の実施

コミュニティソーシャルワーカーとして、市民とともに個人や地域の生活課題の把握や解決に向けた「我が事」「丸ごと」の地域づくりに取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	地区担当職員が従事する業務から把握した個別課題を、地域や社会資源と繋げるよう意識付けを行う					△
2年目	支えあいの取り組みを通じて、個別課題を踏まえた地域づくりを推進する					△
3年目	各地区担当職員が関わる中で、地域の状況と個別課題の把握に努め、関係機関との連携強化に取り組む					△
4年目	各地区担当職員が関わる中で、引き続き地域の状況と個別課題の把握に努め、関係機関との連携強化に取り組む					△
5年目	コロナ収束後の地域の状況と個別課題の把握に努め、関係機関との連携強化に取り組む					○
最終年度						

(3) ふるさと協議会や町会等、地域組織との連携の強化

地域の中心的な組織であるふるさと協議会や町会・自治会・区・管理組合の他、その地域にある多様な社会資源や広域で活動する団体等とも連携を強化し、ともに地域福祉の推進に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1,500回			1,700回		1,800回
実績値	1,403回	944回	1,103回	1,170回	1,268回	

[※地区担当職員出向回数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	地域いきいきセンターの整備及び支えあい会議の取り組みを通じ、地域関係組織との連携強化を図る					○
2年目	地域支援課と連携し、新たに立ち上がるふる協及びその地域の町会組織との関係を深める					○
3年目	地域支援課と連携し、組織体制が変わる地域への支援を行い連携を強化する					○
4年目	関係各課と連携を図りコロナ禍での地域活動ができるよう支援していく					○
5年目	関係各課と連携を図りコロナ禍停滞した地域活動の再開ができるよう支援していく					○
最終年度						

(4) ゆるやかなネットワークの構築

既存の会議等と連携しながら、分野や対象、活動形態等に捉われず、あらゆる視点で、日頃からの情報交換や必要な時の連携、協力ができるゆるやかなネットワークづくりに取り組みます。

① 未就学児を対象とした子育て支援に関するネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1回			1回	2回	1回
実績値	1回	1回	1回	1回	2回	

[※情報共有や勉強会、交流の場の回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	11月頃に拠点で活動している子育て支援団体との第2回目の交流会（研修）を実施する	◎
2年目	今年度も地域の子育て支援団体との交流及び研修会を実施。地域の活動の情報収集及び利用者への情報提供を積極的に行う	○
3年目	子育て支援団体交流会の中で一緒に行っていた研修会と交流会を別枠として設け、研修と交流がそれぞれが実りある場となるよう実施していく	△
4年目	3団体で実施している「はぐはぐ交流会」を2回実施し、それぞれの取り組みや気になる利用者について情報共有する	◎
5年目	3団体で実施している「はぐはぐ交流会」を2回実施し、それぞれの取り組みや気になる利用者について、またアフターコロナでの活動について、新たな問題点等を共有し、円滑な事業運営に向けた意見交換を行う	○
最終年度		

② 子どもの居場所に関するネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	10団体			16団体	20団体	20団体
実績値	14団体	21団体	25団体	36団体	42団体	

[※ネットワークに参加する団体数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新規に立ち上がる子ども居場所活動団体に対し、連絡会への参加を呼びかける	◎
	未就学児以上を対象としている子育て支援団体との関係づくりのため、地域のイベント等に積極的に参加する	○
2年目	こどもの居場所活動の立ち上げを希望する団体に対する提供情報の充実を図る	△
	ひろばに遊びに来た利用者に情報提供するための子育て居場所に関するマップの作成を行い、利用者へ積極的に情報発信できるよう努める	△
3年目	こどもの居場所活動団体とスクールソーシャルワーカーをつなげる機会を作る	×
	子育て支援団体情報マップを完成し、ひろば利用者の情報提供に活用する。幼稚園個別説明会は、オンラインを活用した集団説明会とし、情報提供の一環として全ての園の内容が一目でわかる一覧表を作成し配布する	○
4年目	こどもの居場所活動の立ち上げを希望する団体に対する支援の強化を図る	○
	子育て支援団体研修(10月)と交流会(令和5年1月)を、「かしわ子育てまちづくりネットワーク・ここっと」と共催で実施する。なお、オンライン開催も視野に入れコロナ禍でも開催できるようにする	○
5年目	食材保管倉庫の受託と運営方法の整備及び食材提供企業の新規開拓を行う	○
最終年度		

③ 若者支援に関するネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1回			1回		1回
実績値	2回	1回	2回	1回	1回	

[※連絡会の開催回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新しい参加者を含めた連絡会を開催し、ネットワークづくりを行うとともに、若者支援の取り組みを検討し実施する	○
2年目	連絡会の構成団体（助成金交付団体）以外にも参加を呼びかけ、情報や課題の共有、新しいネットワークづくりを行い、若者支援の連携強化を図る	○
3年目	関係団体と課題解決を目的に研修・講座等を実施する。また、必要に応じて新たなネットワークを作る	○
4年目	構成団体を見直し、新たなネットワークを構築する。また引き続き研修を行い資質の向上を図る	○
5年目	研修や情報共有、関係団体とのネットワークづくりの場を提供する。また、柏市の動向も踏まえ、今後の若者自立支援サポーター連絡会のあり方を検討する	△
最終年度		

④ 相談機関等とたすけあい団体のネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	20団体			40団体		60団体
実績値	20団体	14団体	28団体	40団体	46団体	

[※情報交換の場に参加する相談機関数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	ケアマネージャーへの周知（団体一覧、たすけあいの理解促進）を行う	○
2年目	ケアマネージャーへのたすけあい活動手引きの改訂を行う	△
3年目	ケアマネージャー向けのたすけあい活動手引きの改訂を行う（たすけあいサービス以外に元気情報を活用して社会参加の視点を盛り込む）	○
4年目	たすけあい団体と福祉関係機関との連携に向けた意見交換会を地域ごとに行い、情報の共有と関係づくりを行う	○
5年目	全てのたすけあい団体間と関係機関との顔の見える関係づくりを目指す	△
最終年度		

⑤ 分野を超えた社会福祉法人のネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1回			6回		7回
実績値	1回	4回	4回	6回	7回	

[※連携の場等の開催数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	年に1度の合同研修と懇親を実施。その他、法人連携や協働事業を模索するため、若い職員を中心としたネットワークの設置を検討する	○
2年目	法人の種別バランス（高齢・障害・児童等）を考慮し、10名程度のコアメンバーによる検討会の立ち上げを進める	◎
3年目	市内の全法人を対象としたネットワークの組織化に向けて、現状の検討会の活性化により組織体制や事業展開（取り組み）を具現化していく	○
4年目	社会福祉法人ネットワークの組織化に向けて具体的な組織の設立をすすめる	○
5年目	社会福祉法人ネットワーク組織の立ち上げを今年度中に行う	◎
最終年度		

(5) たすけあいの重層化の推進

地域組織やNPO法人、企業等の様々な日常生活支援活動が共存と協働、連携しあえるしくみづくりに取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	実施	⇒	⇒
目標値	—			1回		2回
実績値	—	打合せ実施	打合せ実施	1回	1回	

[※研修・イベント数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	たすけあい団体との連携が有効な専門職や企業の洗い出しを行う	△
2年目	ネットワーク会議を開催し、多様な団体・企業などと手をつなげる状態を模索する	△
3年目	生活支援につながる企業サービスの情報を整理して一覧を作成し、たすけあい活動と連携ができるよう情報を発信していく	△
4年目	たすけあい団体と企業の連携に向けた意見交換会を実施し、試験的な取り組みを行う	○
5年目	企業連携の継続と推進及び先駆的事例（豊四季台/御用聞き）の検証及び今後のたすけあい団体の方向性の検討を行う	○
最終年度		

(6) 支えあい団体を利用しやすい環境づくり

さわやかサービスのあり方を見直し、直接サービスを提供する他、たすけあい活動が、より多くの市民に利用されるよう、積極的に情報提供の窓口としての役割を果たします。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1,200件			800件		900件
実績値	4,549件	4,004件	4,175件	4,292件	5,208件	

[※相談受付件数] 窓口・電話・訪問等により在宅福祉や介護についての相談を実施。相談の集計方法を改善したことにより、計上される件数が増加。

年度別実施計画		実施評価
初年度	事例を通じたさわやかサービスと町会エリア及びコミュニティエリア、たすけあい団体との連携関係を構築する	○
2年目	さわやかサービスが持つ機能を地域課題のために有効に機能されるために、相談者やケアマネージャーからのニーズに基づき、支援メニュー・ルールの見直しを検討する	○
3年目	支えあい団体との連携を図り、スムーズなコーディネートにつなげるため、それぞれの役割、担い手の状況等を把握する。引き続き、支援内容、ルールの見直しを検討する	○
4年目	重層的な支えあい活動を推進していく中、従来の支えあい団体が存続し続ける為の方法についてなど、話し合いの場を設け、横の繋がりでの連携強化を図る	△
5年目	相談者の内容等によって、各団体へつながるよう情報提供の窓口となり連携強化を続けるとともに、支援内容、ルールの見直しを検討する	○
最終年度		

(1) 多様な居場所づくりの推進

様々な分野とコラボレーションしながら、誰もが集えて、多世代が交流できる住民主体の居場所づくりの推進に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	260件			275件		285件
実績値	281件	280件	286件	297件	290件	

[※多様な居場所数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	多様な場所（公共施設・施設・企業・空き家・店舗）を活用した好事例を共有し、周知する	◎
2年目	居場所に活用できる場の確保と一つの場で世代を超えて多様な活動が展開できる事例づくり、環境づくりを行う	◎
3年目	多様な活動をしている通いの場の事例の情報収集と整理を行い、既存の啓発媒体の更新も踏まえながら、情報発信をしていく	△
4年目	ほのぼのプラザますおで様々な取り組みを行い整理したうえで、参考例としての情報発信や通いの場づくりの推進を図る。	○
5年目	さらなる情報発信手段の検討と実施及び通いの場の多機能化の検証を行う	○
最終年度		

(2) 支えあい活動の推進

地域支えあい推進員と地区担当職員が、一体的に活動し、たすけあい活動や高齢者（多世代含む）の通いの場等の支えあい活動を推進します。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	全世代型の視点から高齢者が活躍できる場の抽出を行う	◎				
2年目	地域元気情報の幅広い活用方法を検討し周知する	◎				
3年目	元気高齢者づくりのための協議を行い、地域元気情報の幅広い活用方法を検討し、関係者へ周知していく	△				
4年目	地域元気情報に新たな情報（企業等の情報）を加え、より幅広い活用ができるよう検討する	○				
5年目	地域元気情報をより活用しやすいものにするため更新方法と掲載内容を検討する	○				
最終年度						

① たすけあい活動（町会エリア）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	39団体			54団体		58団体
実績値	32団体	35団体	36団体	37団体	38団体	

[※団体数]

② たすけあい活動（コミュニティエリア）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	14団体			18団体		22団体
実績値	17団体	18団体	19団体	17団体	16団体	

[※団体数]

③ たすけあい活動（複数コミュニティエリア）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	14 団体			19 団体		20 団体
実績値	18 団体	17 団体	15 団体	16 団体	16 団体	

[※団体数]

④ 通いの場（月一型）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	196 団体			244 団体		275 団体
実績値	206 団体	200 団体	196 団体	196 団体	198 団体	

[※団体数]

⑤ 通いの場（週一型）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	15 団体			28 団体		37 団体
実績値	17 団体	17 団体	20 団体	20 団体	22 団体	

[※団体数]

⑥ 通いの場（常設型）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	11 団体			13 団体		14 団体
実績値	9 団体	8 団体	9 団体	10 団体	10 団体	

[※団体数]

(3) 見守りのしくみづくりと支援

既存の近隣関係や町会等の防災訓練や要援護者支援のしくみ等を活用、運動した日常的な見守り活動の推進と支援に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	—			20 件		40 件
実績値	—	—	—	—	—	

[※見守りのしくみと支えあい活動の連携数]

	年度別実施計画	実施評価
初年度	公的な窓口の周知と一体的な見守り普及啓発チラシを配布する	△
2年目	通いの場、たすけあいから発展した見守りの推進を行う	△
3年目	市の総合相談体制構築の状況を注視し、住民のゆるやかな見守りを進めるために、見守り安心ダイヤルの方向性について市と調整していく	×
4年目	市の包括支援体制構築の状況を注視し、住民のゆるやかな見守りを進めるために、見守り安心ダイヤルの方向性について市と確認していく	×
5年目	市の状況を注視し、住民のゆるやかな見守りを進めるために、今後の方向性について市と確認していく	△
最終年度		

(4) 効果的な介護予防活動の創造と普及

関係団体と連携し、健康寿命の延伸に効果的な介護予防事業の創造やその普及に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	220回			230回		240回
実績値	261回	122回	154回	-	-	

[※介護予防講座数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	講座を通じて影響のある企画内容や講師の評価、発掘を行うとともに、ほのぼのプラザの貸館業務等を通じ、民間団体が主催する市民向け講座の活用を図る	◎
2年目	いきいきセンター及び地域包括支援センター及び地域組織との連携による講座展開と、講座に集まらなくても介護予防の知識等が周知されるための紙面講座等の展開を行う	△
3年目	地域包括支援センターや地域いきいきセンター等との連携によって、介護予防を通じた居場所づくりの支援、ノウハウを共有するとともに、動画を通じた居場所づくり活動の支援を行う。また、市担当課の方向性を踏まえた対応と円滑な内外調整を行っていく	○
4年目	令和3年度末で事業受託終了	-

(5) 新たな福祉課題へのモデル的な活動の実施

新たな福祉課題（現代的な課題等）に対応するため、課題に応じた支援体制（ゆるやかな連携等）やモデル的な活動、しくみづくりに取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
目標値	-			1件		1件
実績値	検討	2件	2件	2件	3件	

[※新たな課題に対する体制や活動数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新たな課題や複合的な課題解決に向けた総合相談やいきいきセンター、地域の連携によるモデル的な活動を検討する	△
2年目	複合的な課題解決に向けた会議等を年2回開催し、課題解決に向けた連携の場づくりを行う	○
3年目	金銭管理に関する課題を整理し、関係機関等と連携体制や新たな取り組み、仕組みを検討する	○
4年目	令和5年度開始に向け、緊急一時的な資金調達が難しい支援困難事例等への新たな緊急援護金制度の創設に向けた調整を図る 令和5年度開始に向け、生活困窮世帯の中学生等を対象とした、学用品の支援等の新たな仕組みづくりの調整を図る	○
5年目	生活困窮世帯の小・中学生等を対象とした学用品支援事業及び就学援助制度を補完する特別貸付制度を活用した修学旅行費等の貸付を実施する 困難事例を意識した緊急援護金制度をモデル的に実施する	○
最終年度		

(6) 空き家の活用等に関する研究

市の空き家対策の状況を踏まえながら、空き家の有効活用やそのしくみづくりについて研究します。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	市住宅政策課の動向を踏まえ、本会としての方向性について検討する					△
2年目	市からの利活用物件の情報に対し、地域での活用に向けて体制整備グループとの連携により可能性を探っていく					○
3年目	住環境再生課からの利活用物件の情報に対し、地域での活用に向けての調整を行っていく					△
4年目	遺贈寄附の受け皿として、空き家の活用にむけた検証を進める					△
5年目	市の情報提供があった際に、有効活用につなげられるよう、内部での共有と必要に応じた他機関との調整を図っていく					△
最終年度						

(7) 子育て支援拠点の充実

イベントや講座等の充実による居心地の良い居場所づくりや出張相談等の相談業務の実施等、子育て支援拠点の充実に取り組みます。また、災害時にできるはぐはぐ広場での親子への支援等の検討を進めます。

① 居心地の良い居場所づくりと相談支援体制の充実

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	利用者のニーズに応え、年齢に応じた遊具等の整備及びファミサポ、拠点、利用者支援事業を併せたパンフレットを作成する					◎
2年目	前年度の体制を継続。出張相談や育児講座で発信された内容をホームページで発信し、より多くの人に情報提供を行う。また、他機関とのつながりを強化し、個別のケースに対して連携が取れるよう進めていく					○
3年目	出張相談は、新たにラコルタ柏「多世代交流スペース」で実施する。また、新たな相談方法としてリモートを活用した相談を緩やかに実施する					○
4年目	今年度父親に向けてアンケートを実施。アンケートで得た父親の思い等を組み取る中で、父親同士の交流や父子でも通いやすいひろばを模索しながら進めていく ニーズの高い0歳のイベント「すくすくタイム」を月1回出張ひろばとしてラコルタ柏で実施する 新たに光ヶ丘と南部の地域いきいきセンターで、毎月各1回出張相談を実施する。また、出張相談及びオンライン相談のPRを強化し、気軽に利用できる環境づくりと相談者の増加を図る					○
5年目	昨年度父親に向けてアンケートを実施した内容から、父親参加の育児講座や、両親講座等、父親同士の交流や父子でも通いやすいひろばを実施する ニーズの高い0歳のイベント「すくすくタイム」を月1回出張ひろばとしてラコルタ柏で実施。沼南センターまで来られない利用者の支援を行う 昨年度新たに光ヶ丘と南部の地域いきいきセンターで、毎月各1回出張相談を実施しているが、PRの強化が課題なので、現状の分析、利用者のニーズの把握を行い、行政を巻き込んだPRを実施し、実績を上げていく					◎
最終年度						

② 災害時の親子（未就学児とその親）への支援

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	2回			2回	3回	2回
実績値	2回	2回	3回	3回	3回	

[※利用者を変えた避難訓練実施回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	職員避難訓練を毎月実施、年2回利用者を変えた訓練を実施する	◎
	災害時対応を沼南社会福祉センターと子育て支援拠点で検討し、避難訓練を実施する	△
2年目	災害の際に、常に職員が敏速に動けるよう、定期的な避難訓練を実施。災害用備蓄品の管理及び備蓄場所、使用方法の確認を定期的に行う	○
	子育て支援グループとの避難訓練時に災害時を想定し、受け入れ体制のシミュレーションを実施する	◎
3年目	4月に非常時の持ち出し品と避難経路の確認を行う。また、月1回子育て支援グループでの避難訓練（うち利用者を変えた訓練を3回実施）を実施し、随時改善を図る	○
	はぐはぐひろばの利用者を変え、新設した避難階段を使用し、安全な避難訓練が実施できるよう、避難階段周辺の整備を行い、避難訓練を実施する	○
4年目	4月は、マニュアルの確認及び避難経路、持ち出し品の確認を行う 5月より月1回避難訓練を実施する。うち3回は利用者参加型とし、見えてきた課題等は、その都度確認し見直しを図る 子育て世代の防災に取り組む公益活動団体との連携を図る	◎
	4月は、マニュアルの確認及び避難経路、持ち出し品の確認を行う 5月より月1回避難訓練を実施する。うち3回は利用者参加型とし、アフターコロナでひろばの定員がなくなって見えてきた課題等は、その都度確認し、職員間の共有を行うための、図上訓練を強化していく 子育て世代の防災に取り組む公益活動団体との連携をする等、ひろばにおける災害時の危機管理体制の整備を進める	◎
最終年度		

(8) 成年後見制度の利用促進

成年後見制度利用促進法に基づき、柏市や職能団体等と連携し、かしわ福祉権利擁護センターにおける成年後見制度の利用促進に積極的に取り組みます。
また、制度の普及啓発や相談窓口の設置等により、潜在的な対象者の早期発見から支援までのしくみづくりに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	柏市等と話し合いを持ち、成年後見制度の普及啓発や中核機関の設置等についてしくみや内容等を検討する	◎				
2年目	かしわ福祉権利擁護センターのあり方も踏まえ、引き続き市担当課と話し合いを行い、来年度の実施に向けた準備等を行う	◎				
3年目	一次相談機関（地域包括支援センター、地域生活支援拠点）との連携体制の構築と、協働した成年後見制度普及啓発等事業を行う	○				
4年目	第2期成年後見制度利用促進基本計画と現行の取り組みと擦り合わせを行い、取り組みの見直し等を行う	○				
	一次相談機関（特に地域生活支援拠点）との連携や研修機会の提供等を通じて、成年後見制度に関する一次相談機関の対応力の向上を図る	○				
5年目	一次相談機関の初期相談や候補者調整会議の活用への支援、司法や金融機関との連携強化等、一次相談支援機関の相談対応力の向上に取り組む 連絡調整会議を通じて、候補者調整会議のあり方等を検討する	○				
最終年度						

(9) 日常的な活動等に障害者も参加できる環境づくり

障害者を対象とした活動ではなく、日常的な様々な活動や場面の中に、障害者が自然と活動、参加できる工夫や環境づくりに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1回			2回		2回
実績値	1回	0回	0回	16回	11回	

[※理解促進に関わる取り組み回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	障害者のスポーツ推進の取り組みと連動し、地域行事などに障害者が気軽に参加できるような環境づくりを関係団体と検討する	○
2年目	市の障害者スポーツの取り組みを通じて、障害者が参加しやすい地域活動のあり方を検討する	△
3年目	市スポーツ課による障害者スポーツ推進連絡会へ参画を継続し、状況に応じて具体の調整を行う	×
4年目	ラコルタ柏において、障害者関係団体との連携による「障害もある子もない子も参加できる」場を積極的に展開し、地域展開のモデルとする	○
5年目	かしわふるさと公園内に設置された「みんなの広場(インクルーシブ公園)」で、放課後等デイサービス事業所の利用者を主な対象としてイベントを開催し、障害の有無にこだわらない交流の場となることを目指す	○
最終年度		

(1) 我が事意識の醸成に向けた福祉教育の推進

我が事意識の醸成を目指し、世代に応じた福祉教育を展開します。また、児童・生徒に対しては、啓発チラシやボランティア体験等、夏休み期間を活用した福祉事業の充実に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	600人			600人		600人
実績値	676人	132人	360人	543人	753人	

[※夏ボラの参加者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	「夏ボラのススメ」を発行、学校等に配布・周知のうえ参加を呼び掛ける	○
2年目	「夏ボラのススメ」を発行し、児童期から福祉へ興味関心や障害理解を深め、地域活動参加への呼びかけを行う	△
3年目	「夏ボラのススメ」を発行し、児童期から福祉へ興味関心や障害理解を深め、地域活動参加への呼びかけを行う	○
4年目	ふくしの種、夏ボラ、福祉体験教室、出前講座により推進する。夏ボラについては、デザインを刷新し、メインターゲットである中高生の参加増を目指す	○
5年目	ふくしの種での障害理解や夏ボラでの社会参加、ボランティア活動への関心を深める啓発を行う 福祉体験教室、出前講座では、当事者との交流等を通して自分にできることを身近にとらえる機会を増やす	◎
最終年度		

(2) ボランティアコーディネート機能の充実

依頼者と活動者をつなぐコーディネートの効率化と実践を通じた量・質を兼ね備えたコーディネートに取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	480件			480件		480件
実績値	446件	74件	108件	193件	323件	

[※ボランティアコーディネート件数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	通常のコーディネート業務に加え、体験同行や依頼先施設等への訪問を行う	○
2年目	単発的な依頼と年間を通じた依頼のすみ分けを意識して取り組む。ボランティア支援希望者と活動希望者の円滑な調整及び活動同行や施設等への訪問を適宜行う	△
3年目	コロナ禍でのボランティア活動への支援。ボランティア団体や依頼者へ新たな活動方法の提案をする。また、活動希望者のニーズにある活動先の紹介をしていけるようなマッチングに取り組み、データ分類を行っていく	○
4年目	コロナにより停滞した活動について、ボランティア団体の活動状況をアンケートにより把握し、工夫等を共有し、再活性化を目指す	○
5年目	活動状況アンケートの取りまとめ結果から、担い手不足の課題が分かったため、会員増員を目的に、ボランティアグループとの連携講座や団体の紹介の場を設ける等を工夫する。他機関、学校などつながりの幅を広げる	○
最終年度		

(3) 活動の場までつなぐ人材の育成

活動の場へのコーディネートまでを含めた人材育成（講座）・相談支援に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	5講座			10講座		10講座
実績値	5講座	3講座	3講座	7講座	6講座	

[※体験等を含む人材育成講座数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	入門、精神保健ボランティア講座、傾聴講座等を開催し、人材の育成を行う	○
2年目	例年実施する講座に加え、施設等でニーズの高いボランティアの企画・養成を行う	△
3年目	各機関と連携しての講座の企画や実施を行い、育成後の活動の場を提供していただける仕組みづくりに取り組む	○
4年目	コロナにより制限される活動が多いが、ラコルタ事業をはじめ、活動できる場の把握と調整をしながら人材育成を進める	○
5年目	コロナ収束による依頼の増加が予想されるため、プラストメール等を使い多くのボランティア希望者に情報発信する。また、個人登録ボランティアへのフォローとして講座を開催する	◎
最終年度		

(4) プロボノの研究

各分野の専門家が、職業上持つ知識やスキル、経験を活かし社会貢献するボランティア活動（＝プロボノ）を研究します。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
目標値	—			100人		200人
実績値	—	—	—	155人	147人	

[※専門技術を活かしたボランティア登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	個人登録ボランティアの持つ専門技術の情報整理を行う	○
2年目	昨年実施した調査データをもとに活用方法を検討する	△
3年目	調査データを基に活用方法について、引き続き検討を行う	△
4年目	依頼ニーズの増加が想定されるパソコン、スマホを得意領域とする登録ボランティアへのアンケートを行い、そのスキルを用いた研修の場設定と活動の場提供を進める	○
5年目	各地の導入事例を確認、研究し、柏市において有効な運用法を検討する	○
最終年度		

(5) ニーズに応じた人材の育成と確保、活動支援

福祉教育や支援の担い手等、ニーズに応じた人材育成や活動者、担い手の確保、活動支援に取り組みます。また、ボランティアセンターの個人ボランティア登録者に対し、定期的な情報提供を行う等、活動の活性化に取り組みます。

① 福祉教育ボランティアの育成と活動支援

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	30人			55人		79人
実績値	41人	41人	20人	36人	37人	

[※福祉教育ボランティア登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	福祉教育ボランティア交流会を実施し、福祉体験講座の講師依頼時に活動できるよう調整を行う	○
2年目	福祉教育ボランティア養成講座を実施し、人材の拡充を行う	△
3年目	少人数で対応可能な福祉体験の内容検討と、ボランティア増員のための養成講座を実施する	△
4年目	見直しを図ったマニュアルをもとに、既存ボランティアのフォローアップと新たな人材育成を進める	○

5年目	出前講座の依頼を受けるにあたり、ボランティアへの負担軽減ができるよう、依頼者との調整を図り、活動が継続して行えるよう支援する。ボランティア養成講座開催時には、登録ボランティアもフォローアップや振り返りができる場を設定する	◎
最終年度		

② 災害時に動けるボランティアの育成と確保

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	72人			77人		87人
実績値	79人	96人	102人	103人	109人	

[※災害ボランティアコーディネーター登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催し、コーディネーターを養成、修了者による自主勉強会の支援を行う	○
2年目	養成講座の企画・開催及び防災・災害ボランティア団体との連携・交流、その他、修了者による被災地支援の検討等を行う	○
3年目	感染症対策を講じた災害ボラセン運営マニュアルの見直しとコーディネーターの養成を継続する	○
4年目	前年度訓練により課題を修正したマニュアルをもとに災害ボランティアCOの育成とフォローアップ、訓練を実施する	○
5年目	前年度訓練により課題を修正したマニュアルをもとに災害ボランティアCOの育成とフォローアップ、訓練を実施する。また災害ボランティアCOの人材発掘の為、周知に力を入れる	△
最終年度		

③ 生活支援員の育成と確保

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	45人			55人		65人
実績値	43人	38人	38人	36人	41人	

[※生活支援員数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新たな生活支援員獲得に向けた対策を検討、退任民生委員向けに説明会を開催し、新しい生活支援員を確保する	△
2年目	他部署との連携による人材発掘や市民後見人養成研修受講生を生活支援員につなげる等、新たな人材の確保を行う	△
3年目	他部署と連携による人材発掘や市民後見人養成研修受講者を生活支援員につなげるなどの人材発掘を行う	△
4年目	市民後見人養成研修受講者以外の生活支援員獲得の取り組みを行う	○
5年目	生活支援員の現状を分析（地域別、現生活支援員の年齢等）し、必要な人材を戦略的に募集し、確保する 経験値や支援対象等を考慮した研修を開催し、効果的な生活支援員の育成や質の向上に取り組む	○
最終年度		

④ 市民後見人の養成・育成と活動支援

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	25人	31人		55人		79人
実績値	23人	23人	44人	53人	65人	

[※市民後見人候補者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	養成研修中は、定期研修や利用者訪問等を行い、修了後はフォローアップ研修や情報交換を行い育成する	◎

2年目	第4期市民後見人養成研修（座学、実習等）を実施、新たな市民後見人の養成を行う	△
3年目	第4期市民後見人養成研修を実施、新たな市民後見人の養成を行う	○
4年目	第5期市民後見人養成研修を実施、新たな市民後見人の養成を行う。また修了者に対して、研修だけではなく連携・交流を意識した支援を行う	○
5年目	第6期市民後見人養成研修を実施し、新たな市民後見人を養成する。修了者に研修の他、連携や交流を意識した支援を行う	○
最終年度		

⑤ 後見支援員の活動の場の提供と拡充

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	15人			30人		40人
実績値	14人	25人	28人	28人	34人	

[※後見支援員延活動者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	法人後見の継続により、後見支援員活動の場を確保するとともに、普及啓発活動等への協力を促し、活動の場の提供と拡大を図る	○
2年目	後見支援員の新たな活動の場として、南部地域いきいきセンターを活用した意思決定支援（望みノート）や成年後見の普及啓発活動を行う	○
3年目	南部地域いきいきセンター以外でも終活応援ルームを行うなど、意思決定支援、成年後見制度普及啓発活動を拡大する	○
4年目	法人後見業務や終活応援ルームの増所を図り、後見支援員の活動の場の提供と拡充を行う	○
5年目	市民後見人名簿登録者への面談結果を踏まえ、事務執行者や普及啓発活動（意思決定支援含む）の見直し等を図り、活動の場の拡充を図る	○
最終年度		

⑥ さわやかサービス協力会員の確保

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	170人			230人		250人
実績値	149人	168人	168人	176人	164人	

[※さわやかサービス協力会員数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	既にルートのあるシニアへの募集に加え、長期的な人材確保のため子育て世代への募集ルートを開拓する	◎
2年目	社協のサービスを跨いだ学びの機会の提供により、地域共生社会における多様な参加支援を進め、さわやかサービス協力会員を確保する	◎
3年目	年4回の登録説明会の実施のほか、協力会員の人数を確保したい地域（増尾、光ヶ丘、南部等）に出向き、臨時説明会を実施する。また、スキルアップ研修等で会員同士のつながりをつくり活動の活性化に努める	△
4年目	市民のニーズに柔軟に対応し、手厚いサービス提供ができるようにする為、引き続き協力会員確保に努める	△
5年目	登録説明会は地域で行うものを含め4回実施する。協力会員の新規登録者の数値を増やし、活動につなげる。また一般公開型の講座等で会員募集の周知を検討する。	△
最終年度		

⑦ 柏市訪問型生活支援サポーター（かじサポ）の養成

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	310人			100人		100人
実績値	323人	333人	333人	86人	55人	

[※かじサポ登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	研修の参加者増加に向け、募集ルートの開拓、資格取得をし、就労していない方への調査、フォローアップ講座を行う	◎
2年目	生涯現役促進協議会との連携により募集ルートの確保を行う	△
3年目	柏市訪問型生活支援サポーター（かじサポ）のフォローアップとともに、現時点の状況について情報を収集する（現況調査）	○
4年目	フォローアップ研修と現況調査の実施	○
5年目	フォローアップ研修と現況調査の実施	○
最終年度		

⑧ ファミリー・サポート・センター協会員・両方会員の確保

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	400人	430人	460人	490人		550人
実績値	370人	416人	455人	468人	498人	

[※ファミサポ協会員・両方会員数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	地区ごとの利用状況や協会員の状況等を踏まえ、地区担当者や地区リーダー協力のもと、効果的な人材確保に取り組む（地域での説明会の実施）	○
2年目	基礎研修が受けやすい体制を構築する。また、必要とされた地域に向向いての個別説明と事業説明を積極的に行い、協会員獲得のためのチラシやポスターを各所に配布。社協のホームページで情報も発信していく。	○
3年目	基礎研修会の開催回数（年4回から6回）や午前のみ2日間コース（1回から2回）、開催場所（松葉近隣センターの3か所）を拡大し、会員確保に努める。また、協会員獲得のPR活動に地区リーダーも交えて取り組める内容を構築し、実施する	○
4年目	礎研修会を、いきいきプラザと沼南センターの2会場で年6回（2回は午前のみ）の2日コース）実施する。また、協会員を身近に感じる取り組みとして、地区リーダーに話をしてもらった時間を新たに設ける 援助件数の多い中央地区と協会員数の少ない南部地区に対して、チラシや張り紙等の会員獲得の取り組みを強化し、会員数の増加を図る	○
5年目	利用依頼は多いが、協会員の少ない北部地域に対して、チラシや張り紙等の会員獲得の取り組みを行う。また地域に向向いての基礎研修会（県民プラザ）を実施し、会員数の増加を図る	◎
最終年度		

⑨ 個人登録ボランティア登録者の増加

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1,000人			1,120人		1,200人
実績値	1,094人	931人	880人	941人	830人	

[※個人ボランティア登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	「通年ボラ∞」を発行・配布し周知を図る	○
2年目	「通年ボラ∞」の発行及び配布。QRコード登録によるお知らせメール機能のPRを行う	○

3年目	ボランティア入門講座の開催数を増やし、個人ボランティア登録者の増につなげる。また、メールマガジン配信システムを活用し登録者に対する情報発信を行う	△
4年目	窓口相談、入門講座をはじめ、地域活動ガイダンス、生涯現役窓口やシルバー人材Cとの連携等、多様なチャンネルにより個人登録ボランティアの増を目指す	△
5年目	昨年度に引き続き窓口相談、入門講座の他、多様なチャンネルにより個人登録ボランティアの増を目指す。また、今年度は個人登録ボランティアの継続調査を行い、活動にご協力いただけるボランティアの実数把握に努める	○
最終年度		

(6) モデル活動の実施と「地域づくり」との連動

地域いきいきセンターや総合福祉センター（多世代交流）等で実施した、モデル的な成功事例を共有し、横展開を図ります。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1事例			1事例		1事例
実績値	1事例 (支えあいイベント)	1事例 (教育福祉会館事業)	1事例 (オンラインの活用)	4事例 (企業連携等)	6事例 (企画連携等)	

[※モデル的な取り組み事例数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	試行的、先行的に実施する人材育成や地域活動について、他の地域での適用を検討し中央から地域、地域から地域へ広げる仕組みをつくる	△
2年目	新教育福祉会館の方針を踏まえ、開館に向けて多目的スペースでの事業展開や講座等の企画案を作成しておく。(コロナ禍により試行が困難なため)	○
3年目	昨年度作成した企画案を活用し、実施に向けた検討を行う	△
4年目	いきいきセンターや総合福祉センター等で仕掛けたモデル的な取り組みを他地域で活用し、地域づくりにつなげていく	○
5年目	支えあい（ほのぼのプラザの事業展開等）やラコルタでのモデル的な取り組みを参考に、いきいきセンターでの講座等の展開につなげることで他地域へ広げる。成功例を地区担当職員と共有し、より広い地域への地域づくりに活用する	○
最終年度		

(7) 介護予防を通じた地域活動の支援

介護予防事業でのノウハウを活かし、つながりを絶やさないよう情報提供や人材育成等に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	実施	⇒	⇒
目標値	120回			実施		実施
実績値	105回	15回	106回	278件	389件	

[※1～3年目：フレイル予防・健康づくり出前講座数、4～5年目：介護予防の情報発信の実施]

[※4～5年目：介護予防グッズの貸し出し件数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	健康づくり出前講座、人材育成講座、介護予防グッズ等を通じて、地域住民の主体的な介護予防活動を支援する	○
2年目	健康づくり出前講座、人材育成講座、介護予防グッズ等を通じて、地域住民の主体的な介護予防活動を支援する	△
3年目	フレイル予防健康づくり出前講座を通じた居場所づくり活動の支援を行う	○
4年目	ほのぼのプラザますおの通いの場で取り組む介護予防に係る情報の提供及びグッズの貸し出し	○
5年目	通いの場で取り組む介護予防に係る情報の提供及びグッズの貸し出し	○
最終年度		

(1) 総合相談（貸付等）を窓口とした生活課題へのアプローチ

総合相談（貸付等）をきっかけに、相談者が抱える複合的な福祉課題の整理や制度・専門機関等へのつなぎ等、課題解決に向けた支援に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	80件			120件		130件
実績値	209件	2,072件	1,078件	3,582件	455件	

[※課題を整理し支援機関や制度につないだ件数]

※コロナ特例貸付で状況確認シートを使用して、あいネットと連携、情報共有した件数も含む

年度別実施計画		実施評価
初年度	複合的な生活課題を抱えた相談者の課題を整理し、解決に向けた助言や必要な機関等へのつなぎを行う	◎
2年目	複合的な課題を抱える相談者の課題の整理や助言、必要機関へのつなぎ等を行い、相談者の課題解決を図る	○
3年目	心配ごと相談や福祉資金の貸付等の相談対応や督促等により、相談者の課題解決や解決に必要な支援を行う	○
4年目	複合的な課題を抱える相談者の課題を整理し、必要な支援機関への繋ぎを行う。また、重層的支援体制を意識し関係機関との連携強化を図る	○
5年目	特例貸付の償還が難しい世帯等で複合的な課題を抱える相談者の課題を整理し、必要な支援機関への繋ぎを行う 重層的支援体制を意識し関係機関との連携強化を図る	○
最終年度		

(2) 相談の集約と分析による新たな福祉課題への対応

社協の各相談窓口に寄せられた相談や生活課題を集約・分析し、新たな福祉課題等の整理や解決、対応等に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	社協内での相談データの集計方法の見直しを行い、相談データから総合相談が必要なデータを抽出して課題を整理する	△				
2年目	各担当間の相談データの集計や分析を行い、福祉課題の傾向や取り組むべき課題の整理を行う	△				
3年目	対応困難な相談事例等を集約・整理し、課題解決に向けた検討や連携などにつなげる	△				
4年目	社協内の相談事業を行う担当間で、対応困難事例の対応策等を共有するなどの検討を行う	△				
5年目	心配ごと相談や一般貸付利用者の現状や傾向等を見える化し、整理・分析する 見える化した情報をもとに、心配ごと相談員や生活支援課等と課題共有や対応方法の検討を行う。また、必要な制度の見直し等を行う	△				
最終年度						

(3) 複合的な福祉課題解決への連携と支援

相談支援機関等が複合的な福祉課題の解決に取り組む際、総合相談や地域いきいきセンター等がその特徴やノウハウを活かし、分野を越えた横断的な支援体制の構築や課題解決への支援に取り組みます。

① 横断的な検討会議等の開催

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	—			2回		2回
実績値	—	2回	3回	3回	9回	

[※分野を超えた検討の場の実施回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	柏市やあいネット等の関係機関と協議を行い、計画に掲げる包括的な相談支援体制の構築に向けた検討を行う	○
2年目	複合的な課題解決に向けた会議等を年2回開催し、課題解決に向けた連携の場づくりを行う	○
3年目	社協、あいネット、生活支援課等との定例的な打合せを活用して連携や支援を行う	○
4年目	あいネット、生活支援課等重層的支援関係団体の会議に参加する。また必要に応じて会議を開催する	○
5年目	重層的支援体制整備や関係団体の会議に出席し、必要な意見や連携等を行う。複合的な課題を抱える権利擁護センターの利用者や相談者等の課題解決に向けた連携や支援体制の構築を行う。	○
最終年度		

② 複合的課題を抱えたケース等の伴走支援（中間期見直しにより4年目から追加）

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	—	—	—	実施	⇒	⇒
目標値	—	—	—	240件		280件
実績値	—	—	—	298件	414件	

[※相談支援機関と連携した伴走支援活動延件数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	—	—
2年目	—	—
3年目	—	—
4年目	複合的な課題を抱えた世帯に対し、多機関協働による伴走支援を行うため、市からの新規委託事業「エリアごとの支援体制整備事業」におけるエリアコーディネーターを担い、小・中会議を実施する。会議実施を通して、関係機関との連携強化と、より円滑な伴走支援の実施を目指す	○
5年目	多機関協働事業における伴走支援のつみあげや、中会議等の実施から関係機関との連携体制を深め、円滑な伴走支援体制の構築を進める	○
最終年度		

(4) 福祉サービス利用援助事業の速やかな利用に向けた体制づくり

速やかな訪問調査や契約判断を行える体制づくりを進め、支援が必要な利用者の速やかな制度利用に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	生活支援員向けの研修会を開催し、質の向上を図るとともに、退任民生委員向け説明会を実施し、新たな生活支援員の確保を行う					△
2年目	利用者数の増加に対応するため、生活支援員の確保や研修等を行い、人材確保と質の向上を図る					△

3年目	認知症、精神障害者等、様々な利用者に対応するため、生活支援員の確保に向けた研修、スキルアップ研修等を実施する	○
4年目	高齢者、障害者様々な利用者に対応した、また活動経験年数に応じた研修を行う	○
5年目	生活支援員が、対応が難しい精神障害者等への支援もできるように研修等を行うことで、専門員対応の割合を減らしていく	○
最終年度		

(5) 権利擁護の切れ目のない支援

元気なうちから亡くなるまでを意識した継続的な支援体制の構築を目指し、任意後見や死後事務等に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	任意後見、死後事務、財産管理等委任契約を総合的に支援できる相談支援体制の構築に向けた支援を行う					◎
2年目	福祉サービス利用援助事業の利用者から法人後見への移行や任意後見、死後事務等のモデル的な取り組みを継続しながら、切れ目のない支援体制の充実を図る					○
3年目	日常生活自立支援事業から成年後見制度利用に向け、切れ目のない支援ができるよう生活支援員、後見支援員への研修体制を充実する					○
4年目	第2期成年後見制度利用促進基本計画を踏まえた取り組み（任意後見制度の普及啓発等）を行う					○
5年目	手をつなぐ育成会と連携して、障害者を抱える世帯への成年後見制度の利用促進を行う 日常サービス利用援助事業利用者のスムーズな成年後見制度への移行を支援する					○
最終年度						

(6) 介護予防事業の効果的な実施

これまでの介護予防事業の実践によるノウハウを活かし、老人福祉センターにおける介護予防の充実と利用者への情報提供に取り組みます。

① 介護予防センターにおける効果的な介護予防の実施

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	—	—	—
目標値	50回			—	—	—
実績値	68回	63回	82回	—	—	—

[※公共施設等を利用した講座開催回数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	柏の葉公園センター、モラージュ柏、クリーンセンター、地域医療連携センター等の地域性を意識した講座企画を増やす					○
2年目	柏の葉公園センター、モラージュ柏、クリーンセンター、地域医療連携センター等を活用し、地域に根ざした講座展開を進める					△
3年目	コロナ禍でも社会参加できる活動の場づくりの提案・支援を行うとともに、紙面講座を通じた「つながり切らさないための活動」支援を行っていく					◎
	計画3年目（令和3年度末）をもって、柏市からの介護予防事業の受託が終了となったため実践終了とする					-

② 老人福祉センターにおける効果的な介護予防の実施

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	500人			800人		1,000人
実績値	514人	60人	113人	886人	1,018人	

[※老人福祉センター事業の内、主たる目的が介護予防の講座の参加者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	ほのぼのプラザとの連携を強化し、介護予防機能を有した事業展開をする	○
2年目	参加者の増加を目的とし、ほのぼのプラザと連携を強化し魅力ある講座を実施する	△
3年目	高齢者の引きこもり防止を目的に、コロナ禍でも創意工夫を図り、魅力ある講座を実施するため、ほのぼのプラザとの連携、強化を図る	△
4年目	コロナ禍でも創意工夫しながら、魅力ある講座を企画し参加者の増加を図る。また、トータルヘルスケア協議会と連携し、新たな講座を開講する	○
5年目	副所長を新設し、管理運営体制の強化を図る かしわトータルヘルスケア協議会（理学療法士）と連携した講座の拡充を図る	○
最終年度		

(7) 新たな子ども・子育て支援（預かり事業）の実施

一時預かり事業（ぞうさんルーム）の拡充や、保護者の緊急時に子どもを預かる体制づくりに取り組みます。

① 一時預かり事業（ぞうさんルーム）の拡充

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	190人			210人		210人
実績値	185人	98人	140人	208人	240人	

※3年目）コロナ禍で受入人数を半分体制

[※ぞうさんルーム利用者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	利用者からのニーズに応え、10月から月1回ぞうさんルーム実施日の拡大を図る	○
2年目	令和3年10月より第3火曜日を実施予定のため、一人に対する月の利用制限を設ける等、多くの方に利用してもらうよう利用状況の見直しを図る	○
3年目	ぞうさんルームについて、3時間から6時間に一部拡大（受け入れ人数の半分）し、6時間の利用者にアンケートを行い、利用の効果を把握して今後の拡大の検討の参考にする	○
4年目	5月より第4火曜日の追加と利用上限時間（月12時間）及び、最大4人受け入れ可能な時間配分を設定し、利用実人数の増加を図る ぞうさんルームの拡大（毎日実施）に向けて、協力会員の獲得や予約方法等の見直しや職員の増員等、子育て支援課と協議をする	○
5年目	・利用者のニーズに応え、10月より第2火曜日も追加し、毎週火・金を実施日とする。保護者がリフレッシュできる環境を作り、利用人数の増加を図る。 ・ぞうさんルームの拡大（毎日実施）に向けて、協力会員の獲得や予約方法等の見直し等、子育て支援課と協議をする。	○
最終年度		

② 保護者の緊急時の子どもの預かりの体制づくり

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	実施

※利用者のニーズに応えた預かり体制の検討・実施

年度別実施計画		実施評価
初年度	市との定期的な話し合いを行い、場所や人材確保を含め検討する	△

2年目	社協としての緊急の預かりを再確認したうえで、実施できることを想定した受け入れ体制の構築及びマニュアル作りを考えていく	△
3年目	ぞうさんルームの6時間拡大による利用者親子の反応をみて、一時保育の在り方を考えていく。また、アンケート調査を実施し、利用者のニーズに応えられるよう模索し、小さなことでも実施につなげられる糸口を探す	○
4年目	去年度のアンケートを今年度も継続し、ニーズの整理等を行う アンケート結果から見えてきた利用者のニーズに応えられる取り組みを小さなことでも実施する	○
5年目	ファミサポやはぐはぐひろば事業を展開する中で、保護者の緊急的な状況により、対応を余儀なくされる相談に対し、支援できる体制を検討する	△
最終年度		

(8) 移動困難者への支援

高齢者や障害者等の移動困難者に対し、通院や社会参加（サロン参加等）等の日常生活における移動支援に取り組みます。福祉有償運送の安定的な実施（こらくだくん）に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	6,500件			6,800件		7,000件
実績値	5,681件	4,506件	5,199件	4,969件	5,560件	

[※年間利用総件数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	職員の資質向上に向けた研修会を実施する	○
2年目	利用者に対し均一したサービス提供ができるように、特例等の見直しを含め内規等の見直しを図る	○
3年目	市民にとって利用しやすく均一したサービスが提供できるよう、特例件数の更なる見直し、内規等の整備を実施する	○
4年目	車両購入計画の見直し、また、車両管理について内規等の見直しを図る	○
5年目	新規車両をリース契約で1台運行する。車両燃料費、維持費等の高騰により利用料金の見直しを図る。	○
最終年度		

(9) 地域組織との連携による地域包括ケアシステムのモデル展開と普及

沼南圏域から地域組織や地元住民等の協力と連携のある個別ケアの支援体制（地域包括ケアシステム）のモデル的な展開と普及に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	実施	⇒	⇒
目標（積算）	1件			2件		3件
実績値（積算）	1件	2件	3件	4件	7件	

[※個別ケア支援体制の普及数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	団地で地域組織と連携して徘徊模擬訓練・サポーター講座などを行い、戸建て地域と比較した住まい方の違いによる効果的な認知症の方の見守り体制づくりを検討する	△
2年目	団地や学校・商店会などの地域の中で、認知症の方への声かけと見守り体制について、有事の際（新型コロナや災害等）の多対応も合わせ、地域組織や事業者と連携し検討する	△
3年目	大津ヶ丘団地や商店会を中心に、認知症サポーター養成講座、徘徊模擬訓練などを行い、地域の中での認知症の方への声かけと見守り体制について、地域組織や事業者と連携し検討する	○
4年目	大津ヶ丘・塚崎地区で地域住民と協力し、パンザマストやメール配信を利用した認知症の方の見守り体制をつくる 高柳相談窓口のあるヤオコー、その他の店舗と連携し、認知症があっても利用しやすい施設（地域資源）となるよう仕組みづくりを進める	△

5年目	複合課題の早期解決に向け、専門職間のみならず、地域と連携した地域包括ケアシステムの構築を検討する 学校や地域住民と協力し、認知症サポーター講座や声かけ訓練などを行うことで、認知症への理解を深め、見守りの強化を行う 高柳相談窓口のあるヤオコーの他の店舗に協力を得て、認知症理解の普及に努める	○
最終年度		

5 情報発信・普及啓発

社協アクションプラン

(1) 地域共生社会の普及啓発

市民一人ひとりがあらゆる生活課題に取り組む「我が事」の意識等「地域共生社会」の考え方や活動について、その普及啓発に取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	第4期活動計画のPRを含め、本会HPにより地域共生社会の考え方等について啓発を行う					◎
2年目	行政との連携会議の充実と地域での支えあい活動を活かした地域共生社会の意識の醸成を進めていく					○
3年目	第4期柏市地域健康福祉活動計画の見直しとともに、地域共生社会の実現に向けた啓発方法を再考していく					○
4年目	紙ひこうきを活用した地域共生社会構築を切り口とした情報配信 各担当によるオンラインやYouTubeによる情報配信に向けた環境整備					○
5年目	紙ひこうき等の広報媒体を活用した情報配信を行うとともに、各職員が各種事業や地域において働きかけに取り組む					△
最終年度						

(2) 福祉課題の社会化（見える化）

社協に寄せられた相談内容の分析結果や福祉課題等を市民や関係機関等に発信し、地域で起きている福祉課題の社会化（見える化）に取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1回			1回		1回
実績値	1回	3回	1回	1回	1回	

[※見える化して発信した回数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	相談データ等を整理・分析し、福祉課題や傾向等の見える化を行うとともに、各種会議やHP等を活用し、福祉課題の傾向等の情報共有を行う					△
2年目	貸付利用者の状況や心配ごと相談の相談内容等のデータを整理し、課題や傾向を分析する。また、分析結果を会議等で情報提供・共有する					○
3年目	対応困難な相談事例等を集約・整理し、課題の見える化を図り、課題解決に向けた検討や連携などにつなげる					○
4年目	貸付利用者の傾向を分析し、現状と課題の見える化を図る。また、特に生活保護受給者が多いことから分析結果は、生活支援課と共有する					○
5年目	心配ごと相談や一般貸付利用者の現状や傾向等を見える化し、整理・分析する 見える化した情報をもとに、心配ごと相談員や生活支援課等と課題共有や対応方法の検討を行う。また、必要な制度の見直し等を行う					△
最終年度						

(3) 全世代を対象とした意思決定支援の普及啓発と実施

子どもから高齢者、障害の有無を問わず活用できる「わたしの望みノート」を目指します。また、介護や医療、死後等に関し、本人が意思を伝えられない時に伝える手段として意思決定支援の必要性の普及啓発と作成機会の提供に取り組みます。

① 「わたしの望みノート」の改訂

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	記入した人やケアマネージャー等の支援者から活用状況について意見を聞き、市・医師会が作成した資料や厚労省の動向等を踏まえて、「わたしの望みノート」改訂に向けて情報収集する					○
2年目	「わたしの望みノート」を記入・活用した市民のモニタリング結果を踏まえ、より良い「わたしの望みノート」への改訂に向けた準備を行う					△
3年目	これまでの取り組み等を踏まえ、今後のわたしの望みノートのあり方の検討と必要な改定を行う					○
4年目	昨年度の後見支援員へのアンケートを踏まえ、書きやすいノートへ改定する					△
5年目	使用者や関係機関等の意見を踏まえ、より書きやすく活用できるわたしの望みノートに改訂する					◎
最終年度						

② 全世代に対する意思決定支援に関する普及啓発

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	—			200人		250人
実績値	—	155人	100人	124人	256人	

[※普及啓発した人数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	現在の「わたしの望みノート」をもとに、親を介護している世代や学生等も意思決定の必要性や重要性について考えられる普及啓発の仕方や内容を検討する					△
2年目	南部いきいきセンターで行う事業を通して、幅広い人たちへの意思決定支援の普及啓発を行う					△
3年目	後見支援員と協力して、南部近隣センター以外の場所で普及啓発事業を行う					△
4年目	軽度知的障害者を対象とした意思決定支援ツールを作成する。また軽度知的障害者とその親へ、ツールとして意思決定支援の普及啓発を行う					△
5年目	出前講座や終活応援ルーム等により意思決定支援や望みノートの普及啓発を行う 手をつなぐ育成会の意見を聞き、軽度知的障害者が活用できるわたしの望みノートを作成する					△
最終年度						

(4) 障害者のスポーツを通じた理解促進

障害者のスポーツとの連携等、新たに福祉以外の切り口から障害理解の促進に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1回			2回		2回
実績値	1回	0回	0回	1回	2回	

[※スポーツを切り口とした理解促進の取り組み数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	市スポーツ課との連携により、障害者スポーツの支援ボランティアの育成とともに、理解者を増やしていく					○
2年目	市スポーツ課による障害者スポーツ推進連絡会に引き続き参画し、スポーツを通じた障害理解や人材育成を推進する					△
3年目	市スポーツ課による障害者スポーツ推進連絡会へ参画を継続し、状況に応じて具体的な調整を行う					×

4年目	柏市障害者スポーツ推進連絡会の再開と共に関係団体との連携により、今後、当会で何ができるかを改めて検討する	△
5年目	柏市障害者スポーツ推進連絡会への参加を継続する。また、柏障連を中心に実施するパラスポーツ体験会に参加およびボランティアの派遣を行う	○
最終年度		

(5) 寄附文化の醸成

様々な寄附や活動助成等の方法について、広く市民に普及啓発を行い、寄附文化の醸成や新たな活動助成金の獲得方法等の普及啓発に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	多様な寄附方法やファンドレイジング等の情報を収集し整理する					△
2年目	遺贈を含めた金銭及び物品寄附の仕組みづくりについて検討していく					△
3年目	寄附の受け皿設置及び啓発物作成に向けた情報の整理を行う					○
4年目	遺贈寄附の受け皿準備と併せて、啓発用チラシの制作をすすめていく					△
5年目	遺贈寄附チラシを活用した啓発拡充と相談受付から専門機関へのつなぎ、寄付受領等のフロー及びシート等を作成し受付体制を整える。 一般寄附チラシの見直しを行う。					○
最終年度						

Ⅱ 社協発展・強化計画

[年度別評価] 「◎」大幅に達成／「○」概ね達成／「△」取り組んだが達成に至らず／「×」未実施

1 拠点戦略

社協発展・強化計画

(1) 新たな地域いきいきセンターの設置

市と協議の上、市民の身近な相談窓口や地域活動支援、ネットワークづくり等の拠点となる地域いきいきセンターの計画的な設置に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	6ヶ所			9ヶ所		11ヶ所
実績値	6ヶ所	7ヶ所	8ヶ所	9ヶ所	10ヶ所	

[※地域いきいきセンター設置数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	市と調整を行い、補助金（人件費、事業費）要求等を行っていく 計画の設置目標を前倒しし、関係機関と調整のもと整備する	○ ○
2年目	設置計画に基づき、次期開設に向けた調整を地域支援グループとともに進め、 人員配置と補助金要求の調整を行っていく 令和3年度8か所目の新規開設に向けて、関係機関及び地域との調整を図る	◎ ○
3年目	市担当課との調整により、設置計画の見直しと設置に向けた調整（人員配置 計画、市補助金等）を行っていく 令和4年度9か所目のセンター開設に向けて、市担当課と協議をしながら準備・ 調整（地域選定、地域との合意形成等）を行う	○ ○
4年目	令和4年度新規開設予定の増尾地域いきいきセンターの開設準備を進める。 令和3年度に柏市関係課と共有した整備計画に基づき、令和5年度10ヶ所目 の新規開設に向けた準備、調整を行う。	○
5年目	令和5年度新規開設の新田原地域いきいきセンターの地域定着 令和6年度11ヶ所目の新規開設に向け、柏市関係課や地域との合意形成を図 り、準備を進める	○
最終年度		

(2) 災害時、はぐはぐひろば沼南利用者への一時避難体制の整備

はぐはぐひろば沼南開設時に災害が起きた際、帰宅に不安を感じる利用者等を沼南社会福祉センターで一
時避難するための体制整備に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	沼南社会福祉センターと子育て支援グループの合同避難訓練を実施する 避難所としての体制整備等の検討を行う	△ △				
2年目	センター内のそれぞれの担当グループの体制を整え、シミュレーションを交 えた避難訓練及び一時避難場所として想定した訓練を、センター全体で年1 回行っていく 災害時マニュアル等とあわせて、避難所として必要な新たな資機材の調査、 検討を行う 子育て支援グループの避難訓練と併せ、一時避難場所を想定したシミュレ ーションを実施する	○ ○ ◎				
3年目	沼南社会福祉センターと子育て支援グループの連携で、一時避難体制と役割 を明確化し、はぐはぐひろばの避難訓練を沼南社会福祉センターの訓練に合 わせて、年1回合同で実施する 引き続き、マニュアル改定と職員周知を実施し、資機材管理等については、 業者と調整を進め、引き続き検討する	○ ○				
4年目	沼南社会福祉センターに新設した避難階段への避難経路の安全性を高めるた め、転落防止柵を設置する センター全体の避難訓練等の取り組みや役割分担を確認しながら今年度の計 画や避難訓練を実施する。 子育て世代の防災に取り組む公益活動団体との連携を図る。	◎ ○				

5年目	センター全体の避難訓練等の取り組みや役割分担を確認しながら、引き続き計画どおり避難訓練を実施する。 他の子育て機関の災害時の対応について、交流会等の場を活用し情報の共有を図り、いざというときに相互協力できるしくみ等を検討する。	○
最終年度		

(3) 沼南社会福祉センターの維持管理及び機能の充実

沼南社会福祉センターの修繕計画等に基づく計画的な維持管理の徹底と、市民が利用しやすいセンターを目指し、センター機能の充実に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	13,000人			14,500人		15,500人
実績値	12,414人	5,435人	6,024人	9,680人	10,596人	

[※来館者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	利用者のニーズに応え、貸館の管理機能の充実にを図る（調理室の整備）	○
	修繕費に関する負担の整理・調整を行い、財政に係る基本方針における修繕積立計画の見直しを行う	○
2年目	規定に沿った貸館業務を実施するために、利用団体の利用料等の見直しを図る、また、LED化を計画どおり実施する（3階）	◎
	財政に係る基本方針の見直しと修繕等保全計画に基づく工事を実施、来年度計画の実施に向けた補助金調整を行っていく	○
3年目	定期補修整備の実施、主にエレベーター補修及び高圧電気設備の補修と照明のLED化（2F）	○
	修繕等保全計画の更新と計画に基づく工事に係る市補助金の調整を行っていくとともに、修繕積立金のあり方を検討する	○
4年目	コロナ感染拡大防止対策に向けての設備等の検討 専門業者に委託し、大規模修繕計画の見直しを図る	△
5年目	専門業者（委託）による、簡易修繕計画の策定、解体費用等の検討を行う	○
最終年度		

(4) 沼南社会福祉センターの全世代型施設への強化

子育て支援拠点や移動サービス、地域包括支援センター、ボランティア活動室等、あらゆる市民を対象とした施設である沼南社会福祉センターを、全世代型の施設として、その機能強化に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	子育て世代から高齢者まで多様な世代の方からの相談等が受けられる相談窓口の連携を強化する	○				
	全世代型の施設を意識した連携事業を行う	△				
	各担当と連携し、試行的実施に向け定期的に検討の場を設置する	△				
2年目	定期的な会議の場を設け、計画的な事業展開を図る	○				
	センター全体での会議の実施、各担当グループができることを出しあい、センター全体で取り組めるイベント等を模索及び計画を立てていく	△				
	令和2年度の早い時期に、沼南社会福祉センターと子育て支援グループと、お互いの特性を活かした効果的な取り組みについて検討する	○				
	令和2年度の試行的実施に向けて、各担当による検討・調整の場を設定する	○				
3年目	全世代型施設への取り組みについて、担当課間で話し合いの場を設け、具体策を講じ、事業実施に向け計画する	○				
	はぐはぐひろば利用者やイベント等の際に、障害者施設の出張販売や認知症カフェとの連携など、新たなつながりや理解を生む機会を提供する	△				
	沼南社会福祉センター全体でできることを話し合う機会をもつ。各担当が協力し合える体制づくりのために、災害避難訓練の合同実施を今年度も行う	○				
	関連する各担当による検討の場を設定し、試行実施に向けた調整を行っていく	○				

4年目	全世代型施設への取り組み強化を図る為、引き続き定期的な話し合いの場を設ける。また、昨年度コロナ感染まん延防止期間で延期となった交流事業の実現に向けた計画を実行する	△
5年目	コロナの関係から延期となっていたスプリングフェスタを、センター内の他部署と協力して開催し、子育て世代と他世代、障害者等との交流の場をつくる センター内の他部署とイベントやPR活動等で連携や相互協力をする	○
最終年度		

(5) 事務所機能のあり方の検討と事務所施設の確保

ボランティアセンター設置場所や事業規模の拡大、職員数の増加等を踏まえ、機能的な事務所機能のあり方の検討と事務所施設の確保に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
		検討	⇒	実施	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	官民協働検討委員会の動向を踏まえ、地域福祉課と連携しボランティアセンターのあり方等を検討する					△
2年目	市の包括的相談支援体制の方向性に基づき、新たな教育福祉会館における本会の役割を明確化し、令和3年度に向け組織改編を検討する					◎
3年目	将来的な事業展開を踏まえ、組織体制及び事務所のあり方を整理し、組織改編を視野に検討を行っていく					○
4年目	将来的な事業展開を踏まえ、組織体制及び事務所のあり方を整理し、組織改編を視野に検討を行っていく					△
5年目	いきいきセンター設置計画の作成に向けた調整とそれに伴う数年後に向けたエリア拠点の検討及び組織体制の見直しを進める					△
最終年度						

(1) 人事採用計画に基づく職員定数の適正化と計画的な職員採用 [採用]

事業規模や業務量、職員の年齢構成等を踏まえ、人事採用計画の見直しを図るとともに、計画的な人事採用により、職員の適正定数確保に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	地域包括支援センターにランチや利用促進基本計画における中核機関の動向により、人事採用計画の見直しを行う					○
2年目	将来的な事業展開を踏まえ、地域いきいきセンターや相談支援体制の強化・安定化を柱とした適正な人員配置を検討し、定年補充等を含めた採用計画の見直しを行う					◎
3年目	地域いきいきセンターの設置計画及び定年退職者の補充、さらには将来的な組織改編を視野に職員定数及び採用計画の見直しを行う					○
4年目	今後10年間にかけた採用計画を立てていく					△
5年目	組織体制に合わせた職員定数管理を含め、人事財政基本方針の抜本的な見直しを行う					○
最終年度						

(2) 体系的な人材育成による職員の専門性の向上と資質の確保 [育成]

人材育成・研修体系基本方針に基づき、OJT（職務内）、OFF-JT（職務外）、SDS（自己啓発援助制度）の視点から人材育成を行い、職員の専門性の向上と職務職階に必要な資質の確保に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	階層別研修の見直しとOJTのあり方、指導担当職員の配置等について検討する					◎
2年目	人材育成基本方針に基づき、特に法人会計や労務管理等に関する外部研修への参加・資格取得を強化する					◎
3年目	職員の人材育成・研修体系基本方針に基づき、職階上並びに業務上必要な専門知識の取得を推進していく					○
4年目	職員の人材育成・研修体系基本方針に基づき、職階上並びに業務上必要な専門知識の取得を推進していく					○
5年目	将来の人員配置を見据え、専門資格取得者の拡大を目指す 動画視聴による研修、職員同士のコミュニケーションを主体とした研修など効果的な内部研修実施を図る					○
最終年度						

(3) 明確な評価制度と処遇等への適正な反映 [評価と処遇、配置]

明確な人事考課制度と基準に基づく評価、評価結果の処遇への適正な反映等により、適正な人事管理や配置、職員の就業意欲の向上に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	現在の人事考課制度と処遇を検証し、その方策を検討する					△
2年目	実施計画等の連動による目標設定と人事評価を検討する					◎
3年目	評価目標の取り組み推進に向けた中間面談を実施する					○
4年目	正職員の評価制度と昇格の仕組みの明確化。契約職員の契約更新に向けた意向調査、評価、通知のスケジュール調整					○
5年目	人事評価の対象と様式を改訂し、適正な評価と処遇への反映するしくみを確立する					○
最終年度						

(4) 障害者雇用の推進【採用】

障害者とその能力を發揮できる職場環境の整備と職員の意識改革を図る等、障害者雇用の推進に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	障害者雇用に係る関係機関（団体）と調整し、受入体制を整えたいうえで、基準以上にするための採用準備を行う					△
2年目	関係機関と連携し、障害者雇用のための情報収集と雇用に向けた検討を行う					◎
3年目	障害者雇用職員が継続して働きやすい環境整備とマニュアルを作成する					△
4年目	昨年度は障害者雇用の継続に至らなかったため、本会での受け入れ環境を再度確認するとともに、ハローワーク、障害者就労支援機関と雇用に向けた調整を行う					○
5年目	契約職員の採用増を目指し、組織内外との調整を図っていく					○
最終年度						

(5) 働きやすい職場環境の整備による長期雇用の実現【処遇】

働きやすい職場環境や福利厚生等の充実を図り、職員の長期雇用を実現し、安定した組織運営や福祉サービスの提供、地域福祉活動の支援に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	働き方改革に向けた本会方針を策定するとともに、衛生委員会への諮問や近年の離職率を算出する					△
2年目	働きやすい職場についてのアンケートを実施する					◎
3年目	前年度の職場環境調査及びストレスチェックの評価を踏まえて、改善目標の設定と改善に向けた職員の意識の共有をする					◎
4年目	「時間外労働・休日労働の管理について」のフロー図等を作成し、職員へ周知を図った。今年度は、時間外労働・休日労働及び年休消化率の実績を見て、改善等の動向を把握し、より働きやすい職場環境の実現を目指す					○
5年目	契約職員の休暇制度や給与等の処遇改善の検討を進める。併せて衛生委員会の活性化による労災事故予防、メンタルヘルスキアの体制強化を行う					◎
最終年度						

(1) 役員・評議員の機能強化

定数や選出区分の見直し等を行い、理事会や評議員会の活性化と環境整備を図り、執行・議決機関としての機能強化に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	任期満了に伴う改選（令和3年度）に向けた定数及び執行・議決機関の意義を再確認するとともに、理事会・評議員会で意見聴取し、方針案を策定する					△
2年目	令和元年度に調査した他市状況結果をさらに精査したうえで、任期満了に伴う改選（令和3年度）に向けて方針案を提案する					◎
3年目	令和3年度の役員、評議員の改選を機に、それぞれの役割の明確化と機能強化並びに職員と顔の見える関係の構築に取り組む。また、議論できる体制と意思決定を行う機会を増やすために理事会の充実を図り、地域ニーズや活動者等の声を法人の運営に反映できるよう、評議員のテーマ別懇談会を実施する。さらにはオンライン会議の開催に向けた環境の整備と体制を構築する					○
4年目	昨年度、理事・評議員の定数の見直し、役員の役割の明確化を図った。今年度は、その機能についての評価を行い、次年度の改選に向けてさらなる機能強化を図る					○
5年目	新たな理事、評議員に対する社協事業の理解促進及び役員、評議員の協力による会員拡大を図る					△
最終年度						

(2) 市社協の認知度向上と理解者の拡大

既存のPR媒体の定期的な見直しや新たな広報媒体の活用、対象を意識した普及啓発活動等により、市社協の認知度向上や理解者の拡大に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	オンライン及びオフライン媒体を有機的に活用したPRを行う					○
2年目	社協事業の啓発を行うための啓発物を制作する					△
3年目	企業に向けたアンケートによる協力可能な状況を踏まえて、GL会議等で議論し、認知度向上に企画案を作成する					○
4年目	社協ガイドや福祉の広報紙「紙ひこうき」等の社協に関する情報の届け先を精査し、認知度向上に務める。また、社協の事業報告の他、寄付等の市民から得た好意の活用状況について知らせていくことで、利用者拡大を図る					○
5年目	新たに住民向けの啓発ポスターを制作し、町会等の掲示板でのPRを行う					○
最終年度						

(3) 災害時の体制整備

災害時、利用者の安否確認や災害ボランティアセンター設置等を速やかに行えるように職員参集や設置訓練等を実施し、災害時の体制整備に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	本部マニュアルの再確認及び担当部署の対策（マニュアル等の有無）を集約し、総括的な対策について検討する					△
	沼南社会福祉センターの防災計画の見直しを行い、避難訓練を実施する					△
2年目	災害対策会議の検討内容にあわせてマニュアル改訂を行う					△
	避難経路の確保と整備として、はぐはぐひろばからの外階段の設置や外経路の整備を実施する。また、それに併せ新たな避難経路のマニュアルを作成する					○
3年目	引き続き、マニュアル改定と職員周知を実施し、資機材管理等については、業者と調整を進め、引き続き検討する					○

	消防計画に沿った避難訓練を実施し、新たに避難経路のマニュアルを作成する	○
4年目	引き続きマニュアル改定と職員周知を徹底する。資機材の点検は課を超えた職員参加による資機材在庫点検を行うことで、周知を図る	◎
	消防計画に沿った災害訓練の実施。また、その中で地震等により一時避難所となった場合を想定した訓練を取り入れる	△
5年目	契約職員を含めた災害発生時の職員配備計画を作成し、応援職員が発生時に対応できるよう機能的な訓練を実施する	○
最終年度		

(4) 社会福祉法人との連携強化

協議体や中間組織としての機能を活かし、社会福祉法人等とのネットワーク形成や連携を図りながら機能的な法人運営や効果的な事業展開に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	年に1度の合同研修と懇親を実施。その他、法人連携や協働事業を模索するため若い職員を中心としたネットワークの設置を検討する					○
2年目	法人の種別バランス（高齢・障害・児童等）を考慮し、10名程度のコアメンバーによる検討会の立ち上げを進める					◎
3年目	市内の全法人を対象としたネットワークの組織化に向けて、現状の検討会の活性化により組織体制や事業展開（取り組み）を具現化していく					○
4年目	社会福祉法人ネットワークの組織化に向けて具体的な組織の設立をすすめる					○
5年目	社会福祉法人ネットワーク組織の立ち上げを今年度中に行う					◎
最終年度						

(5) 機能的な事務局組織体制の構築

組織と事業規模が拡大する中で、スピード感のある意思決定や組織運営が行える機能的な事務局組織体制の構築に取り組みます。また今後、AI（人工知能）等の新たな技術を活用した事務の効率化等の検討も行います。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	組織体制の現状を再整理・再検討する。また、スピーディな事務処理、決裁手段ができる環境を模索する					△
2年目	専決・決裁区分の見直しを行う					△
3年目	集めた情報を整理し、検証・評価・協議を行う					△
4年目	他市事例を元に、本会内での事務局機能の課題や、より効果的な担当間の連携にむけて検証する場を設ける					○
5年目	ICTの導入及び活用による効果的で効率的な仕組みを検討する					○
最終年度						

(6) 市との連携強化

事業担当者間の課題解決や懸案事項の調整、合意形成等を目的とした会議等を開催し、市との連携強化に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	社会福祉課との連絡調整会議や地域共生社会の実現に向けた連携会議により、包括的な相談支援体制の構築に向け調整を図っていく					○
2年目	福祉政策課との連絡調整会議、地域共生社会の実現に向けた連携会議において、特に包括的相談支援体制の構築について本会の意向等を発信していく					○

3年目	地域共生社会の実現や重層的支援体制整備事業において、本会の役割と機能を十分に発揮するため、市や関係機関と連携をさらに強化していく。また、災害時における相互協力に関する協定の締結等についても具現化を進めていく	○
4年目	災害ボラセンの委託契約に関する調整も行うことができたが、来年度は相互協力に関する協定の締結に向け、さらに連携を進めていく	○
5年目	社協内の担当間調整や市との連携を密に行い、事業調整会議を活用しながら懸案事項や合意形成の調整役を果たしていく	○
最終年度		

(7) 個人情報保護や財務会計のチェック体制の強化

個人情報の保護や財務会計のチェック体制の強化等、法人としてのコンプライアンスやガバナンスの強化に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	現状の個人情報のリスト化、会計チェックの再検証を行い、内部牽制の再構築を図る					○
2年目	個人情報の取り扱いに関する知識向上と意識の醸成を図ったうえでチェック体制のあり方について検討する					◎
3年目	外部講師を招いて研修会を実施し、その後、担当ごとのチェックリスト作成を検討する					○
4年目	改正個人情報保護法のポイント等を職員へ周知し、個人情報データ取扱のリスク対応等の観点を共有する					○
5年目	個人情報保護に関する事故情報の共有による再発防止の徹底を図る。インボイス制度等への対応を円滑に行う					○
最終年度						

(1) 会員会費制度の見直しと会員確保

会費の安定財源化を目指し、会員会費制度の見直しとPRの強化、使途の明確化（充当先の整理）等を図り、会員確保と会費拡充に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	財源確保・社協認知度のための会員制度の啓発方法を検討する					○
2年目	会員向けに昨年度発行した社協カレンダーの評価アンケートを行い、その結果をもとに今後について検討する。また、3-(2)と一体的な運営を行う					○
3年目	パンフレットの見直しと合わせて、職員に写真の提供依頼をしていく					△
4年目	未納が続いているの会員の整理をし、正確な会員の把握をする。 そのうえで、市社協のやっている事業がよりわかりやすいようなカレンダーの作成や、新規会員へのPRの方法を模索し、会員の確保に努める					○
5年目	これまでの賛助会員に対する依頼方法や納入実績を踏まえ、今後のあり方を検討する					○
最終年度						

(2) 寄附文化の醸成と寄附者の拡大

市民が寄附したいと思える寄附制度の構築と市民一人ひとりに届くPRや寄附者への実績報告等により、寄附文化の醸成と寄附者の拡大に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	寄附者への実績報告を行い、寄附の継続を推進するとともに、募金箱設置増などの新たな寄附（募金）の啓発等、可能性を検討する					△
2年目	寄附者以外に対し寄附金の使われ方を周知する方法を検討する					△
3年目	寄附の受け皿設置及び啓発物作成に向けた情報の整理を行う					○
4年目	遺贈寄附の受け皿準備と併せて、啓発用チラシの制作をすすめていく					△
5年目	寄付に関して啓発するチラシの見直しと積極的な配布を行う					○
最終年度						

(3) 物品寄附の有効活用に向けたしくみづくり

受領した物品を市内の社会福祉法人等で有効活用してもらえるネットワークの構築やしくみづくりに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	物品寄附による必要な施設（団体）への情報提供方法を検討する					△
2年目	物品寄附の有効活用に向け、新たな情報提供方法を検討する					△
3年目	物品寄附受付対応強化と受付・活用のルール化、さらに活用先が広げるツール作り（ホームページの活用等）を行う					△
4年目	昨年度は、社会福祉法人連携を通じて活用先に一部広がりをもせたため、新たな活用先を引き続き模索するとともに、寄附受け入れ時のルール化についても検討する					○
5年目	法人ネットワークにおける地域公益活動の取組と連携し有効活用につなげる仕組みを検討する					△
最終年度						

(4) 新たな財源獲得に向けた収益事業の検討

自主財源の更なる獲得に向け、新たな収益事業の実施に向けて取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	新規取り組みを含め、収益事業の方策を再検討する					△
2年目	収益事業の自動販売機設置経営事業を評価し、今後の方策を検討する					△
3年目	新型コロナウイルス感染拡大による企業活動の影響に鑑み、アンケート実施時期を検討する					△
4年目	自動販売機の設置に関して必要性等を整理し、新たに特別会員へ設置依頼をかけることも視野に検討を進める					△
5年目	自動販売機売り上げからの収益寄付の仕組みを構築するため企業との協定締結。特別会員へ設置協力による収益を増加する					○
最終年度						

(5) 共同募金の効果的・機能的な配分

共同募金配分委員会での活発な議論を通じ、共同募金財源の地域活動への効果的・機能的な配分に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	共同募金配分委員会を通じた適正な配分方法を検討する					△
2年目	教育福祉会館耐震工事後の団体支援の方針を踏まえた助成金の見直しを検討する					△
3年目	援護金や団体助成金等の仕組みについて組織全体で検討、見直しを図る					◎
4年目	令和3年度に検討してきた、生活困窮世帯の小中学生への支援への調整継続と、令和5年から廃止する歳末たすけあい援護金配分については、変更になる旨と困ったときは社協に相談してもらえるように周知をしていく					○
5年目	配分事業の見直しを効果的な実施につながるよう緊急援護金、学用品等をの困っている人に届く体制づくりを進める。 地域課題解決助成金のテーマのあり方を検討し具体的な取り組みにつなげていく。					△
最終年度						

(6) 適正な予算編成と配分

財政に係る基本方針に基づき、各事業の経費に対して最も適した収入財源を充当する等、収入と支出の関係性を踏まえ、市民や市から理解を得られる適正な予算編成と配分に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	自主財源の充当先を再検討し、特に新たな事業に対する財源確保を検討する					○
2年目	特に基金を財源とした事業展開とその他財源(会費・寄附・共募等)における事業の整理を担当課とともに検討していく					△
3年目	中長期的な視点に基づき、特に共同募金配分金(一般・歳末)や目的型基金を財源とした使途の整理と予算編成の見直しを行っていく					○
4年目	共同募金、会費収入の減少に対応し、基金含め、各事業担当課と使い道を検討する。成年後見報酬のあり方を検討する					○
5年目	受託事業における一般管理費のあり方について行政担当課と調整を進める 財政に係る基本方針の見直しを行う					△
最終年度						

(7) コスト意識の徹底と財源の有効活用

限られた財源を有効に活用し、法人運営や各事業を効果的、安定的に実施するために、職員にコスト意識を徹底させ、無駄のない財源活用に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	コスト削減、財源の有効化を図るためのリスト化等の整備を検討する					△
2年目	各部署におけるコスト削減の目標設定を促す。OA機器に関する知識や技術の向上によるコスト削減につながる研修会等を企画調整室と検討する					○
3年目	コピーや印刷に係るコストを算出し、前年度との比較を行ったうえで全職員へ周知伝達を行う。また、各担当で取り組むことができるコスト削減への取り組みを検討する					△
4年目	会費や寄付、募金の財源の背景を認識し、より有効活用に向けた意識を全職員が共有するように研修等の場を活用し周知する					△
5年目	会費や寄付、募金の財源の背景を周知し、全職員が有効活用に向けた意識強化を図る					△
最終年度						

(8) 遺贈による寄附のしくみづくり

遺言等による遺贈への気持ちに添えるべく、遺贈による寄附受付のしくみづくりや新たな民間財源として有効活用できる方法の確立に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	遺贈の受付についてマニュアル化し、用途を検討する					△
2年目	遺贈寄附について権利擁護センターと連携して情報を収集し、遺贈寄附のあり方について検討する					○
3年目	遺贈による寄附の仕組みづくりに向けて、規程や要綱等の情報収集を行い、窓口設置に向けて準備を進めていく					○
4年目	遺贈寄附の受け皿準備と併せて、啓発用チラシの制作をすすめていく					○
5年目	遺贈寄附チラシを活用した啓発拡充と相談受付から専門機関へのつなぎ、寄付受領等のフロー及びシート等を作成し受付体制を整える					△
最終年度						

社会福祉法人柏市社会福祉協議会
令和5年度事業報告書

柏市柏五丁目1番8号
電話 04-7163-9000
